事業年度	令和7年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	中大工-2

課長	係長	検算	設計

工事名　可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）

◎注意事項

　この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
　積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市　　教育委員会事務局　　教育総務課

当初 設計書

岐阜県　可児市全図

位置図
富山県
石川県
福井県
長野県
滋賀県
三重県
愛知県
記号
凡例
西可児中学校
1：50,000
0
1000
2000
3000m
N

工事番号	中大工-2	工事箇所	可児市　若葉台　地内	施設名	西可児中学校	
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）					

理　　由	工　事　概　要
本工事は西可児中学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。	建築工事　一式 ・躯体改修工事 ・防水改修工事 ・建具改修工事 ・内装改修工事 ・塗装改修工事 電気設備工事　一式 ・電灯（幹線）設備工事 ・電灯（分岐）設備工事 ・電灯（コンセント分岐）設備工事 機械設備工事　一式 ・換気設備工事 ・衛生器具設備工事 ・給水設備工事 ・排水通気設備工事

金　　額	円	内消費税相当額	円

特　記　仕　様　書

1．一般事項

(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。

(2) 受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。

(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

2．建設副産物有効利用及び適正処理について

(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。

(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。

3．使用材料

(1) 生コンクリートについて
本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート（24N/mm2以上）については55％以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート（21N/mm2以下）については60％以下、均しコンクリートについては60％程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

4．工事施工について

(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。

(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

5．工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

6．ワンデーレスポンスの取組について

(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。

(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

7． 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8． 暴力団等による不当介入における通報義務について

(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9． 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4，000万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

10. 可児市公共基準点の保全について

公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋲を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう充分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。

11. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について

工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。

13. 統一の一斉休工の取組について

(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。

(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。
（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く）

14. その他

(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。

(2) 工事共通仕様
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（建築・電気設備・機械設備工事編）　最新版
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築・電気設備・機械設備工事編）　最新版

(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書
（条件明示）

工事名　可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目		明示事項		制約条件等
工　程	☐	１．関連する別途発注工事あり	☐	Ａ．工種（　　）
			☐	Ｂ．期間（　　～　　）
	☐	２．他機関協議による工程条件あり	☐	Ａ．工種（　　）
			☐	Ｂ．期間（　　～　　）
	☐	３．他機関との協議状況	☐	Ａ．協議済機関及び内容（　　）
			☐	Ｂ．未協議機関及び内容（　　）
	☐	４．占用許可状況（　　）	☐	Ａ．許可済
			☐	Ｂ．申請中
	☐	５．建築確認	☐	Ａ．許可済
			☐	Ｂ．申請中
	☐	６．河川区域、保全区域内作業あり	☐	Ａ．許可済
			☐	Ｂ．申請中
	☐	７．文化財協議（文化財課）	☐	Ａ．協議済内容（　　）
			☐	Ｂ．未協議内容（　　）
	☐	８．施工時期	☐	Ａ．施工時期（　　）
	☑	９．その他	☑	Ａ．その他（ 中学校運営に支障がないよう配慮すること。）
用　地	☐	１．用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐	Ａ．区間(No.　　～No.　　)
			☐	Ｂ．着工見込時期(　　)
			☐	Ｃ．内容（　　）
	☐	２．工事用地の未買収	☐	Ａ．場所（　　）
			☐	Ｂ．処理の見込み時期(　　)
			☐	Ｃ．未買収地への立ち入り可否(　　)
	☐	３．仮設ヤードの有無	☐	Ａ．官有地
			☐	Ｂ．民有地
			☐	Ｃ．その他（　　）
			☐	Ｄ．別途協議
	☐	４．その他	☐	Ａ．その他（　　）
公害対策	☑	１．施工方法の制限あり	☑	Ａ．騒音（ 中学校運営に支障がないよう配慮すること。）
			☑	Ｂ．振動（ 中学校運営に支障がないよう配慮すること。）
			☐	Ｃ．水質（　　）
			☐	Ｄ．その他（　　）
	☐	２．事業損失防止に関する調査あり	☐	Ａ．調査の項目(　　)
	☐	３．環境影響調査あり	☐	Ａ．生物・植物調査あり
	☐	４．土壌汚染対策法に関する届出	☐	Ａ．届出済（3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで）
	☑	５．石綿含有に関する事前調査	☑	Ａ．発注者による含有調査(　　含有有り　　)
			☐	Ｂ．受注者による含有調査
			☐	Ｃ．調査結果の報告(一定規模以上)
	☐	６．その他	☐	Ａ．フロン回収あり
			☐	Ｂ．その他（　　）
安全対策	☑	１．交通規制あり	☐	Ａ．全面通行止め
			☐	Ｂ．片側通行止め
			☑	Ｃ．時間制限あり（　　登下校時間帯　　）
	☐	２．通学路あり	☐	Ａ．迂回路あり
			☐	Ｂ．仮設歩道必要
	☐	３．交通整理員	☐	Ａ．区間(No.　　～　　) 配置人員　　人/日
			☐	Ｂ．区間(No.　　～　　) 配置人員　　人/日
			☐	Ｃ．区間(No.　　～　　) 配置人員　　人/日
			☐	Ｄ．交替要員あり
	☐	４．鉄道等の近接作業制限あり	☐	Ａ．工法制限あり（　　）
			☐	Ｂ．作業時間制限あり(　　)
	☐	５．バス路線（運行者との協議）	☐	Ａ．協議済内容(　　)
			☐	Ｂ．未協議内容(　　)
	☑	６．その他	☑	Ａ．その他（　　学校敷地内通行時徐行　　）
工事用道路	☐	１．一般道路（搬入路）の使用制限	☐	Ａ．搬入経路指定あり
			☐	Ｂ．時間帯制限あり
	☐	２．仮設道路の設置条件あり	☐	Ａ．一般交通供用あり
			☐	Ｂ．安全施設必要（　　）
			☐	Ｃ．路面工（　　）
			☐	Ｄ．工事完了後存続又は撤去（　　）
			☐	Ｅ．構造（　　）
			☐	Ｆ．用地（借地）
			☐	Ｇ．用地（公用地）
			☐	Ｈ．用地（その他）
	☐	３．その他	☐	Ａ．その他（　　）
指定仮設備	☐	１．仮設物の指定又は一部指定あり	☐	Ａ．工種（　　）
	☐	２．仮設構造物の転用、兼用あり	☐	Ａ．工種（　　）
			☐	Ｂ．内容（　　）
	☐	３．その他	☐	Ａ．その他（　　）

明示項目		明示事項		制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関係	☐	1．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［場所が未確定］	☐	A．運搬距離（　　km　）
			☐	B．投棄料計上あり
			☐	C．整地（押土、敷均、締固等）必要
			☐	D．整地（押土）必要
	☐	2．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［自工事へ流用］	☐	A．盛土、埋戻
			☐	B．ストックヤード利用あり（　　）
			☐	C．仮置場必要（　　）
			☐	D．運搬距離（　　km　）
			☐	E．仮置場の用地借上費計上あり
	☐	3．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事へ流用、または処分地指定］	☐	A．場所（　　）
			☐	B．盛土、埋戻
			☐	C．整地（押土、敷き均し、転圧）あり
			☐	D．ストックヤード利用あり（　　）
			☐	E．仮置場必要（　　）
			☐	F．運搬距離（　　km　）
			☐	G．仮置場の用地借上費計上あり
			☐	H．処分料計上あり
	☐	4．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事からの流用］	☐	A．他工事名（　　）
			☐	B．請負者運搬あり（運搬距離　　km　）
			☐	C．盛土、埋め戻し
			☐	D．ストックヤード利用あり（　　）
			☐	E．仮置場必要（　　）
			☐	F．仮置場の用地借上費計上あり
	☐	5．産業廃棄物の処理条件あり ［特別管理産業廃棄物］	☐	A．種類（　　）
			☐	B．場所（　　）
			☐	C．中間処理施設までの運搬距離（　　km　）
			☐	D．処理費計上あり
	☐	6．浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐	A．槽内洗浄必要
			☐	B．可児市環境課と打合せの必要あり
	☑	7．「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	☑	A．産業廃棄物管理票（マニフェスト）
			☐	B．建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書
			☑	C．コブリス
			☑	D．廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	☐	1．占用支障物件あり（電気）	☐	A．移設時期（R　　年　　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	2．占用支障物件あり（電話）	☐	A．移設時期（R　　年　　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	3．占用支障物件あり（水道）	☐	A．移設時期（R　　年　　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	4．占用支承物件あり（下水道）	☐	A．移設時期（R　　年　　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	5．占用支障物件あり（ガス）	☐	A．移設時期（R　　年　　月頃）
			☐	B．移設時期（別途協議）
	☐	6．占用支障物件あり（ﾏﾝﾎｰﾙ蓋、仕切り弁蓋等）	☐	A．管理者による高さ調整　（　　）
			☐	B．請負者による高さ調整　（　　）
	☐	7．占用支障物件あり（その他）	☐	A．移設時期　（　　）
			☐	B．移設時期　（別途協議）
	☐	8．その他	☐	A．その他（　　）
排水工関係	☐	1．濁水、湧水処理条件あり	☐	A．方法（　　）
	☐	2．その他	☐	A．その他（　　）
再生材使用	☑	1．再生材使用指定あり	☑	A．ＲＣ
			☑	B．アスファルト再生合材（30%再生）
			☐	C．アスファルト再生合材（100%再生）
			☐	D．再生材を使用できない場合別途協議
			☐	E．
	☐	2．その他	☐	A．その他（　　）
その他	☐	1．現場発生材あり	☐	A．品名（　　）
			☐	B．納入場所(　　)
	☐	2．支給材あり	☐	A．品名（　　）
			☐	B．引渡し場所(　　)
	☐	3．現場環境改善	☐	A．仮設費（　　）
			☐	B．安全費（　　）
			☐	C．営繕費（　　）
			☐	D．地域連携（　　）
	☐	4．「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	☐	A．品質証明員の配置あり
	☐	5．部分使用	☐	A．範囲（　　）
			☐	B．時期（　　）
	☐	6．その他	☐	A．その他（　　）

記号	工　事　名　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）						
A	建築工事		1	式			
E	電気設備工事		1	式			
M	機械設備工事		1	式			
I	直接工事費　　計		1	式			
II	共通仮設費	（共通仮設工事費積上分を含む）	1	式			
	純工事費　　計						
III	現場管理費		1	式			
	工事原価　　計						
IV	一般管理費等負担額		1	式			
	工事価格　　計						
V	消費税相当額		1	式			
	総　合　計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A	建築工事						
a	北舎職員トイレ改修		1	式			
b	北舎東トイレ改修	1～3階	1	式			
c	北舎東多目的トイレ改修		1	式			
d	屋内運動場1階トイレ改修		1	式			
e	屋内運動場2階トイレ改修		1	式			
f	配膳室トイレ改修		1	式			
g	屋内運動場多目的トイレ改修		1	式			
	合計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨だし（仕上）		29.6	㎡			
	仕上養生		40.4	㎡			
	清掃、片付け		40.4	㎡			
	竣工時清掃		40.4	㎡			
	外部足場	くさび緊結式足場　W900　上り桟橋付	10.8	㎡			
	内部足場	脚立足場　並列	32.0	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	解体工事						
	コンクリートスラブ・土間解体	ハンドブレーカー主体	2.8	m3			
	トイレブース撤去		26.0	㎡			
	床おだれ石撤去		1.7	㎡			
	床塩ビシート撤去	t2.0	25.6	㎡			
	床モルタルカッター入れ		15.6	m			
	床嵩上げモルタル撤去	t50＋70	9.6	㎡			
	床タイル撤去	下地モルタル共	9.6	㎡			
	床下地モルタル撤去	t30程度	16.1	㎡			
	塩ビ製幅木撤去		26.0	m			
	廻り縁撤去		35.8	m			
	天井ボード撤去	ｹｲｶﾙ板t6.0　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	27.4	㎡			
	軽天下地撤去		14.0	㎡			
	面台ステンレス板撤去	W100×L900	1	箇所			
	〃	W250×L3300	1	箇所			
	面台化粧鋼板撤去	W100×L900	1	箇所			
	面台壁モルタル撤去	t20程度	1.1	㎡			
	面台壁ＣＢ積撤去	t100	4.9	㎡			
	面台軽鉄壁下地撤去	W100	4.9	㎡			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
面台壁ボード撤去	ケイカル板t6＋不燃化粧板t3	4.9	㎡			
発生材積込	コンクリートがら	2.8	m3			
〃	木屑	1.0	m3			
〃	ガラス陶器類	4.4	m3			
〃	廃プラスチック	0.4	m3			
〃	アスベスト成形板	0.2	m3			
〃	金属類	92.0	kg			
発生材運搬	コンクリートがら	2.8	m3			
〃	木屑	1.0	m3			
〃	ガラス陶器類	4.4	m3			
〃	廃プラスチック	0.4	m3			
〃	アスベスト成形板	0.2	m3			
〃	金属類	92.0	kg			
発生材処分	コンクリートがら	2.8	m3			
〃	木屑	1.0	m3			
〃	ガラス陶器類	4.4	m3			
〃	廃プラスチック	0.4	m3			
〃	アスベスト成形板	0.2	m3			
〃	金属類	92.0	kg			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	土間躯体工事						
	砕石地業　（再生材）	t100	2.9	m3			
	防湿シート敷	ポリエチレンフィルムt0.15	24.2	㎡			
	異形棒鋼　SD295A　D10	土間　タテヨコ@200	0.2	t			
	鉄筋加工組立	D10	0.2	t			
	鉄筋運搬費	4ｔ車	0.2	t			
	差し筋アンカー	金属製拡張アンカー　D10･L450	152	本			
	コンクリート	18-15-25	5.2	m3			
	打設手間	土間コンクリート	1	式			
	ポンプ圧送料金		1	回			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	左官工事						
	床コンクリート木こて押え		43.1	㎡			
	床モルタル金こて	貼り物下地　t30	42.3	㎡			
	汚垂石タイル	800×600	1.6	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
5	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	40.7	㎡			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上　H=60	26.0	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0　接着貼り　既存化粧板目荒し・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	64.0	㎡			
	同上出隅ジョイナー	アルミ製既製品	20.7	m			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	24.3	m			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	27.8	㎡			
	廻り縁	塩ビ 9mm　目透かし	36.7	m			
	天井出隅コーナー見切	塩ビ	1.3	m			
	面台前壁ケイカル板	t6.0	6.1	㎡			
	面台壁不燃メラミン化粧板	t3.0　接着貼り　ｹｲｶﾙ板面ｼｰﾗｰ・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	6.1	㎡			
	軽鉄壁下地	90形	6.1	㎡			
	軽天下地	19形	27.8	㎡			
	トイレ天井点検口	ｱﾙﾐ製　450角	4	箇所			
	同上天井開口補強	450角	4	箇所			
	廊下天井点検口	共用部既設天井　ｱﾙﾐ製450角	2	箇所			
	同上天井開口補強	450角	2	箇所			
	同上天井ボード開口	既設天井	2	箇所			
	ピクトサイン	200x200　ｱﾙﾐ型材	2	箇所			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	ステンレス面台	W110×L900　多目的流し前	2	箇所			
	〃	W250×L2800　小便器前	1	箇所			
	木製額縁	25×65	4.4	m			
	同上SOP塗装	細幅	4.4	m			
	既設木部下地処理	RB種　細幅	30.7	m			
	木部合成樹脂調合ペイント	細幅	30.7	m			
	既設亜鉛めっき面下地処理（鋼製建具面）	RB種　細幅	9.6	m			
	既設建具面合成樹脂調合ペイント	細幅　錆止めペイント共	9.6	m			
	シーリング　SR-1　10×10		8.9	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	仕上ユニット工事						
	トイレブース	TB-8	1	箇所			
	仕切ブース	TB-9	1	箇所			
	トイレブース	TB-10	1	箇所			
	仕切ブース	TB-11	1	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
b	北舎東トイレ改修						
1	直接仮設工事		1	式			
2	解体工事		1	式			
3	スラブ躯体工事		1	式			
4	左官工事		1	式			
5	内装工事		1	式			
6	建具・仕上ユニット工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨だし（仕上）		94.5	㎡			
	仕上養生		94.5	㎡			
	清掃、片付け		94.5	㎡			
	竣工時清掃		94.5	㎡			
	外部足場	くさび緊結式足場　W900　上り桟橋付	47.8	㎡			
	内部足場	脚立足場　並列	94.5	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	解体工事						
	コンクリートスラブ解体	ハンドブレーカー主体	0.2	m3			
	トイレブース撤去		45.6	㎡			
	壁タイル撤去	劣化部分	4.0	㎡			
	隔て板撤去		6.5	㎡			
	床塩ビシート撤去	t2.0	15.4	㎡			
	床フローリングボード撤去	t12.0	15.4	㎡			
	テラゾーブロックスクリーン解体	t40	37.8	㎡			
	欄間ステンレス枠撤去	外周枠　H750　W延べ6300	3	箇所			
	欄間ガラス撤去	型板ガラスt4.0	14.2	㎡			
	床モルタルカッター入れ		16.8	m			
	床タイル撤去	下地モルタル共	1.6	㎡			
	床ステンレス見切撤去	Ｌ800	6	箇所			
	塩ビ製幅木撤去		24.6	m			
	廻り縁撤去		114	m			
	天井ボード撤去	ｹｲｶﾙ板t6.0　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	68.4	㎡			
	〃	化粧石膏ボードt9.5	12.6	㎡			
	軽天下地撤去		54.0	m2			
	面台撤去	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ　W200×L4900	3	箇所			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
面台撤去	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ　W100×L1100	3	箇所			
面台壁タイル撤去	下地モルタル共	21.6	㎡			
面台壁ＣＢ積撤去	t100	21.6	㎡			
発生材積込	コンクリートがら	0.2	m3			
〃	木屑	2.3	m3			
〃	ガラス陶器類	6.6	m3			
〃	廃プラスチック	1.2	m3			
〃	アスベスト成形板	0.4	m3			
〃	金属類	459	kg			
〃	ボード類	1.2	m3			
発生材運搬	コンクリートがら	0.2	m3			
〃	木屑	2.3	m3			
〃	ガラス陶器類	6.6	m3			
〃	廃プラスチック	1.2	m3			
〃	アスベスト成形板	0.4	m3			
〃	金属類	459	kg			
〃	ボード類	1.2	m3			
発生材処分	コンクリートがら	0.2	m3			
〃	木屑	2.3	m3			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	〃	ガラス陶器類	6.6	m3			
	〃	廃プラスチック	1.2	m3			
	〃	アスベスト成形板	0.4	m3			
	〃	金属類	459	kg			
	〃	ボード類	1.2	m3			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	スラブ躯体工事						
	作業用ピットスラブ新設	鉄筋・アンカー・コンクリート	1	式			
	ポンプ圧送料金		1	回			
	和風便器撤去跡スラブ新設	鉄筋・アンカー・コンクリート 便器廻りｺﾝｸﾘｰﾄ補修斫り共	9	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	左官工事						
	床嵩上げモルタル	貼り物下地　t50	65.2	㎡			
	床樹脂モルタル	t15	15.4	㎡			
	汚垂石タイル	800×600	7.0	㎡			
	壁補修モルタル	ﾀｲﾙ劣化部撤去・機器撤去跡補修	4.0	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
5	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	80.6	m2			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上　H=60	92.0	m			
	塩ビ製幅木	H=75	1.8	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0　接着貼り　既設ﾀｲﾙ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	79.2	㎡			
	〃	t3.0　接着貼り　既設ﾎﾞｰﾄﾞ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	176	㎡			
	同上出隅ジョイナー	アルミ製既製品	61.0	m			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	84.0	m			
	シージング石膏ボード	t12.5	176	㎡			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	81.0	㎡			
	廻り縁	塩ビ 9mm　目透かし	114	m			
	面台前壁ケイカル板	t6.0	20.9	㎡			
	面台壁不燃メラミン化粧板	t3.0　接着貼り　ｹｲｶﾙ板面ｼｰﾗｰ・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	20.9	㎡			
	軽鉄壁下地	50形	54.0	㎡			
	面台軽鉄壁下地	90形	3.2	㎡			
	面台軽鉄壁下地	50形	17.6	㎡			
	軽天下地	19形	54.0	㎡			
	トイレ天井点検口	ｱﾙﾐ製　450角	7	箇所			
	同上天井開口補強	450角	7	箇所			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
廊下天井点検口	共用部既設天井　ｱﾙﾐ製450角	1	箇所			
同上天井開口補強	450角	1	箇所			
同上天井ボード開口	既設天井	1	箇所			
ピクトサイン	200x200　ｱﾙﾐ型材	6	箇所			
ステンレス面台	W100×L1900　多目的流し前	3	箇所			
〃	W260×L4900　小便器前	3	箇所			
ステンレス製床見切	L=800	6	箇所			
既設木部下地処理	RB種　細幅	60.6	m			
木部合成樹脂調合ペイント	細幅	60.6	m			
木製額縁	25×65	1.6	m			
同上SOP塗装	細幅	1.6	m			
シーリング　SR-1　10×10		32.4	m			
小計						
改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	仕上ユニット工事						
	トイレブース	TB-12	3	箇所			
	〃	TB-13	3	箇所			
	仕切りブース	TB-14	3	箇所			
	トイレブース	TB-15	3	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
c	北舎東多目的トイレ改修						
1	直接仮設工事		1	式			
2	解体工事		1	式			
3	土間躯体工事		1	式			
4	左官工事		1	式			
5	内装工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨だし（仕上）		9.5	㎡			
	仕上養生		9.5	㎡			
	清掃、片付け		9.5	㎡			
	竣工時清掃		9.5	㎡			
	内部足場	脚立足場　並列	9.5	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	解体工事						
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカー主体	1.2	m3			
	床塩ビシート撤去	t2.0	8.3	㎡			
	廻り縁撤去		11.6	m			
	天井ボード撤去	化粧石膏ボードt9.5	8.3	㎡			
	壁タイル撤去	劣化部分	0.8	㎡			
	発生材積込	コンクリートがら	1.2	m3			
	〃	廃プラスチック	0.1	m3			
	〃	ボード類	0.8	m3			
	〃	ガラス陶器類	0.3	m3			
	〃	金属類	241	kg			
	発生材運搬	コンクリートがら	1.2	m3			
	〃	廃プラスチック	0.1	m3			
	〃	ボード類	0.8	m3			
	〃	ガラス陶器類	0.3	m3			
	〃	金属類	241	kg			
	発生材処分	コンクリートがら	1.2	m3			
	〃	廃プラスチック	0.1	m3			
	〃	ボード類	0.8	m3			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	発生材処分	ガラス陶器類	0.3	m3			
	〃	金属類	241	kg			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	土間躯体工事						
	砕石地業　（再生材）	t100	1.0	m3			
	防湿シート敷	ポリエチレンフィルムt0.15	8.3	m2			
	異形棒鋼　SD295A　D10	土間　タテヨコ@200	0.1	t			
	鉄筋加工組立	D10	0.1	t			
	鉄筋運搬費	4ｔ車	0.1	t			
	差し筋アンカー	金属製拡張アンカー　D10･L450	58	本			
	コンクリート	18-15-25	1.0	m3			
	打設手間	土間コンクリート	1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	左官工事						
	床コンクリート木こて押え		8.3	㎡			
	床モルタル金こて	貼り物下地　t30	8.3	㎡			
	壁補修モルタル	ﾀｲﾙ劣化部撤去・機器撤去跡補修	0.8	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	8.3	㎡			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上　H=60	8.6	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0　接着貼り　既設ﾀｲﾙ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	16.2	㎡			
	〃	t3.0　接着貼り　既設ﾎﾞｰﾄﾞ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	6.7	㎡			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	5.0	m			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	8.3	㎡			
	廻り縁	塩ビ 9mm　目透かし	11.4	m			
	ピクトサイン	200x200　ｱﾙﾐ型材	1	箇所			
	木製額縁	25×90	4.8	m			
	同上SOP塗装	細幅	4.8	m			
	既設木部下地処理	RB種　細幅	4.8	m			
	木部合成樹脂調合ペイント	細幅	4.8	m			
	仮設面台	ｵｽﾄﾒｲﾄ予定箇所に設置	1	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
d	屋内運動場1階トイレ改修						
1	直接仮設工事		1	式			
2	解体工事		1	式			
3	土間躯体工事		1	式			
4	左官工事		1	式			
5	内装工事		1	式			
6	建具・仕上ユニット工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨だし（仕上）		36.9	㎡			
	仕上養生		36.9	㎡			
	清掃、片付け		36.9	㎡			
	竣工時清掃		36.9	㎡			
	外部足場	くさび緊結式足場　W900　上り桟橋付	7.2	㎡			
	内部足場	脚立足場　並列	36.9	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2	解体工事						
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカー主体	3.6	m3			
	トイレブース撤去		14.3	㎡			
	壁タイル撤去		2.7	㎡			
	床塩ビシート撤去	t2.0	12.8	㎡			
	床モルタルカッター入れ		3.0	m			
	床タイル撤去	下地モルタル共	19.2	㎡			
	テラゾーブロック框撤去	W70×H120　L=1500	1	箇所			
	〃	W70×H120　L=1300	1	箇所			
	木製幅木撤去	H=75	21.2	m			
	廻り縁撤去		51.0	m			
	天井ボード撤去	アスベスト含有	17.4	㎡			
	〃	石膏ボードt9.5	12.8	㎡			
	面台撤去	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ　W250×L1500	2	箇所			
	〃	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ　W250×L2800	1	箇所			
	面台壁タイル撤去	下地モルタル共	8.0	㎡			
	面台壁ＣＢ積撤去	t100	8.0	㎡			
	発生材積込	コンクリートがら	3.6	m3			
	〃	木屑	1.0	m3			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
〃	ガラス陶器類	2.1	m3			
〃	廃プラスチック	0.5	m3			
〃	アスベスト成形板	0.1	m3			
〃	ボード類	0.1	m3			
〃	金属類	32.3	kg			
発生材運搬	コンクリートがら	3.6	m3			
〃	木屑	1.0	m3			
〃	ガラス陶器類	2.1	m3			
〃	廃プラスチック	0.5	m3			
〃	アスベスト成形板	0.1	m3			
〃	ボード類	0.1	m3			
〃	金属類	32.3	kg			
発生材処分	コンクリートがら	3.6	m3			
〃	木屑	1.0	m3			
〃	ガラス陶器類	2.1	m3			
〃	廃プラスチック	0.5	m3			
〃	アスベスト成形板	0.1	m3			
〃	ボード類	0.1	m3			
〃	金属類	32.3	kg			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	土間躯体工事						
	砕石地業　（再生材）	t100	3.6	m3			
	防湿シート敷	ポリエチレンフィルムt0.15	30.2	㎡			
	異形棒鋼　SD295A　D10	土間　タテヨコ@200	0.2	t			
	鉄筋加工組立	D10	0.2	t			
	鉄筋運搬費	4ｔ車	0.2	t			
	差し筋アンカー	金属製拡張アンカー　D10･L450	218	本			
	コンクリート	18-15-25	3.6	m3			
	打設手間	土間コンクリート	1	式			
	ポンプ圧送料金		1	回			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	左官工事						
	床コンクリート木こて押え		30.2	㎡			
	床モルタル金こて	貼り物下地　t30	30.2	㎡			
	床樹脂モルタル	塩ビシート撤去跡薄塗	1.5	㎡			
	汚垂石タイル	800×600	1.7	㎡			
	壁補修モルタル	ﾀｲﾙ劣化部撤去・機器撤去跡補修	2.7	㎡			
	壁樹脂モルタル	面台撤去跡薄塗	3.8	㎡			
	幅木下地樹脂モルタル	木製幅木撤去跡　H=75・t10㎜	21.1	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
5	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	30.0	㎡			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上　H=60	20.8	m			
	〃	H=75	21.1	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0　接着貼り　既設ﾀｲﾙ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	54.2	㎡			
	〃	t3.0　接着貼り　既設ﾎﾞｰﾄﾞ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	3.6	㎡			
	同上出隅ジョイナー	アルミ製既製品	2.5	m			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	28.0	m			
	複層塗材トップコート塗替	Ｅ 既存吹付面	52.0	㎡			
	壁複層塗材	Ｅ モルタル面	3.8	㎡			
	同上下地調整材	E	55.8	㎡			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	31.9	㎡			
	廻り縁	塩ビ 9mm　目透かし	51.4	m			
	面台前壁ケイカル板	t6.0	4.9	㎡			
	面台壁不燃メラミン化粧板	t3.0　接着貼り　ｹｲｶﾙ板面ｼｰﾗｰ・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	4.9	㎡			
	軽鉄壁下地	50形	3.8	㎡			
	面台軽鉄壁下地	90形	4.9	㎡			
	トイレ天井点検口	ｱﾙﾐ製　450角　開口補強共	4	箇所			
	同上天井開口補強	450角	4	箇所			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	廊下天井点検口	共用部既設天井　ｱﾙﾐ製450角	2	箇所			
	同上天井開口補強	450角	2	箇所			
	同上天井ボード開口	既設天井	2	箇所			
	ピクトサイン	200x200　ｱﾙﾐ型材	2	箇所			
	ステンレス面台	W100×L600　多目的流し前	2	箇所			
	〃	W140×L2900　小便器前	1	箇所			
	ステンレス製床見切	L=1500	1	箇所			
	〃	L=1300	1	箇所			
	既設木部下地処理	RB種　細幅	11.6	m			
	木部合成樹脂調合ペイント	細幅	11.6	m			
	既設木部下地処理（建具面）	RB種	8.4	㎡			
	同上木部合成樹脂調合ペイント		8.4	㎡			
	隔て壁ふかし下地	W150×D50×H1900 軽鉄下地＋GB-St12.5	1	箇所			
	シーリング　SR-1　10×10		9.1	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	仕上ユニット工事						
	トイレブース	TB-16	1	箇所			
	〃	TB-17	1	箇所			
	仕切りブース	TB-18	1	箇所			
	トイレブース	TB-19	1	箇所			
	〃	TB-20	1	箇所			
	〃	TB-21	1	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
e	屋内運動場2階トイレ改修						
1	直接仮設工事		1	式			
2	解体工事		1	式			
3	スラブ躯体工事		1	式			
4	左官工事		1	式			
5	内装工事		1	式			
6	建具・仕上ユニット工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨だし（仕上）		23.2	㎡			
	仕上養生		23.2	㎡			
	清掃、片付け		23.2	㎡			
	竣工時清掃		23.2	㎡			
	外部足場	くさび緊結式足場　W900　上り桟橋付	34.0	㎡			
	外部足場	棚足場	27.6	㎡			
	内部足場	脚立足場　並列	23.2	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2	解体工事						
	隔て壁撤去	ﾊﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰ主体　CB積・ﾓﾙﾀﾙ下地100角ﾀｲﾙ貼(両面)	0.7	m3			
	トイレブース撤去		8.6	㎡			
	壁タイル撤去		1.8	㎡			
	床塩ビシート撤去	t2.0	5.5	㎡			
	床タイルはがし	下地モルタル共	1.8	㎡			
	テラゾーブロック框撤去	W70×H120　L=1200	2	箇所			
	テラゾーブロック三方枠撤去	W1200×H1900×D150　延長さ5m	1	箇所			
	木製幅木撤去	H=75	6.1	m			
	廻り縁撤去		34.0	m			
	天井ボード撤去	アスベスト含有	12.4	㎡			
	〃	石膏ボードt9.5	7.3	㎡			
	面台撤去	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ　W100×L1300	2	箇所			
	〃	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ　W200×L2300	1	箇所			
	面台壁タイル撤去	下地モルタル共	7.0	㎡			
	面台壁ＣＢ積撤去	t100	7.0	㎡			
	地流しステンレス槽撤去	W600×D500×H400	2	箇所			
	天井スパンドレル撤去		53.3	㎡			
	軽天下地撤去	25形	53.3	㎡			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
発生材積込	木屑	0.3	m3			
〃	ガラス陶器類	3.0	m3			
〃	廃プラスチック	0.4	m3			
〃	金属類	402	kg			
〃	アスベスト成形板	0.1	m3			
〃	ボード類	0.1	m3			
発生材運搬	木屑	0.3	m3			
〃	ガラス陶器類	3.0	m3			
〃	廃プラスチック	0.4	m3			
〃	金属類	402	kg			
〃	アスベスト成形板	0.1	m3			
〃	ボード類	0.1	m3			
発生材処分	木屑	0.3	m3			
〃	ガラス陶器類	3.0	m3			
〃	廃プラスチック	0.4	m3			
〃	金属類	402	kg			
〃	アスベスト成形板	0.1	m3			
〃	ボード類	0.1	m3			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	スラブ躯体工事						
	和式便器跡スラブ新設	鉄筋・アンカー・コンクリート 便器廻りｺﾝｸﾘｰﾄ補修斫り共	2	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	左官工事						
	床コンクリート木こて押え		12.4	㎡			
	床嵩上げモルタル	H=100	12.4	㎡			
	ポンプ圧送料金		1	回			
	溶接金網	6.0φ@200	12.4	㎡			
	床樹脂モルタル	タイル撤去跡	1.8	㎡			
	床樹脂モルタル	塩ビシート撤去跡薄塗	5.5	㎡			
	汚垂石タイル	800×600	1.4	㎡			
	壁補修モルタル	ﾀｲﾙ劣化部撤去・機器撤去跡補修	1.8	㎡			
	壁樹脂モルタル	面台撤去跡薄塗	3.1	㎡			
	幅木下地樹脂モルタル	木製幅木撤去跡　H=75・t10mm	6.2	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
5	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	18.0	㎡			
	塩ビ製幅木	ステンレス箔仕上　H=60	16.9	m			
	〃	H=75	6.2	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0　接着貼り　既設ﾀｲﾙ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	35.7	㎡			
	〃	t3.0　接着貼り　既設ﾎﾞｰﾄﾞ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	3.2	㎡			
	同上出隅ジョイナー	アルミ製既製品	2.0	m			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	20.0	m			
	複層塗材トップコート塗替	Ｅ 既存吹付面	24.0	㎡			
	壁複層塗材	Ｅ モルタル面	3.1	㎡			
	同上下地調整材	E	27.1	㎡			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	19.7	㎡			
	廻り縁	塩ビ 9㎜　目透かし	33.8	m			
	面台前壁ケイカル板	t6.0	4.9	㎡			
	面台壁不燃メラミン化粧板	t3.0　接着貼り　ｹｲｶﾙ板面ｼｰﾗｰ・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	4.9	㎡			
	軽鉄壁下地	50形	3.2	㎡			
	面台軽鉄壁下地	90形	4.9	㎡			
	トイレ天井点検口	ｱﾙﾐ製　450角　開口補強共	4	箇所			
	同上天井開口補強	450角	4	箇所			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
廊下天井点検口	共用部既設天井　ｱﾙﾐ製450角	1	箇所			
同上天井開口補強	450角	1	箇所			
同上天井ボード開口	既設天井	1	箇所			
ピクトサイン	200x200　ｱﾙﾐ型材	2	箇所			
ステンレス面台	W100×L900　多目的流し前	2	箇所			
〃	W90×L2300　小便器前	1	箇所			
ステンレス製床見切	L=1200	1	箇所			
〃	L=1050	1	箇所			
ステンレス製三方枠	W1050×H1900×D150　延長さ4850	1	箇所			
既設木部下地処理	RB種　細幅	10.8	m			
木部合成樹脂調合ペイント	細幅	10.8	m			
既設亜鉛めっき面下地処理（建具面）	RB種	10.4	㎡			
同上錆止めペイント		10.4	㎡			
同上合成樹脂調合ペイント		10.4	㎡			
隔て壁ふかし下地	W150×D50×H1900 軽鉄下地＋GB-St12.5	1	箇所			
外部天井アルミ製スパンドレル	リブピッチ100　シルバー色	44.5	㎡			
同上軽天下地	25形	44.5	㎡			
同上天井点検口	ｱﾙﾐ製　600角　開口補強共	3	箇所			
同上天井開口補強	600角	3	箇所			

名　　称		摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	シーリング　SR-1　10×10		7.6	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	仕上ユニット工事						
	トイレブース	TB-22	1	箇所			
	仕切りブース	TB-23	1	箇所			
	トイレブース	TB-24	1	箇所			
	〃	TB-25	1	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
f	配膳室トイレ改修						
1	直接仮設工事		1	式			
2	解体工事		1	式			
3	土間躯体工事		1	式			
4	左官工事		1	式			
5	内装工事		1	式			
6	建具・仕上ユニット工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨だし（仕上）		6.3	㎡			
	仕上養生		6.3	㎡			
	清掃、片付け		6.3	㎡			
	竣工時清掃		6.3	㎡			
	内部足場	脚立足場　並列	6.3	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2	解体工事						
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカー主体 和式便器立上り共	0.8	m3			
	トイレブース撤去		3.2	㎡			
	木製フラッシュ戸撤去	扉のみ　W800×H1800	1	箇所			
	壁タイル撤去	劣化部分	0.6	㎡			
	床モルタルカッター入れ		8.1	m			
	床タイル撤去	下地モルタル共	6.4	㎡			
	発生材積込	コンクリートがら	0.8	m3			
	〃	木屑	0.2	m3			
	〃	ガラス陶器類	0.3	m3			
	〃	廃プラスチック	0.1	m3			
	〃	金属類	0.5	kg			
	発生材運搬	コンクリートがら	0.8	m3			
	〃	木屑	0.2	m3			
	〃	ガラス陶器類	0.3	m3			
	〃	廃プラスチック	0.1	m3			
	〃	金属類	0.5	kg			
	発生材処分	コンクリートがら	0.8	m3			
	〃	木屑	0.2	m3			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	発生材処分	ガラス陶器類	0.3	m3			
	〃	廃プラスチック	0.1	m3			
	〃	金属類	0.5	kg			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	土間躯体工事						
	砕石地業　（再生材）	t100	0.7	m3			
	防湿シート敷	ポリエチレンフィルムt0.15	5.8	㎡			
	異形棒鋼　SD295A　D10	土間　タテヨコ@200	0.1	t			
	鉄筋加工組立	D10	0.1	t			
	鉄筋運搬費	4ｔ車	0.1	t			
	差し筋アンカー	金属製拡張アンカー　D10･L450	52	本			
	コンクリート	18-15-25	0.7	m3			
	打設手間	土間コンクリート	1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	左官工事						
	床コンクリート木こて押え		5.8	m2			
	床モルタル金こて	貼り物下地　t30	5.8	㎡			
	壁補修モルタル	ﾀｲﾙ劣化部撤去・機器撤去跡補修	0.6	㎡			
	壁樹脂モルタル	床嵩上げ部分撤去跡薄塗	0.5	m2			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
5	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	5.8	㎡			
	塩ビ製幅木	H=60	9.4	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0　接着貼り　既設ﾀｲﾙ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	12.7	㎡			
	同上出隅ジョイナー	アルミ製既製品	2.4	m			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	3.2	m			
	壁ボード下地処理	RB種	9.9	㎡			
	壁EP-G塗替		9.9	㎡			
	天井ケイカル面下地処理	RB種	5.8	㎡			
	天井EP塗替		5.8	㎡			
	面台前壁ケイカル板	t6.0	0.8	㎡			
	面台壁不燃メラミン化粧板	t3.0　接着貼り　ｹｲｶﾙ板面ｼｰﾗｰ・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	0.8	㎡			
	面台軽鉄壁下地	90形	0.8	㎡			
	天井点検口	ｱﾙﾐ製　450角　開口補強共	1	箇所			
	天井開口補強	450角	1	箇所			
	ステンレス面台	W100×L800　多目的流し前	1	箇所			
	既設木部下地処理	RB種　細幅	18.0	m			
	木部合成樹脂調合ペイント	細幅	18.0	m			
	既設鉄面下地処理（鉄骨面）	RB種	1.9	㎡			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	同上錆止めペイント		1.9	㎡			
	同上合成樹脂調合ペイント		1.9	㎡			
	シーリング　SR-1　10×10		0.8	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	仕上ユニット工事						
	トイレブース	TB-30	1	箇所			
	木製扉取替	WD-1	1	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
g	屋内運動場多目的トイレ改修						
1	直接仮設工事		1	式			
2	解体工事		1	式			
3	基礎工事		1	式			
4	鉄骨工事		1	式			
5	外装工事		1	式			
6	金属工事		1	式			
7	左官工事		1	式			
8	内装工事		1	式			
9	建具・仕上ユニット工事		1	式			
10	外部工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	やり方		1	式			
	墨だし（躯体・仕上）		8.5	㎡			
	躯体・仕上養生		8.5	㎡			
	清掃、片付け		8.5	㎡			
	竣工時清掃		8.5	㎡			
	外部足場	くさび緊結式足場　W900　上り桟橋付	17.5	㎡			
	外部足場	くさび緊結式足場　W600	28.8	㎡			
	安全手摺		13.4	m			
	外部養生	メッシュシート	17.5	㎡			
	内部足場	脚立足場　並列	8.5	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	解体工事						
	土間カッター入れ	コンクリートカッター	7.4	m			
	土間コンクリート解体	ハンドブレーカー主体	1.4	m3			
	アルミサッシ撤去	W3280×H2520	1	箇所			
	建具下幅木撤去		3.4	m			
	アスファルト舗装撤去		19.9	㎡			
	アスファルトカッター入れ		49.8	m			
	発生材積込	コンクリートがら	1.4	m3			
	〃	金属類	43.6	kg			
	〃	ガラス陶器類	0.1	m3			
		廃アスファルト	1.0	m3			
	発生材運搬	コンクリートがら	1.4	m3			
	〃	金属類	43.6	kg			
	〃	ガラス陶器類	0.1	m3			
	〃	廃アスファルト	1.0	m3			
	発生材処分	コンクリートがら	1.4	m3			
	〃	アルミ屑	43.6	kg			
	〃	ガラス陶器類	0.1	m3			
	〃	廃アスファルト	1.0	m3			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	基礎工事						
	根切り		16.6	m3			
	埋め戻し		12.8	m3			
	建設発生土処分		3.7	m3			
	床付け		7.5	㎡			
	基礎砕石地業　（再生材）		0.5	m3			
	土間砕石地業　（再生材）		0.3	m3			
	防湿シート敷	ポリエチレンフィルムt0.15	5.6	㎡			
	ポリスチレンフォーム	t25.0	5.6	㎡			
	異形棒鋼　SD295A　D16		0.3	t			
	異形棒鋼　SD295A　D13		0.1	t			
	異形棒鋼　SD295A　D10		0.2	t			
	鉄筋加工組立	D10	0.6	t			
	鉄筋運搬費	4ｔ車	0.6	t			
	基礎コンクリート	21-18-25	3.1	m3			
	土間コンクリート	18-15-25	1.3	m3			
	捨てコンクリート	18-12-25	0.4	m3			
	打設手間		1	式			
	ポンプ圧送料金		2	回			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	普通型枠		23.0	㎡			
	打放型枠		1.3	㎡			
	型枠運搬		24.3	㎡			
	エラスタイト	t20　幅130	2.9	m			
	〃	t20　幅250	1.2	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
4	鉄骨工事						
	H形鋼	SS400　H-250×125×6×9	0.3	t			
	H形鋼	SS400　H-200×100×5.5×8	0.1	t			
	角形鋼管	STKR400　□-150×150×9	0.5	t			
	リップ溝形鋼	SSC400　C-100×50×20×2.3	0.1	t			
	山形鋼	SS400　L-90×90×10	0.2	t			
	〃	SS400　L-90×90×7	0.1	t			
	丸鋼	SS400　16φ	0.1	t			
	鋼板	SS400　PL-16	0.2	t			
	〃	〃　PL-12	0.1	t			
	〃	〃　PL-9	0.1	t			
	〃	〃　PL-6	0.1	t			
	高力ボルト	M16	125	本			
	アンカーボルト	M20・L=450	8	本			
	アンカーボルト据付		8	本			
	柱底無収縮モルタル		4.0	箇所			
	工場加工	工場塗装・溶接部自主検査を含む	1.2	t			
	現場建方		1.2	t			
	高力ボルト本締め		1.2	t			

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	現場タッチアップ	D10	24.6	㎡			
	鉄骨工事運搬費		1.2	t			
	あと施工アンカー	樹脂系　M12　L=160	3	本			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	外装工事						
	外壁押出成形セメント板	t60　平パネル縦張り	31.7	㎡			
	同質L型コーナー	300×300	7.7	m			
	副資材・取付アングル他		1	式			
	現場切断加工		1	式			
	荷揚重機		1	式			
	電源	三相200V	1	式			
	残材処分		1	式			
	シーリング	板間・建具廻り・土間取合・ホール取合	52.8	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	金属工事						
	軽天下地	19形	5.9	㎡			
	軽鉄壁下地	100形	5.4	㎡			
	〃	65形	11.4	㎡			
	〃	50形	13.6	㎡			
	軽鉄壁下地開口補強	1.10×0.30	1	箇所			
	トイレ天井点検口	ｱﾙﾐ製　450角　開口補強共	1	箇所			
	同上天井開口補強	450角	1	箇所			
	廊下天井点検口	共用部既設天井　ｱﾙﾐ製450角	2	箇所			
	同上天井開口補強	450角	2	箇所			
	同上天井ボード開口	既設天井	2	箇所			
	EXP.J金物	屋外壁　L=3.840	2	箇所			
	〃	屋内壁　L=2.340	2	箇所			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7	左官工事						
	床コンクリート木こて押え		8.8	㎡			
	外壁幅木コンクリート打放補修		1.8	㎡			
	床モルタル金こて	貼り物下地　t30	7.0	㎡			
	床樹脂モルタル		0.3	㎡			
	外壁複層仕上塗材	E　凹凸仕上	29.7	㎡			
	同上下地調整材	E	29.7	㎡			
	既設壁出隅モルタル補修	W200	0.7	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
8	内装工事						
	ビニル床シート	t2.0 防汚性	7.3	㎡			
	塩ビ製幅木	H=60　ステンレス箔仕様	8.1	m			
	塩ビ製幅木	H=100	1.3	m			
	メラミン不燃化粧板	t3.0　接着貼り　ﾎﾞｰﾄﾞ面・ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾙ共	12.1	㎡			
	同上入隅ジョイナー	アルミ製既製品	9.4	m			
	壁下地シージングボード	t12.5	12.1	㎡			
	壁下地石膏ボード	t12.5＋9.5	4.6	㎡			
	床見切材	軟質樹脂製	2.4	m			
	天井化粧石膏ボード	t9.5	7.0	㎡			
	廻り縁	塩ビ 9mm　目透かし	10.6	m			
	ピクトサイン	200x200　ｱﾙﾐ型材	1	箇所			
	亜鉛めっき面合成樹脂調合ペイント	細幅	8.0	m			
	壁モルタル下地処理	RB種　細幅	2.7	m			
	壁EP塗替	細幅	2.7	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
9	建具・仕上ユニット工事						
	アルミ製はめ殺しサッシ	W1100×H300　ｱﾙﾐ額縁共	1	箇所			
	鋼製軽量ハンガー戸(自閉式)	戸袋式　W2000×H2000 額縁共	1	箇所			
	型板強化ガラス	t4.0	0.6	㎡			
	ガラス留シーリング	SR-1	4.8	m			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
10	外部工事						
	土間下砕石		0.5	m3			
	土間コンクリート	18-15-25	0.5	m3			
	打設手間	土間コンクリート	1	式			
	異形棒鋼　SD295A　D10	土間　タテヨコ@200	0.1	t			
	鉄筋加工組立	D10	0.1	t			
	鉄筋運搬費	4ｔ車	0.1	t			
	差し筋アンカー	D10・L=400	32	本			
	土間面木ごて仕上		4.4	㎡			
	アスファルト舗装	A50-100	19.9	㎡			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
E	電気設備工事						
a	北舎職員トイレ改修		1	式			
b	北舎東トイレ改修	1～3階	1	式			
c	北舎東多目的トイレ改修		1	式			
d	屋内運動場1階トイレ改修		1	式			
e	屋内運動場2階トイレ改修		1	式			
f	配膳室トイレ改修		1	式			
g	屋内運動場多目的トイレ改修		1	式			
	合計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
a	北舎職員トイレ改修						
1	北舎職員トイレ改修		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	北舎職員トイレ改修						
1-1	電灯設備　幹線		1	式			
1-2	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
1-3	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-1	電灯設備　幹線						
	電線	EM-IE　5.5mm2　　管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-CE　5.5mm2　-3C　　天井内	1.0	m			
	ケーブル	EM-CE　5.5mm2　-4C　　天井内	28.0	m			
	開閉器盤	S　-　A　　3P 30AT x1	1.0	面			
	分電盤	L　-　B3 主：30AT、分岐:20ATx8回路	1.0	面			
	はつり工事		1	式			別紙明細－1
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-2	電灯設備　分岐－電灯						
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	1.0	個			
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-2C　　天井内	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	25.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	3.0	m			
	人感ｾﾝｻ	親機　広角検知	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知	1.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	1.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A2：LRS1　-08　LN	8.0	個			
	LED灯	A4：LRS1　-17　LN	2.0	個			
	LED灯	A5：LRS1　-22　LN	2.0	個			
	はつり工事		1	式			別紙明細－2
	撤去工事		1	式			別紙明細－3

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-3	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	電線管	PF　22　　隠蔽	4.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	6.0	個			
	1種金属線ぴ	Ａ形	18.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	7.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　管内	18.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　PF内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	24.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	7.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	3.0	枚			
	はつり工事		1	式			別紙明細－4
	撤去工事		1	式			別紙明細－5
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
b	北舎東トイレ改修	1～3階					
1	北舎東トイレ改修	1階（d1F）	1	式			
2	北舎東トイレ改修	2階（d2F）	1	式			
3	北舎東トイレ改修	3階（d3F）	1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	北舎東トイレ改修	1階（d1F）					
1-1	電灯設備　幹線		1	式			
1-2	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
1-3	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-1	電灯設備　幹線						
	電線	EM-IE　5.5mm2　　管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-CE　5.5mm2　-3C　　天井内	1.0	m			
	分電盤	L　-　C4 主：30AT、分岐:20ATx10回路	1.0	面			
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-2	電灯設備　分岐－電灯						
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	2.0	個			
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-2C　　天井内	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	42.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	1.0	m			
	人感ｾﾝｻ	親機　広角検知	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知	3.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	2.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A1：LRS1　-05　LN	6.0	個			
	LED灯	A2：LRS1　-08　LN	5.0	個			
	LED灯	A3：LRS1　-13　LN	8.0	個			
	はつり工事		1	式			別紙明細－6
	撤去工事		1	式			別紙明細－7

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-3	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	電線管	PF　22　　隠蔽	3.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	6.0	個			
	1種金属線ぴ	Ａ形	19.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	7.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　管内	19.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　PF内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	38.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	7.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	2.0	枚			
	はつり工事		1	式			別紙明細－8
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	北舎東トイレ改修	2階（d2F）					
2-1	電灯設備　幹線		1	式			
2-2	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
2-3	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2-1	電灯設備　幹線						
	電線	EM-IE　5.5mm2　　管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-CE　5.5mm2　-3C　　天井内	1.0	m			
	分電盤	L　-　B4 主：30AT、分岐:20ATx8回路	1.0	面			
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
2-2	電灯設備　分岐－電灯						
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	2.0	個			
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-2C　　天井内	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	42.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	1.0	m			
	人感ｾﾝｻ	親機　広角検知	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知	3.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	2.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A1：LRS1　-05　LN	6.0	個			
	LED灯	A2：LRS1　-08　LN	5.0	個			
	LED灯	A3：LRS1　-13　LN	8.0	個			
	はつり工事		1	式			別紙明細－9
	撤去工事		1	式			別紙明細－10

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2-3	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	電線管	PF　22　　隠蔽	3.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	6.0	個			
	1種金属線ぴ	Ａ形	19.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	7.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　管内	19.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　PF内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	38.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	7.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	2.0	枚			
	はつり工事		1	式			別紙明細－11
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	北舎東トイレ改修	3階（d3F）					
3-1	電灯設備　幹線		1	式			
3-2	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
3-3	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3-1	電灯設備　幹線						
	電線	EM-IE　5.5mm2　　管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-CE　5.5mm2　-3C　　天井内	1.0	m			
	分電盤	L　-　B4 主：30AT、分岐:20ATx8回路	1.0	面			
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
3-2	電灯設備　分岐－電灯						
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	2.0	個			
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-2C　　天井内	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	42.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	1.0	m			
	人感ｾﾝｻ	親機　広角検知	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知	3.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	2.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A1：LRS1　-05　LN	6.0	個			
	LED灯	A2：LRS1　-08　LN	5.0	個			
	LED灯	A3：LRS1　-13　LN	8.0	個			
	はつり工事		1	式			別紙明細－12
	撤去工事		1	式			別紙明細－13

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3-3	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	電線管	PF　22　　隠蔽	3.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	6.0	個			
	1種金属線ぴ	Ａ形	19.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	7.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　管内	19.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　PF内	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	38.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	7.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	2.0	枚			
	はつり工事		1	式			別紙明細－14
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
c	北舎東多目的トイレ改修						
1	北舎東多目的トイレ改修	1階（d1F多）	1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	北舎東多目的トイレ改修	1階（d1F多）					
1-1	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
1-2	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
1-3	ﾄｲﾚ呼出設備		1	式			
1-4	自動火災報知設備		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-1	電灯設備　分岐－電灯						
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	2.0	個			
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	1.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	9.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	3.0	m			
	人感ｾﾝｻ	広角検知 照明制御、換気扇連動可能	1.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	1.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	1.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角形	2.0	枚			
	LED灯	A2：LRS1　-08　LN	2.0	個			
	LED灯	A4：LRS1　-17　LN	2.0	個			
	はつり工事		1	式			別紙明細－15
	撤去工事		1	式			別紙明細－16
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-2	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	1種金属線ぴ	Ａ形	2.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	1.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	2.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E、ET付	3.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	1.0	個			
	はつり工事		1	式			別紙明細－17
	撤去工事		1	式			別紙明細－18
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-3	ﾄｲﾚ呼出設備						
	機器等　取外し再取付		1	式			別紙明細－19
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-4	自動火災報知設備						
	機器等　取外し再取付		1	式			別紙明細－20
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
d	屋内運動場1階トイレ改修						
1	屋内運動場1階トイレ改修		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	屋内運動場1階トイレ改修						
1-1	電灯設備　幹線		1	式			
1-2	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
1-3	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-1	電灯設備　幹線						
	電線	EM-IE　5.5mm2　　管内	1.0	m			
	ケーブル	EM-CE　5.5mm2　-3C　　天井内	1.0	m			
	分電盤	L　-　B5 主：30AT、分岐:20ATx8回路	1.0	面			
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-2	電灯設備　分岐－電灯						
	1種金属線ぴ	Ａ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	2.0	個			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	1.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-2C　　天井内	10.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	15.0	m			
	人感ｾﾝｻ	親機　広角検知	4.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知	1.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	1回路	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	2.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角形	4.0	枚			
	機器等　取外し再取付		1	式			別紙明細－21
	はつり工事		1	式			別紙明細－22
	撤去工事		1	式			別紙明細－23

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-3	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	電線管	PF　22　　隠蔽	2.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	5.0	個			
	1種金属線ぴ	Ａ形	20.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	7.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　管内	20.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　PF内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	66.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	7.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	2.0	枚			
	はつり工事		1	式			別紙明細－24
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
e	屋内運動場2階トイレ改修						
1	屋内運動場2階トイレ改修		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1	屋内運動場2階トイレ改修						
1-1	電灯設備　幹線		1	式			
1-2	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
1-3	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　　量	単位			備　　考
1-1	電灯設備　幹線						
	ケーブル	EM-CE　5.5mm2　-4C　　天井内	1.0	m			
	分電盤	L　-　A1 主：30AT、分岐:20ATx6回路	1.0	面			
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-2	電灯設備　分岐－電灯						
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	2.0	個			
	電線	EM-IE　1.6　　管内	22.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-2C　　天井内	14.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	9.0	m			
	人感ｾﾝｻ	親機　広角検知	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知	1.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知 換気扇連動可能	2.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	2.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	2.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	角形	4.0	枚			
	機器等　取外し再取付		1	式			別紙明細－25
	はつり工事		1	式			別紙明細－26
	撤去工事		1	式			別紙明細－27
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-3	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	電線管	E　25　　露出	22.0	m			
	電線管	PF　22　　隠蔽	2.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	5.0	個			
	プルボックス	200 x 200 x 100	2.0	個			
	1種金属線ぴ	Ａ形	16.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	6.0	個			
	電線	EM-IE　2.0　　管内	52.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　管内	24.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　PF内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	26.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	6.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	2.0	枚			
	塗装工事		1	式			別紙明細－28
	はつり工事		1	式			別紙明細－29
	撤去工事		1	式			別紙明細－30
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
f	配膳室トイレ改修						
1	配膳室トイレ改修		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1	配膳室トイレ改修						
1-1	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-1	電灯設備　分岐－電灯						
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	3.0	個			
	1種金属線ぴ	Ａ形	4.0	m			
	1種金属線ぴ	Ｂ形	1.0	m			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ａ形	2.0	個			
	1種金属線ぴ　付属品	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ　1個用　Ｂ形	1.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	6.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-2C　　天井内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	9.0	m			
	人感ｾﾝｻ	親機　広角検知	1.0	個			
	人感ｾﾝｻ	子機　広角検知 換気扇連動可能	1.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	1.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x1　E付　抜け止め	1.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	2.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	1.0	枚			
	LED灯	A2：LRS1　-08　LN	1.0	個			
	LED灯	A3：LRS1　-13　LN	2.0	個			
	撤去工事		1	式			別紙明細－31

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
g	屋内運動場多目的トイレ改修						
1	屋内運動場多目的トイレ改修		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1	屋内運動場多目的トイレ改修						
1-1	電灯設備　分岐－電灯		1	式			
1-2	電灯設備　分岐－ｺﾝｾﾝﾄ		1	式			
1-3	ﾄｲﾚ呼出設備		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-1	電灯設備　分岐－電灯						
	電線管	PF　22　　隠蔽	2.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　1.6　-3C　　天井内	6.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	7.0	m			
	人感ｾﾝｻ	広角検知 照明制御、換気扇連動可能	1.0	個			
	人感ｾﾝｻ用操作ｽｲｯﾁ	2回路	1.0	個			
	LED灯	A2：LRS1　-08　LN	2.0	個			
	LED灯	A5：LRS1　-22　LN	1.0	個			
	はつり工事		1	式			別紙明細－32
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-2	電灯設備　分岐ーｺﾝｾﾝﾄ						
	電線管	PF　22　　隠蔽	4.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	4.0	個			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　PF内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF　2.0　-3C　　天井内	17.0	m			
	ｺﾝｾﾝﾄ（金属製ﾌﾟﾚｰﾄ）	2P　15A　x2　E、ET付	3.0	個			
	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ（金属製）	丸形	1.0	枚			
	はつり工事		1	式			別紙明細－33
	小々計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
1-3	ﾄｲﾚ呼出設備						
	電線管	G　16　　露出	75.0	m			
	電線管	PF　16　　隠蔽	4.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	4角　中浅	4.0	個			
	プルボックス	150 x 150 x 100　　SUS　WP	6.0	個			
	ケーブル	EM-AE　1.2　-2C　　管内	75.0	m			
	ケーブル	EM-AE　1.2　-2C　　PF内	1.0	m			
	ケーブル	EM-AE　1.2　-3C　　PF内	3.0	m			
	ケーブル	EM-AE　1.2　-2C　　天井内	34.0	m			
	ケーブル	EM-AE　1.2　-3C　　天井内	3.0	m			
	ﾄｲﾚ呼出表示装置	露出形　3窓	1.0	面			
	呼出ﾎﾞﾀﾝ	埋込形　引き紐付	2	個			
	復旧ﾎﾞﾀﾝ	埋込形	1	個			
	ブザー付廊下灯	埋込形	1	個			
	塗装工事		1	式			別紙明細－34
	はつり工事		1	式			別紙明細－35
	小々計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－1 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	1.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－2 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－3 撤去工事						
撤去　ケーブル	VVF　1.6　-2C　　管内	6.0	m			
撤去　ケーブル	VVF　1.6　-3C　　管内	2.0	m			
撤去　ケーブル	VVF　1.6　-2C　　天井内	6.0	m			
撤去　ケーブル	VVF　1.6　-3C　　天井内	16.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x2 + PLSW x1	2.0	個			
撤去　露出形ｺﾝｾﾝﾄ	2P　15A　x1	1.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FL　201	1.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FL　401	1.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FHF　322	4.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－4 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	1.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－5 撤去工事						
撤去　ケーブル	VVF　2.0　-3C　　天井内	6.0	m			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1　ET付	2.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－6 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－7 撤去工事						
撤去　電線管	E　19　　隠蔽	13.0	m			
撤去　電線管	E　25　　隠蔽	2.0	m			
撤去　電線	EM-IE　1.6　　管内	51.0	m			
撤去　電線	EM-IE　2.0　　管内	7.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x2 + PLSW x1	2.0	個			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1	2.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FL　402	4.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－8 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－9 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－10 撤去工事						
撤去　電線管	E　19　　隠蔽	13.0	m			
撤去　電線管	E　25　　隠蔽	2.0	m			
撤去　電線	EM-IE　1.6　　管内	51.0	m			
撤去　電線	EM-IE　2.0　　管内	7.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x2 + PLSW x1	2.0	個			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1	2.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FL　402	4.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－11 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－12 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－13 撤去工事						
撤去　電線管	E　19　　隠蔽	13.0	m			
撤去　電線管	E　25　　隠蔽	2.0	m			
撤去　電線	EM-IE　1.6　　管内	51.0	m			
撤去　電線	EM-IE　2.0　　管内	7.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x1 + PLSW x1	2.0	個			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1	2.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FL　402	4.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－14 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－15 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	1.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－16 撤去工事						
撤去　電線管	E　19　　隠蔽	9.0	m			
撤去　電線	EM-IE　1.6　　管内	24.0	m			
撤去　電線	EM-IE　2.0　　管内	7.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x3	1.0	個			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1	1.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FL　402	2.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－17 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	1.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－18 撤去工事						
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1　ET付	3.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－19 機器等　取外し再取付						
機器等　取外し再取付	呼出押し釦	1.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－20 機器等　取外し再取付						
機器等　取外し再取付	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型　感知器	1.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－21 機器等　取外し再取付						
機器等　取外し再取付	露出形　LED灯　20形	2.0	個			
機器等　取外し再取付	露出形　LED灯　40形	2.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－22 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－23 撤去工事						
撤去　電線	IV　1.6　　管内	51.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x2	2.0	個			
撤去　スイッチ	1P 15A x2 + PLSW x1	2.0	個			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1	2.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－24 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－25 機器等　取外し再取付						
機器等　取外し再取付	露出形　LED灯　20形	4.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－26 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－27 撤去工事						
撤去　電線	IV　1.6　　管内	51.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x2	2.0	個			
撤去　スイッチ	1P 15A x2 + PLSW x1	2.0	個			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1	2.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－28 塗装工事						
配管塗装	E　25	22.0	m			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－29 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	4.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－30 撤去工事						
撤去　電線	IV　1.6　　管内	88.0	m			
撤去　スイッチ	1P 15A x1 + PL + 3W 15A x1	2.0	個			
撤去　スイッチ	3W 15A x1	2.0	個			
撤去　ｺﾝｾﾝﾄ	2P 15A x1	2.0	個			
撤去　蛍光灯	露出形　FL　202	4.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－31 撤去工事						
撤去　LED灯	露出形　LED　20形	1.0	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－32 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	1.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－33 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	1.0	箇所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－34 塗装工事						
配管塗装	G　16	75.0	m			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－35 はつり工事						
はつり補修	50φ　　機械	2.0	箇所			
計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
M	機械設備						
a	北舎職員ﾄｲﾚ改修工事		1	式			
b	北舎東ﾄｲﾚ改修工事		1	式			
c	北舎東多目的ﾄｲﾚ改修工事		1	式			
d	屋内運動場1階ﾄｲﾚ改修工事		1	式			
e	屋内運動場2階ﾄｲﾚ改修工事		1	式			
f	配膳室ﾄｲﾚ改修工事		1	式			
g	屋内運動場多目的ﾄｲﾚ改修工事		1	式			
	合計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
a	北舎職員ﾄｲﾚ改修工事						
1	衛生器具設備		1	式			
2	給水設備		1	式			
3	排水通気設備		1	式			
4	換気設備		1	式			
5	撤去工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	衛生器具設備						
	洋風便器 CFS498BCK/BC-P110SMA	ﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器	5.0	組			
	小便器 UFS900R/U-A51AP	低ﾘｯﾌﾟ 自動洗浄機能付 AC100V	3.0	〃			
	洗面器 L532/L-2094CL	ｱﾝﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ式 台付自動単水栓AC100V	3.0	〃			
	ｶｳﾝﾀｰ ML55/MB-601N	ﾌﾟﾚｰﾝﾀｲﾌﾟ ﾎﾞｳﾙ2 奥行550 1800L 1方ｴﾌﾟﾛﾝ	1.0	〃			
		扉式ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ					
	ｶｳﾝﾀｰ ML55/MB-601N	ﾌﾟﾚｰﾝﾀｲﾌﾟ ﾎﾞｳﾙ2 奥行550 1200L 1方ｴﾌﾟﾛﾝ	1	組			
		扉式ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ					
	ﾏﾙﾁｼﾝｸ SK500/S-21S	ﾚﾊﾞｰ式自在水栓 壁排水金具	1.0	組			
	手すり T113BL10/KF-920S70D12J	L型 SUS製 700×700 出幅120	2.0	〃			
	〃 T113BU22/KF-701SJ	小便器用 SUS製	1.0	〃			
	鏡 YM6090A/KF6090	一般鏡 600×900H	3.0	枚			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	給水設備						
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP　　便所　　20	22.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　25	3.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　30	1.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　40	1.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　50	1.0	〃			
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　　便所　　20	7.0	m			
	LPG管　白ｶﾞｽ管	SGP　　〃　　20	7.0	〃			
	既設給水管切断		1	式			別紙明細-1
	保温・塗装	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井PS	1	〃			別紙明細-2
	土工事		1	〃			別紙明細-3
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	排水通気設備						
	排水・通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　　便所　　40	10.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　50	27.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　65	5.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　75	6.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　100	8.0	〃			
	既設管切断		1	式			別紙明細-4
	床上掃除口	長尺ｼｰﾄ用 CIR50	2.0	個			
	〃	〃　CIR65	2.0	〃			
	塗装		1	式			別紙明細-5
	土工事		1	式			別紙明細-6
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	換気設備						
	VF-200 換気扇	格子ｸﾞﾘﾙ 電気式ｼｬｯﾀｰ 羽根径200φ	1	台			
		SUS製ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共(SUS防鳥網付き)					
	CF-3 天井換気扇	ｻﾆﾀﾘｰ用 低騒音型 160CMH×50Pa	1	台			
	取付		1	式			別紙明細-7
	給排気管移設工事		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	器具・機器撤去	衛生器具 換気機器	1	式			別紙明細-8
	給水管撤去		1	式			別紙明細-9
	排水・通気管撤去		1	式			別紙明細-10
	保温工事		1	式			別紙明細-11
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
b	北舎東ﾄｲﾚ改修工事						
1	衛生器具設備		1	式			
2	給水設備		1	式			
3	排水通気設備		1	式			
4	換気設備		1	式			
5	撤去工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	衛生器具設備						
	洋風便器　CFS494CSNS/C-P25S	ﾌﾗｯｼｭ弁式 暖房便座 棚付二連紙巻器	15.0	組			
	小便器 UFS900R/U-A51AP	低ﾘｯﾌﾟ 自動洗浄機能付 AC100V	12.0	〃			
	洗面器 L830CRU/L-2160FC	ｾﾙﾌﾄﾘﾐﾝｸﾞ式 台付自動単水栓AC100V	12.0	〃			
	ｶｳﾝﾀｰ ML35/MB-350M	ﾌﾟﾚｰﾝﾀｲﾌﾟ ﾎﾞｳﾙ2　奥行350 1800L 1方ｴﾌﾟﾛﾝ	6.0	〃			
	ﾏﾙﾁｼﾝｸ SK500/S-21S	ﾚﾊﾞｰ式自在水栓 壁排水金具	6.0	〃			
	手すり T113BL10/KF-920S70D12J	L型 SUS製 700×700 出幅120	6.0	〃			
	〃　T113BU22/KF-701SJ	小便器用 SUS製	3.0	〃			
	鏡　YM4560A/KF4560	一般鏡 450×600H	12.0	枚			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　額	備　考
2	給水設備						
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　ﾋﾟｯﾄ内　20	6.0	m			
	〃　〃	〃　〃　25	10.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　30	1.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　40	5.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　50	8.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　65	1.0	〃			
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　便所　20	21.0	m			
	〃　〃	〃　〃　25	39.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　30	2.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　40	10.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　50	28.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　65	2.0	〃			
	既設給水管切断		1	式			別紙明細-12
	機械斫り	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ	1	〃			別紙明細-13
	保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井PS	1	〃			別紙明細-14
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　額	備　考
3	排水通気設備						
	排水・通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　ﾋﾟｯﾄ内　40	11.0	m			
	〃　〃	〃　〃　50	17.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　65	3.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　75	12.0	m			
	〃　〃	〃　〃　100	9.0	〃			
	〃　〃	〃　〃　125	6.0	〃			
	排水管 耐火二層管	便所　40	18.0	m			
	〃　〃	〃　50	41.0	〃			
	〃　〃	〃　65	2.0	〃			
	〃　〃	〃　75	23.0	〃			
	〃　〃	〃　100	14.0	〃			
	通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　便所　50	8.0	m			
	〃　〃	〃　〃　65	7.0	〃			
	既設管切断		1	式			別紙明細-15
	機械斫り		1	式			別紙明細-16
	床上掃除口	長尺ｼｰﾄ用 CIR50	7.0	個			
	〃	〃　CIR65	4.0	〃			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	換気設備						
	VF-250 換気扇	格子ｸﾞﾘﾙ 電気式ｼｬｯﾀｰ 羽根径250φ	6.0	台			
		SUS製ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共(SUS防鳥網付き)					
	VF-200 換気扇	格子ｸﾞﾘﾙ 電気式ｼｬｯﾀｰ 羽根径200φ	1.0	台			
		SUS製ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共(SUS防鳥網付き)					
	取付		1	式			別紙明細-17
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	器具・機器撤去	衛生器具 換気機器	1	式			別紙明細-18
	給水管撤去		1	式			別紙明細-19
	排水・通気管撤去		1	式			別紙明細-20
	保温工事		1	式			別紙明細-21
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
c	北舎東多目的ﾄｲﾚ改修工事						
1	衛生器具設備		1	式			
2	給水設備		1	式			
3	排水通気設備		1	式			
4	換気設備		1	式			
5	撤去工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	衛生器具設備						
	洋風便器　CFS498BC/BC-P110SMA	ﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器 背もたれ	1.0	組			
	洗面器 L270C/L-275FCR	壁掛け ｶｳﾝﾀｰ一体式 自動単水栓AC100V	1.0	〃			
	手すり T113BL11/KF-926AE80D25	L型 SUS製 800×800 出幅230	1.0	〃			
	〃　T112HK7R/KF-471EH70JU	跳ね上げ式	1.0	〃			
	〃　T12CP23/KF-312S70J	洗面器用	2.0	本			
	鏡　YM6090A/KF6090	一般鏡 600×900H	1.0	枚			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	給水設備						
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP　　便所　　20	8.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　25	1.0	〃			
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　　便所　　20	1.0	m			
	既設給水管切断		1	式			別紙明細-22
	保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井PS	1	式			別紙明細-23
	土工事		1	〃			別紙明細-24
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	排水通気設備						
	排水・通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　　便所　　40	3.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　50	2.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　65	1.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　75	6.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　100	1.0	〃			
	床上掃除口	長尺ｼｰﾄ用 CIR65	1.0	個			
	土工事		1	式			別紙明細-25
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	換気設備						
	VF-200 換気扇	格子ｸﾞﾘﾙ 電気式ｼｬｯﾀｰ 羽根径200φ	1.0	台			
		SUS製ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共(SUS防鳥網付き)					
	取付		1	式			別紙明細-26
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	器具・機器撤去	衛生器具 換気機器	1	式			別紙明細-27
	給水管撤去		1	式			別紙明細-28
	排水・通気管撤去		1	式			別紙明細-29
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
d	屋内運動場1階ﾄｲﾚ改修工事						
1	衛生器具設備		1	式			
2	給水設備		1	式			
3	排水通気設備		1	式			
4	換気設備		1	式			
5	撤去工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	衛生器具設備						
	洋風便器 CFS498BCK/BC-P110SMA	ﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器	5.0	組			
	小便器 UFS900R/U-A51AP	低ﾘｯﾌﾟ 自動洗浄機能付 AC100V	3.0	〃			
	洗面器 L532/L-2094CL	ｱﾝﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ式 台付自動単水栓AC100V	4.0	〃			
	ｶｳﾝﾀｰ ML55/MB-601N	ﾌﾟﾚｰﾝﾀｲﾌﾟ ﾎﾞｳﾙ2 奥行550 1800L 1方ｴﾌﾟﾛﾝ	2.0	〃			
		扉式ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ					
	ﾏﾙﾁｼﾝｸ SK500/S-21S	ﾚﾊﾞｰ式自在水栓 壁排水金具	2.0	組			
	手すり T113BL10/KF-920S70D12J	L型 SUS製 700×700 出幅120	2.0	〃			
	〃 T113BU22/KF-701SJ	小便器用 SUS製	1.0	〃			
	鏡 YM4560A/KF4560	一般鏡 450×600H	4.0	枚			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	給水設備						
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP　　便所　　20	22.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　25	3.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　30	13.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　40	2.0	〃			
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　　便所　　20	6.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　30	3.0	〃			
	仕切弁　GV	JIS10K　　青銅　　30	2.0	個			
	既設給水管切断		1	式			別紙明細-30
	保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井PS	1	〃			別紙明細-31
	土工事		1	〃			別紙明細-32
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	排水通気設備						
	排水・通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　　便所　　40	8.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　50	14.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　65	8.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　75	8.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　100	13.0	〃			
	既設管切断		1	式			別紙明細-33
	床上掃除口	長尺ｼｰﾄ用 CIR65	3.0	個			
	土工事		1	式			別紙明細-34
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	換気設備						
	CF-4 天井換気扇	ｻﾆﾀﾘｰ用 低騒音型 250CMH×50Pa	2.0	台			
	取付		1	式			別紙明細-35
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	器具・機器撤去	衛生器具 換気機器	1	式			別紙明細-36
	給水管撤去		1	式			別紙明細-37
	排水・通気管撤去		1	式			別紙明細-38
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
e	屋内運動場2階ﾄｲﾚ改修工事						
1	衛生器具設備		1	式			
2	給水設備		1	式			
3	排水通気設備		1	式			
4	換気設備		1	式			
5	撤去工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	衛生器具設備						
	洋風便器 CFS498BCK/BC-P110SMA	ﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器	4.0	組			
	小便器 UFS900R/U-A51AP	低ﾘｯﾌﾟ 自動洗浄機能付 AC100V	3.0	〃			
	洗面器 L532/L-2094CL	ｱﾝﾀﾞｰｶｳﾝﾀｰ式 台付自動単水栓AC100V	4.0	〃			
	ｶｳﾝﾀｰ ML55/MB-601N	ﾌﾟﾚｰﾝﾀｲﾌﾟ ﾎﾞｳﾙ2 奥行550 1800L 1方ｴﾌﾟﾛﾝ	2.0	〃			
		扉式ﾌﾛﾝﾄﾊﾟﾈﾙ					
	ﾏﾙﾁｼﾝｸ SK500/S-21S	ﾚﾊﾞｰ式自在水栓 壁排水金具	2.0	組			
	手すり T113BL10/KF-920S70D12J	L型 SUS製 700×700 出幅120	2.0	〃			
	〃 T113BU22/KF-701SJ	小便器用 SUS製	1.0	〃			
	鏡 YM4560A/KF4560	一般鏡 450×600H	4.0	枚			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	給水設備						
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　　便所　　20	24.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　25	3.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　30	15.0	〃			
	仕切弁　GV	JIS10K　　青銅　　30	2.0	個			
	既設給水管切断		1	式			別紙明細-39
	機械斫り	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ	1	〃			別紙明細-40
	保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井PS	1	〃			別紙明細-41
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	排水通気設備						
	排水管 耐火二層管	便所　40	2.0	m			
	〃　〃	〃　50	16.0	〃			
	〃　〃	〃　65	9.0	〃			
	〃　〃	〃　75	7.0	〃			
	〃　〃	〃　100	8.0	〃			
	通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　便所　40	2.0	m			
	〃　〃	〃　〃　50	6.0	〃			
	既設管切断		1	式			別紙明細-42
	機械斫り		1	式			別紙明細-43
	床上掃除口	長尺ｼｰﾄ用 CIR65	4.0	個			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	換気設備						
	VF-200 換気扇	格子ｸﾞﾘﾙ 電気式ｼｬｯﾀｰ 羽根径200φ	2.0	台			
		SUS製ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共(SUS防鳥網付き)					
	取付		1	式			別紙明細-44
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	器具・機器撤去	衛生器具 換気機器	1	式			別紙明細-45
	給水管撤去		1	式			別紙明細-46
	排水・通気管撤去		1	式			別紙明細-47
	保温工事		1	式			別紙明細-48
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
f	配膳室ﾄｲﾚ改修工事						
1	衛生器具設備		1	式			
2	給水設備		1	式			
3	排水通気設備		1	式			
4	換気設備		1	式			
5	撤去工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	衛生器具設備						
	洋風便器 CFS498BCK/BC-P110SMA	ﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器	1.0	組			
	洗面器 L270C/L-275FCR	壁掛け ｶｳﾝﾀｰ一体式 自動単水栓AC100V	1.0	〃			
	鏡　　YM6090A/KF6090	一般鏡 600×900H	3.0	枚			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	給水設備						
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP　　便所　　20	6.0	m			
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　　便所　　20	1.0	m			
	既設給水管切断		1	式			別紙明細-49
	保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井PS	1	〃			別紙明細-50
	土工事		1	〃			別紙明細-51
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	排水通気設備						
	排水・通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　　便所　　40	3.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　65	1.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　75	2.0	〃			
	既設管切断		1	式			別紙明細-52
	床上掃除口	長尺ｼｰﾄ用 CIR65	1.0	個			
	土工事		1	式			別紙明細-53
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	換気設備						
	PF-1 ﾊﾟｲﾌﾟ用ﾌｧﾝ	角形格子ｸﾞﾘﾙ 180CMH 深型ﾌｰﾄﾞ200φ	1.0	台			
	取付		1	式			別紙明細-54
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	器具・機器撤去	衛生器具 換気機器	1	式			別紙明細-55
	給排水管撤去		1	式			別紙明細-56
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
g	屋内運動場多目的ﾄｲﾚ改修工事						
1	衛生器具設備		1	式			
2	給水設備		1	式			
3	排水通気設備		1	式			
4	換気設備		1	式			
5	撤去工事		1	式			
	計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	衛生器具設備						
	洋風便器　CFS498BC/BC-P110SMA	ﾌﾗｯｼｭﾀﾝｸ式 温水洗浄便座 棚付二連紙巻器 背もたれ	1.0	組			
	洗面器 LSA125AN/L-A951A2E	ﾊｲﾊﾞｯｸ式 自動単水栓AC100V	1.0	〃			
	手すり T113BL11/KF-926AE80D25	L型 SUS製 800×800 出幅230	1.0	〃			
	〃　T112HK7R/KF-471EH70JU	跳ね上げ式	1.0	〃			
	〃　T12CP23/KF-312S70J	洗面器用	2.0	本			
	鏡　YM6090A/KF6090	一般鏡 600×900H	1.0	枚			
	ｵｽﾄﾒｲﾄﾊﾟｯｸ	ｺﾝﾊﾟｸﾄﾀｲﾌﾟ　水石けん入れ 電気温水器付	1.0	組			
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	給水設備						
	給水管 耐衝撃性塩ビ管	HIVP　　便所　　20	6.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　25	2.0	〃			
	〃　　〃	〃　　地中埋設　　25	20.0	m			
	給水管 ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	SUS　　便所　　20	1.0	m			
	仕切弁 GV　青銅	JIS10K　　25	1.0	個			
	弁ﾎﾞｯｸｽ	VC-P	1.0	か所			
	既設給水管切断		1	式			別紙明細-57
	地中埋設標	鉄製	3.0	か所			
	保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井PS	1	式			別紙明細-58
	土工事		1	〃			別紙明細-59
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	排水通気設備						
	排水・通気管 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP　　便所　　40	2.0	m			
	〃　　〃	〃　　〃　　50	5.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　65	1.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　75	3.0	〃			
	〃　　〃	〃　　〃　　100	2.0	〃			
	〃　　〃	〃　　地中埋設　　100	13.0	m			
	床上掃除口	長尺ｼｰﾄ用 CIR65	1.0	個			
	塩ビ小口径桝　塩ビ蓋	90L　　100-200　　300H	1.0	組			
	〃　　〃	落差調整　　〃　　400H	1.0	〃			
	〃　　防護蓋	45Y　　〃　　800H	1.0	〃			
	〃　　防護蓋	落差調整　　〃　　300H	1.0	〃			
	土工事		1	式			別紙明細-60
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	換気設備						
	PF-1 ﾊﾟｲﾌﾟ用ﾌｧﾝ	角形格子ｸﾞﾘﾙ 180CMH 深型ﾌｰﾄﾞ200φ	1	台			
	取付		1	式			別紙明細-61
	小計						
	改め計						

名　　称		摘　　要	数量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	排水・通気管撤去		1	式			
	保温工事		1	式			
	小計						
	改め計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-1						
給水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　20A	1	か所			
〃	〃　〃　65A	1	〃			
〃	鋼管 保温なし　20A	1	か所			
計						
別紙明細-2						
給水設備 保温						
天井・PS ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	6.6	m			
室内露出　〃	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｶﾊﾞｰ　15	0.6	〃			
塗装	裸管上　20	1.5	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-3						
給水設備 土工事						
根切り	人力	5.2	m3			
山砂		2.2	〃			
埋戻し	人力	3.0	〃			
残土処分	場内	2.2	〃			
計						
別紙明細-4						
排水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　50A	1	か所			
〃	〃　〃　100A	2	〃			
計						
別紙明細-5						
排水設備 塗装						
塗装	裸管上　50A	5.6	m			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-6						
排水設備 土工事						
根切り	人力	10.4	m3			
山砂		3.5	〃			
埋戻し	人力	6.9	〃			
残土処分	場内	3.5	〃			
計						
別紙明細-7						
換気機器取付						
VF-200 換気扇	羽根径300φ　ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共	1	台			
CF-1 天井換気扇	ｻﾆﾀﾘｰ用 低騒音型 400CMH×50Pa	1	〃			
計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	別紙明細-8						
	器具機器撤去						
	洋風便器撤去	ﾀﾝｸ式 温水洗浄便座	2	組			
	〃	〃　普通便座	3	〃			
	小便器撤去	壁掛け ﾌﾗｯｼｭ弁式	3	〃			
	洗面器撤去	水栓穴×1	3	〃			
	多目的流し撤去		2	〃			
	鏡撤去		2	枚			
	換気扇撤去	200φ	1	台			
	天井換気扇撤去	CF-3	1	〃			
	計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-9						
給水管LPG管撤去						
塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 SGP-VB	便所　20	8.4	m			
耐衝撃性硬質塩ﾋﾞ管 HIVP	便所　20	21.0	m			
〃　〃	〃　25	0.8	〃			
〃　〃	〃　32	0.9	〃			
〃　〃	〃　50	0.7	〃			
〃　〃	〃　65	2.0	〃			
配管用炭素鋼鋼管 白	便所　20	6.9	m			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-10						
排水管撤去						
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP	便所　40	11.2	m			
〃　〃	〃　50	21.9	〃			
〃　〃	〃　65	6.9	〃			
〃　〃	〃　75	6.2	〃			
〃　〃	〃　100	12.2	〃			
計						
別紙明細-11						
保温撤去						
天井隠ぺい	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　20	1.6	m			
室内露出	〃　20	6.8	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-12						
給水設備 既設管切断						
既設管切断接続	鋼管 保温あり　25A	1	か所			
〃	〃　〃　65A	3	〃			
計						
別紙明細-13						
給水設備 機械斫り						
ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ	200t　75φ	30	か所			
計						
別紙明細-14						
給水設備 保温						
ﾋﾟｯﾄ内 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	5.9	m			
〃　〃	〃　20	9.8	〃			
〃　〃	〃　25	0.9	〃			
〃　〃	〃　30	5.2	〃			
〃　〃	〃　40	7.6	〃			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ﾋﾟｯﾄ内 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　50	0.8	m			
天井・PS ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	21.0	m			
〃　〃	〃　20	38.8	m			
〃　〃	〃　25	1.8	m			
〃　〃	〃　30	9.6	m			
〃　〃	〃　40	28.0	m			
〃　〃	〃　50	1.6	m			
計						
別紙明細-15						
排水設備 既設管切断・接続						
既設管切断	樹脂管 保温なし　65	1	カ所			
〃	〃　〃　100	3	〃			
〃	〃　〃　125	1	〃			
〃	樹脂管 保温あり　100	2				
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-16						
排水設備 機械斫り						
ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ	200t　　100φ	35	か所			
〃	〃　　125φ	21	〃			
計						
別紙明細-17						
換気機器取付						
VF-250 換気扇	羽根径250φ　ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共	6	台			
VF-200 換気扇	羽根径200φ　ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共	1	台			
計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	別紙明細-18						
	器具機器撤去						
	洋風便器撤去	ﾌﾗｯｼｭ弁式 普通便座	6	組			
	ﾌﾗｯｼｭ弁撤去	和風便器用	9	〃			
	小便器撤去	壁掛け ﾌﾗｯｼｭ弁式	12	〃			
	洗面器撤去	水栓穴×1	12	〃			
	多目的流し撤去		3	〃			
	掃除用流し撤去		3	〃			
	鏡撤去		12	枚			
	換気扇撤去	250φ	6	台			
	計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-19						
給水管撤去						
塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 SGP-VB	便所　20	24.8	m			
〃　〃	〃　25	16.0	〃			
〃　〃	〃　40	2.8	〃			
〃　〃	〃　50	4.0	〃			
〃　〃	〃　65	5.6	〃			
塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 SGP-VB	ﾋﾟｯﾄ内　20	8.4	m			
〃　〃	〃　25	10.3	〃			
〃　〃	〃　32	1.3	〃			
〃　〃	〃　50	1.3	〃			
〃　〃	〃　65	3.8	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-20						
排水管撤去						
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP	便所　40	15.0	m			
〃　〃	〃　50	35.2	〃			
〃　〃	〃　65	9.4	〃			
〃　〃	〃　75	11.4	〃			
〃　〃	〃　100	35.2	〃			
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP	ﾋﾟｯﾄ内　40	6.9	m			
〃　〃	〃　50	20.5	〃			
〃　〃	〃　65	3.6	〃			
〃　〃	〃　75	7.8	〃			
〃　〃	〃　100	12.9	m			
〃　〃	〃　125	6.8	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-21						
保温撤去						
ﾋﾟｯﾄ内	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ　20	8.4	m			
〃	〃　25	10.3	〃			
〃	〃　40	1.3	〃			
〃	〃　50	1.3	〃			
〃	〃　65	3.8	〃			
天井隠ぺい	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　20	26.3	m			
〃	〃　25	14.8	〃			
〃	〃　40	17.8	〃			
〃	〃　50	28.2	〃			
〃	〃　65	5.6	〃			
〃	〃　75	11.4	〃			
〃	〃　100	35.2	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-22						
給水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　25A	1	か所			
計						
別紙明細-23						
給水設備 保温						
天井・PS ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	0.5	m			
計						
別紙明細-24						
給水設備 土工事						
根切り	人力	2.3	m3			
山砂		1.0	〃			
埋戻し	人力	1.4	〃			
残土処分	場内	1.0	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-25						
排水設備 土工事						
根切り	人力	4.1	m3			
山砂		0.9	〃			
埋戻し	人力	3.2	〃			
残土処分	場内	0.9	〃			
計						
別紙明細-26						
換気機器取付						
VF-200 換気扇	羽根径200φ　ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共	1	台			
計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	別紙明細-27						
	器具機器撤去						
	洋風便器撤去	ﾀﾝｸ式 温水洗浄便座	1	組			
	洗面器撤去	水栓穴×1	1	〃			
	手すり	L形	1	〃			
	〃	跳ね上げ式	1	〃			
	〃	P形	2	〃			
	鏡撤去	傾斜鏡	1	枚			
	換気扇撤去	200φ	1	台			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	別紙明細-28						
	給水管撤去						
	耐衝撃性硬質塩ﾋﾞ管 HIVP	便所　　20	6.1	m			
	計						
	別紙明細-29						
	排水管撤去						
	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP	便所　　40	2.4	m			
	〃　　〃	〃　　75	6.0	〃			
	計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-30						
給水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　40A	1	か所			
計						
別紙明細-31						
給水設備 保温						
天井・PS ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	5.8	m			
〃　〃	〃　25	2.6	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-32						
給水設備 土工事						
根切り	人力	10.0	m3			
山砂		2.2	〃			
埋戻し	人力	7.8	〃			
残土処分	場内	2.2	〃			
計						
別紙明細-33						
排水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　50A	1	か所			
〃	〃　〃　100A	1	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-34						
排水設備 土工事						
根切り	人力	13.5	m3			
山砂		3.2	〃			
埋戻し	人力	10.4	〃			
残土処分	場内	3.2	〃			
計						
別紙明細-35						
換気機器取付						
CF-4 天井換気扇	ｻﾆﾀﾘｰ用 低騒音型 250CMH×50Pa	2	台			
計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	別紙明細-36						
	器具機器撤去						
	ﾌﾗｯｼｭ弁撤去	和風便器用	6	組			
	小便器撤去	壁掛け ﾌﾗｯｼｭ弁式	3	〃			
	洗面器撤去	水栓穴×1	4	〃			
	多目的流し撤去		2	〃			
	鏡撤去		4	枚			
	水栓撤去		2	個			
	計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-37						
給水管LPG管撤去						
耐衝撃性硬質塩ﾋﾞ管 HIVP	便所　20	9.8	m			
〃　〃	〃　25	8.4	〃			
〃　〃	〃　32	5.1	〃			
〃　〃	〃　40	1.4	〃			
計						
別紙明細-38						
排水管撤去						
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP	便所　40	6.5	m			
〃　〃	〃　50	24.3	〃			
〃　〃	〃　65	1.2	〃			
〃　〃	〃　75	10.4	〃			
〃　〃	〃　100	12.7	〃			
〃　〃	〃　125	6.6	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-39						
給水設備 既設管切断						
既設管切断	鋼管 保温あり　30A	1	か所			
計						
別紙明細-40						
給水設備 機械斫り						
ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ	200t　75φ	13	か所			
計						
別紙明細-41						
給水設備 保温						
天井・PS ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	23.7	m			
〃　〃	〃　20	3.4				
〃　〃	〃　25	15.3	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-42						
排水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温あり　100	1	か所			
計						
別紙明細-43						
排水設備 機械斫り						
ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ	200t　100φ	7	か所			
〃	〃　125φ	8	〃			
計						
別紙明細-44						
換気機器取付						
VF-200 換気扇	羽根径200φ　ｳｪｻﾞｶﾊﾞｰ共	2	台			
計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	別紙明細-45						
	器具機器撤去						
	洋風便器撤去	ﾀﾝｸ式 普通便座	1	組			
	ﾛｰﾀﾝｸ撤去	和風便器用	2	〃			
	小便器撤去	壁掛け ﾌﾗｯｼｭ弁式	3	〃			
	洗面器撤去	水栓穴×1	4	〃			
	鏡撤去		12	枚			
	水栓撤去		2	個			
	換気扇撤去	200φ	2	台			
	計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-46						
給水管撤去						
塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 SGP-VB	便所　20	8.7	m			
〃　〃	〃　25	5.5	〃			
〃　〃	〃　32	2.8	〃			
計						
別紙明細-47						
排水管撤去						
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP	便所　40	7.5	m			
〃　〃	〃　50	25.4	〃			
〃　〃	〃　75	14.5	〃			
〃　〃	〃　100	8.6	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-48						
保温撤去						
天井隠ぺい	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　20	8.7	m			
〃	〃　25	5.5	〃			
〃	〃　32	2.8	〃			
〃	〃　40	7.5	〃			
〃	〃　50	14.3	〃			
〃	〃　75	14.5	〃			
〃	〃　100	8.6	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-49						
給水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　20A	1	か所			
計						
別紙明細-50						
給水設備 保温						
天井・PS ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	0.8	m			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-51						
給水設備 土工事						
根切り	人力	1.4	m3			
山砂		0.6	〃			
埋戻し	人力	0.8	〃			
残土処分	場内	0.6	〃			
計						
別紙明細-52						
排水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　75A	1	か所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-53						
排水設備 土工事						
根切り	人力	1.5	m3			
山砂		0.5	〃			
埋戻し	人力	1.0	〃			
残土処分	場内	0.5	〃			
計						
別紙明細-54						
換気機器取付						
PF-1 ﾊﾟｲﾌﾟ用ﾌｧﾝ	角形格子ｸﾞﾘﾙ 200φ 深型ﾌｰﾄﾞ	1	台			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-55						
器具機器撤去						
ﾛｰﾀﾝｸ撤去	和風便器用	1	組			
洗面器撤去	水栓穴×1	1	〃			
鏡撤去		1	枚			
計						
別紙明細-56						
給排水管撤去						
耐衝撃性硬質塩ﾋﾞ管 HIVP	便所　20	3.8	m			
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP	便所　40	2.9	m			
〃　〃	〃　75	3.3	〃			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細-57						
給水設備 既設管切断						
既設管切断	樹脂管 保温なし　75	1	か所			
計						
別紙明細-58						
給水設備 保温						
天井・PS ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　15	3.6	m			
計						
別紙明細-59						
給水設備 土工事						
根切り	機械	5.3	m3			
〃	人力	2.0	〃			
埋戻し	機械	3.1	〃			
〃		0.8	〃			
山砂		3.1	〃			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
残土処分	場内	3.1	m3			
ｶｯﾀｰ	ｱｽﾌｧﾙﾄ路面	36.6	m			
計						
別紙明細-60						
排水設備 土工事						
根切り	機械	4.2	m3			
〃	人力	2.4	〃			
埋戻し	機械	2.8	〃			
〃		1.6	〃			
山砂		2.2	〃			
残土処分	場内	2.2	m3			
ｶｯﾀｰ	ｱｽﾌｧﾙﾄ路面	18.0	m			
計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	別紙明細-61						
	換気機器取付						
	PF-1 ﾊﾟｲﾌﾟ用ﾌｧﾝ	角形格子ｸﾞﾘﾙ 200φ 深型ﾌｰﾄﾞ	1	台			
	計						

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅱ	共通仮設費						
	仮囲い成形鋼板	H=2.0m	43.8	m			
	仮設門	クロスゲート　W6.00×H1.80	1	箇所			
	屋内仮設間仕切	片面ボード　t=12.5 上下端部テープ目止	133	㎡			
	木製仮設建具	片開き	24	箇所			
	揚重機	4.9t吊	3	日			
	安全対策	交通誘導員B	5	人			
	飲料水水質検査	26項目	3	検体			
	仮設トイレ	6か月	10.0	台			
	小計						
	改め計						

可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）

番号	図面名称	番号	図面名称	番号	図面名称
A01	建築改修特記仕様書１	A43	鉄骨標準図（１）	M01	機械設備工事概要・工事仕様書１
A02	建築改修特記仕様書２	A44	鉄骨標準図（２）	M02	機械設備工事仕様書２
A03	建築改修特記仕様書３	A45	屋内運動場多目的トイレ（新設）構造図	M03	機械設備１階平面図
A04	建築改修特記仕様書４			M04	機械設備２階平面図
A05	建築改修特記仕様書５			M05	機械設備３階平面図
A06	建築改修特記仕様書６			M06	北舎西管理特別教室棟１階トイレ（職員）　平面詳細図・器具表
A07	建築改修特記仕様書７	E01	電気設備工事仕様書	M07	北舎東普通特別教室棟１階トイレ（男子･女子･多目的）　平面詳細図・器具表
A08	配置図・附近見取図	E02	分電盤結線図（１）	M08	北舎東普通特別教室棟２階トイレ　平面詳細図・器具表
A09	現況１階平面図	E03	分電盤結線図（２）	M09	北舎東普通特別教室棟３階トイレ　平面詳細図・器具表
A10	現況２階平面図	E04	凡例、照明器具姿図	M10	屋内運動場１階トイレ　平面詳細図・器具表
A11	現況３･４階平面図	E05	電灯設備　１階平面図	M11	屋内運動場２階トイレ　平面詳細図・器具表
A12	北舎西管理特別教室棟１階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E06	電灯設備　２階平面図	M12	配膳室棟トイレ　平面詳細図・器具表
A13	北舎東普通特別教室棟１階トイレ（男子･女子･多目的）平面詳細図・内部仕上表	E07	電灯設備　３･４階平面図	M13	屋内運動場多目的トイレ　平面詳細図・器具表
A14	北舎東普通特別教室棟２･３階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E08	トイレ呼出設備　１階平面図	M14	北舎西管理特別教室棟１階・北舎東普通特別教室棟１～３階トイレ　換気設備　機器表・平面図
A15	屋内運動場１階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E09	北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）電灯設備　平面詳細図	M15	屋内運動場・プール棟トイレ　換気設備　機器表・平面図
A16	屋内運動場２階トイレ平面詳細図・内部仕上表	E10	北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図	M16	配膳室棟・屋内運動場多目的（新設）トイレ　換気設備　機器表・平面図
A17	配膳室棟トイレ平面詳細図・内部仕上表	E11	北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・ｄ（多））電灯設備　平面詳細図		
A18	屋内運動場多目的トイレ（新設）平面詳細図・断面図・仕上表	E12	北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・ｄ（多））ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図		
A19	屋内運動場多目的トイレ（新設）立面図・展開図・詳細図	E13	北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・ｄ（多））ﾄｲﾚ呼出設備　平面詳細図		
A20	北舎東普通特別教室棟トイレ矩計図	E14	北舎東普通特別教室棟２･３階トイレ（d2F・ｄ3F）電灯設備　平面詳細図		
A21	北舎西管理特別教室棟１階トイレ改修前後展開図	E15	北舎東普通特別教室棟２･３階トイレ（d2F・ｄ3F）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図		
A22	北舎東普通特別教室棟１階男子トイレ改修前後展開図	E16	屋内運動場１階トイレ（ｅ）電灯設備　平面詳細図		
A23	北舎東普通特別教室棟２･３階男子トイレ改修前後展開図	E17	屋内運動場１階トイレ（ｅ）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図		
A24	北舎東普通特別教室棟１～３階女子トイレ改修前後展開図	E18	屋内運動場２階トイレ（ｆ）電灯設備　平面詳細図		
A25	北舎東普通特別教室棟１階多目的トイレ改修前後展開図	E19	屋内運動場２階トイレ（ｆ）ｺﾝｾﾝﾄ設備　平面詳細図		
A26	屋内運動場１階男子トイレ改修前後展開図	E20	配膳室棟トイレ（h）電灯設備　平面詳細図		
A27	屋内運動場１階女子トイレ改修前後展開図	E21	屋外運動場多目的トイレ（ｊ）電灯設備　平面詳細図		
A28	屋内運動場２階トイレ改修前後展開図	E22	屋外運動場多目的トイレ（ｊ）ﾄｲﾚ呼出設備　平面詳細図・機器姿図（参考図）		
A29	屋内運動場２階トイレ手洗い・配膳室棟トイレ改修前後展開図				
A30	天井伏図２				
A31	天井伏図３				
A32	天井点検口位置図（全体１階）				
A33	天井点検口位置図（全体２階）				
A34	天井点検口位置図（全体３階）				
A35	建具表１				
A36	建具表２				
A37	詳細図				
A38	仮設計画図１				
A39	仮設計画図２				
A40	構造設計標準仕様				
A41	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）				
A42	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）				

Ⅱ 建築改修工事仕様

工事概要

工事名称　可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事
主要用途　中学校
工事種別　改修
敷地　可児市若葉台地内
　敷地面積　65,155.51 ㎡
都市計画法等　都市計画区域 ◉ 都市計画区域内（・市街化区域・市街化調整区域◉その他）
　・ 都市計画区域外
　用途地域　・（第一種中高層住居専用地域・第一種住居専用地域 ）
　防火地域　・ 防火地域　・準防火地域 ◉指定なし
　その他の指定　・ ２２条指定区域内 ◉２２条指定区域外 ・（　　）
　・（　　）
建築基準法　道　路　・国道　・県道 ◉市道　・町道　・村道　・私道
　幅員　－　m （２以上の道路に接する場合には、広い方の道路幅員を記入）
　指定の建ぺい率　60.0・50.0 %　指定の容積率　200.0・80.0 %
工事建物の概要
1(南舎)普通教室棟　・RC 造・３階建て、延べ床面積　3,189.33 ㎡
2(北舎西)管理特別教室棟　：RC 造・３階建て、延べ床面積　1,841.17 ㎡
3(北舎東)普通特別教室棟　RC 造・４階建て、延べ床面積　1,599.93 ㎡
4特別教室棟・配膳室棟　：S 造・平屋建て、延べ床面積　764.25 ㎡
5屋内運動場棟　：SRC 造・２階建て、延べ床面積　1,889.23 ㎡
6岡上歩目的トイレ(今回増築)　：S 造・平屋建て、延べ床面積　8.47 ㎡
7プール付属棟　：RC 造・平屋建て、延べ床面積　116.57 ㎡
8屋外トイレ　：S 造・平屋建て、延べ床面積　21.00 ㎡
工事の範囲　◉建築工事　（トイレ改造に伴う内装、建具等）
◉電気設備工事　（トイレ改造に伴う幹線、電灯設備等）
◉機械設備工事　（トイレ改修に伴う換気、衛生、給排水放設備等）
・外構工事一式
特記仕様書の範囲　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・構造特記仕様書　・外構工事特記仕様書　・建築工事特記仕様書
◉解体工事特記仕様書
・電気設備工事特記仕様書　・機械設備工事特記仕様書
◉可児市建設工事特記仕様書
別途工事　・

1．共通仕様
（1）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)による。
（2）電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。
（3）受注者は建築基準法第７条の定めによる完了検査（同法第７条の３の定めによる中間検査を含む）時には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意すること。
2．本特記仕様書の表記
（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊖ 印の付いたものを適用する。
⊖印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊖印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　．　）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［　．　］内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情情（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
上記事項が発生した場合は、契約書第２６条（臨機の措置）の規定による。
（5）標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例等を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。

章	項目	特記事項
① 共通事項	①適用基準等	・建築工事標準詳細図（令和４年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 各図面において、（0－00－0）内の数字は適用する上記詳細書号を示す。 工事写真撮影ガイドブック（平成３０年度版）建築工事編及び解体工事編 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）国土交通省大臣官房官営繕部整備課 ・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
	②適用区分	◉風圧力 風速（Ｖｏ＝　32　ｍ/ｓ） 地表面粗度区分　（　　Ⅲ　　） ◉積雪荷重 平成１２年５月３１日建設省告示第１４５５号における区域　別表（24 ）
	③工事実績情報サービス（CORINS）への登録	工事請負金額が５００万円以上（消費税込み）の工事について、　(1.1.4) 工事実績情報を登録するものとする。 （登録先：（一財）日本建設情報総合センター） なお、登録内容を訂正する必要が生じた場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、１０日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。 (1.2.2)
	④施工計画書	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書（総合施工計画書）を作成し、監督員に提出する。 次の工種に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 ◉仮設工事　・防水改修工事　・外壁改修工事 ◉建具改修工事　◉内装改修工事　◉塗装改修工事 ・耐震改修工事　◉環境配慮改修工事　◉解体工事
	5 電気保安技術者	・適用する　・(1.3.3)
	6 工事用電力設備保安責任者	・適用する　(1.3.4)
	⑦施工条件	◉適用する　(1.3.5) ◉施工時間　(※協議による　・指定なし　・指定あり　) ◉施工順序　(◉指定なし　・図示　・　) ◉工事用車両の駐車場　(・指定なし　・図示　◉敷地内　) ◉資機材置場　(・指定なし　・図示　◉敷地内　) ◉現場事務所　(・指定なし　・図示　◉敷地内　) ◉建設発生土仮置場　(・指定なし　・図示　◉敷地内　)

章	項目	特記事項
① 共通事項	⑧発生材の処理等	※引渡しを要するもの（・金属類　※ＰＣＢ含有物　・　）(1.3.12) ・特別管理産業廃棄物（※廃石綿　・　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ・再生資材の活用を図るもの　（　　） ・アスベスト成形板としての処理を要するもの ※改修標準仕様書の９章　環境配慮改修工事による ・ＰＣＢ含有シーリング材の分析調査 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う 採取箇所数（計　箇所） 採取場所　（※図示　・　） ・第二次判定 専門分析機関にてＰＣＢ含有量の分析を行う 分析個数　（計　個） ・除去処理工事 撤去工法　「標準施工要領書（日本シーリング工業共同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による 除去範囲　（※図示　・　）
		※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再資源利用計画書及び再資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。 なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成したものとする。
	⑨埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　◉Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 G [3.2.3][表3.2.1]
	⑩砂利地業	※再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石　[4.6.2]
	⑪環境への配慮	G 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）」（以下「グリーン購入法」という。）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更（平成３１年２月８日閣議決定）」に定める特定調達物品等を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目の使用に努める。 (1.4.1) 1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のⅰ）からⅳ）を満たすものとする。 ⅰ）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦパーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ⅱ）接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ⅲ）接着剤は、可塑性（フタル酸ジｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ⅳ）ⅰ）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のⅰ）又はⅱ）に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のⅲ）又はⅳ）に該当する材料を指す。 ⅰ）建築基準法施行令第20 条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ⅱ）建築基準法施行令第20 条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ⅲ）建築基準法施行令第20 条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ⅳ）建築基準法施行令第20 条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	⑫材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ又はＪＡＳマーク表示のない材料等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする。(1.4.2) １）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ３）安定的な供給が可能であること。 ４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ６）販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁　平成１８年２月１５日）に準拠した証明書を監督員へ提出する。
	⑬特別な材料の工法	改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	⑭施工調査	※施工計画調査　(1.5.1～3) 本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管等を含む）について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書　監督員に２部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者　外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。 ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法　※図示　・ ・施工数量調査（外壁改修）　(1.5.2、3) 調査範囲　※外壁改修範囲　・図示 調査内容 ひび割れの幅及び長さを調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル変仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・ ・既存塗膜の付着力試験 試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する

章	項目	特記事項
① 共通事項		・施工数量調査（防水改修）　(1.5.2、3) 調査範囲　※防水改修範囲　・図示 調査方法　・図示　・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
	⑮技能士	※適用する 適用する技能士　(1.6.2) 工事種別｜技能士検定職種｜技能検定作業 仮設工事｜とび｜◉とび作業 鉄筋工事｜鉄筋施工｜◉鉄筋組立作業 コンクリート工事｜型枠施工｜◉型枠工事作業 コンクリート圧送施工｜◉コンクリート圧送工事作業 石工事｜石材施工｜・石張り作業 木工事｜建築大工｜・大工工事作業 金属工事｜内装仕上施工｜◉鋼製下地工事作業 建築板金｜・内外装板金作業 防水改修工事｜防水施工｜・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◉シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水 ・ＦＲＰ防水工事作業 屋根及びとい改修工事｜建築板金｜・内外装板金作業 外壁改修工事｜樹脂注入施工｜・樹脂注入工事作業 左官｜・左官作業 タイル張り｜・タイル張り作業 建具改修工事｜サッシ施工｜◉ビル用サッシ施工作業 ガラス施工｜◉ガラス工事作業 自動ドア施工｜・自動ドア施工作業 内装改修工事｜建築大工｜・大工工事作業 内装仕上施工｜◉鋼製下地工事作業 建築板金｜・内外装板金作業 内装仕上施工｜◉プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上工事作業 ◉ボード仕上工事作業 表装｜・壁装作業 左官｜◉左官作業 タイル張り｜・タイル張り作業 塗装改修工事｜塗装｜◉建築塗装作業 耐震改修工事｜型枠施工｜・型枠工事作業 鉄筋施工｜・鉄筋組立工事作業 コンクリート圧送施工｜・コンクリート圧送工事作業 排水工事｜配管｜・建築配管作業 構内舗装工事｜路面標示施工｜・溶融ペイントおよびコールド工事作業 構内舗装工事｜造園｜・造園工事作業
	16 技能資格者	(1.6.3) ・溶接技能者（（一社）日本溶接協会が検定した技能資格を有する者） ・圧接技量資格者（JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有する者）
	⑰施工の検査等	(1.6.5、6) ◉監督員の指示による
	⑱施工の立会い	(1.6.7) ◉監督員の指示による
	19 化学物質の濃度測定	(1.6.9) １）着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 ２）測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室（　　）　測定箇所数（ ）
		測定方法　※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法　・厚生労働省の標準法 測定物質　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 学校のみパラジクロロベンゼンを追加 換気　測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入れ等を含む。）を開放し３０分換気する。 閉鎖　測定対象室のすべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定　測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として２４時間とする。但し２４時間測定が行えない場合は、８時間測定（１０時３０分～１８時３０分）とする。 測定位置は、室中央付近の床から１．２ｍ～１．５ｍの高さとする。
	⑳初回打合せ時の設計図製本の提出	◉設計図Ａ３版二つ折り製本２部 (1.8.1～3)(表1.8.1)
	㉑完成時の提出書類	◉完成図（施工図、施工計画書を除く） ※新規に作成　・既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 可児市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。 ※提出完成図（Ａ３版二つ折り製本２部） ◉保全に関する資料 提出　※１部　・ ◉施工図（・監督員の指示による　・　） 提出　※Ａ３版二つ折り製本２部 ◉施工計画書（・監督員の指示による　・　） 提出　※１部　・ 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に代わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	㉒電子納品	完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 及びPDF形式又はTIFF形式（解像度300DPI程度）

章	項目	
① 共通事項	㉒工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
	23 設計ＧＬ	※設計ＧＬ＝ＢＭ＋　　mm（現状地盤高は図示） ・
	㉔建設機械	１）本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年 7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第467号）に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 ２）本工事においては「第３次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国総施第215号、最終改定 平成23年7月13日国総環1第1号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成７年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。
	㉕設備工事との取り合い	本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	㉖事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。
	㉗養生その他	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならい補修する。 ※粉じん対策　粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び通路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 ※安全対策　工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。 ・騒音対策　隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明　仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。
	㉘完成写真	撮影箇所数　※（　）箇所　・鉄空写真（　）箇所 ◉監督員の指示による 本完成写真の著作者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ　１部 画素：長辺で2880ＰＩＸ以上 記録方式：ＲＧＢ（フルカラー）、ＪＰＥＧ最高画質 記録媒体：ＣＤ－Ｒ（ＩＳＯ） ・カラープリント　キャビネ版（　）部 アルバム（黒表紙金文字300mm×300mm程度）　※無し　・有り ・四つ切　（　）枚　※アルミ額縁　・印刷用紙：Ａ４裏 ・半切　（　）枚　※アルミ額縁　・撮影内容：監督員の指示による ・全紙　（　）枚　※アルミ額縁　・提出部数：監督員の指示による
	㉙建設発生土の処理	(3.2.5) 「建設発生土情報交換システム」（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 可児市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。 ・場外指定場所に搬出する。 ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場内指定場所に敷き均し（　　） ・場内指定場所に堆積（　　） ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。
	㉚書類の書式等	本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。
	㉛竣成工期	総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね１０日前までに支障のない状況まで完了していること。
	㉜下請施工業務	本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第１００号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。
	㉝産業廃棄物の適正処理	産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。
	㉞下請け業者等	下請け業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。

教育委員会事務局　教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（１期）		
種　別	改修特記仕様書１	図面番号	A01
縮　尺	―	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社　三宅設計		
氏名	一級建築士　大臣登録　第68278号　三宅晶信		

章	項目	特記事項
① 共通事項	㉟ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。 ・
	㊱ 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1）原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の２丁掛としなければならない。 2）墜落制止用器具は一連の作業において鋼柱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の２丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1）安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2）当該工事内容等の周知徹底 3）工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4）当該工事における災害対策訓練 5）その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojirei/chuu.html
	㊲ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後速ちに設計図書を照査し、受注者及び発注者側が現場状況を確認の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事手前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。
	38 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。
	㊴ 用語の読み替え	「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法（平成16年6月9日公布　法律第95号）」、「工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布　法律95号）」、「改正工業標準化法（平成16年6月）をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。
	㊵ その他	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1）ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。
② 仮設工事	① 騒音・粉じん等対策	(2.1.3) ・防音パネル　・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　・足場全面　・ ●粉じん飛散防止対策（仮設間仕切り）
	② 足場等	(2.2.1)(表2.2.1) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同における２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場　●設置する（設置範囲　●工事に必要な範囲　・　） ・設置しない 防護シート　●設置する（設置範囲　●工事に必要な範囲　・　） ・設置しない 内部足場　●設置する（※脚立、足場板等　・　）　・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　●Ｄ種　●Ｅ種） Ｃ種：利用可能なエレベーター　（　） Ｄ種：利用可能な階段　（●図示　）
	③ 既存部分の養生	(2.3.1) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	④ 仮設間仕切	(2.3.2)(表 2.3.1) 1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・ 2）仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・Ａ種	●せっこうボード（9.5mm） 種類（　） 支柱　・木材　●経量鉄骨材 ・合板（9.0mm） 材種（　） 支柱　・木材　・経量鉄骨材	・片面 ●なし	グラスウール 厚さ（　）mm
●Ｂ種			
・Ｃ種	防炎シート		

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製 ・	※合板張り程度 ・	●なし ・片面	●図示

章	項目	特記事項
	5 監督職員事務所	(2.4.1) ・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模(m２程度)　・１０　・２０　※３５　・６５　・１００
② 仮設工事	⑥ 工事用水	構内既存の施設　※利用できる（※有償　・無償） ・利用できない
	⑦ 工事電力	構内既存の施設　※利用できない ●利用できる（※有償　・無償）
	8 確認済の表示	建築基準法第８９条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する　・適用しない
	9 イメージアップ	工事概要及びイメージパースを印刷した看板を　箇所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。
	10 建設現場環境改善対象工事	・担い手確保のための建設現場環境改善対象工事 「岐阜県都市建築部公共建築課発注の建設現場環境改善モデル工事実施要領」に基づき、「快適トイレ」を設置すること。
③ 防水改修工事	① 一般事項	防水工事は、専門業者の責任施工とする。 受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。 なお、防水の保証年限は、１０年とする。
	2 既存防水の処理	既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　(3.2.3～6) ・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）
	3 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　※図示　(3.2.6)
	4 アスファルト防水	屋根保護防水　(3.1.4)(3.3.2～5) 防水層の種別 (表3.1.1)(表3.3.1～6)

工法	種別	施工箇所	断熱材G	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・Ａ－１ ※Ａ－２ ・Ａ－３	図示	(種類) JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き） (厚さmm) ・25　・50　・	※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上 ・	※乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え
・P1B	・Ｂ－１ ※Ｂ－２ ・Ｂ－３				
・P2AI	・Ａ１－１ ・Ａ１－２ ・Ａ１－３			※フラットヤーンクロス 70g/m2程度 ・	
・P1BI ・T1BI	・Ｂ１－１ ※Ｂ１－２ ・Ｂ１－３				

・乾式保護材
・窯業系パネルⅠ類（溶冶地仕様）　厚さ（　）mm　幅（　）mm
・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）　厚さ（　）mm　幅（　）mm
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの
・金属複合板　厚さ（　）mm　幅（　）mm
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの

屋根露出防水　(3.1.4)(3.3.2～5)
防水層の種別
(表3.1.1)(表3.3.7～9)

工法	種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用S	備考
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・	・有 ※無	
・M3D ・P0D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) ・ (厚さmm) ・25　・50	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・
設置数量　・　個

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示　・

S 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。G

屋内防水　(3.1.4)(3.3.2～5)(表3.1.1)(表3.3.10)

工法	種別	施工箇所	保護層
・P1E	・Ｅ－１		・設ける
・P2E	・Ｅ－２		・設けない

・Ｅ－１の工種３を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　）
押え金物の材質、形状及びサ法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋根排水溝　・図示　・

章	項目	特記事項
③ 防水改修工事	5 改質アスファルトシート防水	(3.1.4)(3.4.2～4) 防水層の種別 (表3.1.1)(表3.4.1～3)

工法	種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用S	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(2)(ｲ) (種類) ・ (厚さmm) ・25 ・50	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量
種類　※改質アスファルトシートの製造所の指定　・
設置数量　※改質アスファルトシートの製造所の指定　・　個
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート（・設置する　・設置しない）
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L－30×15×2.0(mm)程度　・

S 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。G

6 合成高分子系ルーフィングシート防水　(3.1.4)(3.5.2～4)
防水層の種別
(表3.1.1)(表3.5.1～2)

工法	種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用S	備考
・P0S ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない
・P0S1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) (種類) ・ (厚さmm) ・25 ・50	・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※ルーフィングシートの製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

分　類　※非歩行　・軽歩行
S 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。G
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。
機械的固定方法に使用するピンの長さについては、監督職員立会いのもとピンの引き抜き試験（１箇所／２００㎡）を行い、協議の上決定する。

・Ｓ－Ｍ２の場合で立上りが接着工法の場合
立上り面のシート厚さ（※1.5mm　・
・Ｓ１－Ｍ１及びＳ１－Ｍ２の場合のにおける防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別
(表3.1.1)(表3.5.1～2)

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1	図示		・床塗りエ法 ・下地モルタル塗り	・mm以下 ・

床塗りの場合の床の目地
目地割り（※２m程度　最大目地間隔３m程度　・　）
目地の種類（※押し目地　・　）

絶縁用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・
固定金具の材質及びサ法形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板
・

脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様　・
設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様　・　個

接着工法の目地処理
プレキャストコンクリート下地（・　）
・行う（・図示　・　）　・行わない

章	項目	特記事項
③ 防水改修工事		入隅部の増張り プレキャストコンクリート部材（種別S-F1、S1-F1の場合） ・行う（・図示　・　）　・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
	7 塗膜防水	(3.1.4)(3.6.2～4) (表3.1.1)(表3.6.1)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用S	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・	図示	・製造所の仕様による ・	※製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける　・設けない 改修用ドレン ・設ける　・設けない
・L4X	・X-1 ※X-2 ・		・製造所の仕様による ・	※製造所の仕様による ・	※有 ・無	脱気装置 ・設ける　・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水Ｘ－１（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様　・
設置数量　※主材料の製造所の仕様　・　個
S 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。G

(表3.1.1)(表3.6.2)

工法	種別	施工箇所	各工種数及び各工種の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様による ・	・設ける　・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様による ・	・設ける　・設けない

章	項目	特記事項
	⑧ シーリング	シーリング改修工法の種別　(3.1.4)(3.7.2～8) ●シーリング充填工法　・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない エッジング材張り　・適用する　・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1による。 (表3.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具廻り	●ＭＳ－２
押出成型セメント板目地・廻り	●ＰＵ－２
面台・壁取合い	●ＳＲ－１

シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による　・
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

9 とい		といその他の材種　(3.8.2、3) ・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン　・ ルーフドレンの材種その他 (表3.8.1)

種別	材種	張掛け幅
・ろく屋根用（・縦型　・横型）		・100mm以上　・50mm以上
・バルコニー用		・100mm以上　・50mm以上
・バルコニー中廊用		・100mm以上　・50mm以上

とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
※標準仕様書 表3.8.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの　・
多雪地域の軒どい取付間隔　・適用する
ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　※図示　・
銅管製といの防雷巻き　※改修標準仕様書 表3.8.4による　・

10 アルミニウム製笠木		(表3.9.1)(3.9.2、3) 種類　・オープン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形　・押出175形） ・板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式） 本体幅（　）mm　板厚（※2.0mm　・　mm）
		表面処理　種別　・ＡＢ－１種　※ＢＢ－１種　・ＢＢ－２種 着色　・ステンカラー　・ブロンズ　・ブラック系　・
		既存笠木等の撤去　・行う（範囲　・図示　・　） ・行わない 下地補修の工法　※図示　・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・ 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法 [13.2.2、3][表13.2.1～3]

11 長尺金属板葺		

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式
	※JIS G 3322の屋根用コイル ・			・心木なし直線葺 ・立平葺 ・縦瓦葺 ・横葺　・

下葺材料　・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
・一般タイプ　・複層材タイプ　・粘着層付タイプ）
工法　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）の風圧力に対応した工法
雪止め　・設置する（施工箇所　・図示　・　）

教育委員会事務局　教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）		
種別	改修特記仕様書２	図面番号	A02
縮尺	―	作成年月日	2024 10
設計者	株式会社　三宅設計		
氏名	一級建築士　大臣登録　第68278号　三宅晶信		

章	項目	特記事項

3 防水改修工事

12 折板葺

[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1]

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	別カによる区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			( )種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料　板及びコイルの種類（　　）
　　塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
タイトフレーム にJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理
　標準仕様書表14.2.2による　・E種　・F種
断熱材　・有り（種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
　　・無し
工法　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）の風圧力に対応した工法
折板のけらば納め
※けらば包みによる方法　・

4 外壁改修（共通事項）

1 可とう性エポキシ樹脂　（品質、試験方法）　建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂（JIS A 6024）による　(4.2.2)

2 パテ状エポキシ樹脂　（品質、試験方法）　建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂（JIS A 6024）による　(4.2.2)

3 エポキシ樹脂モルタル　（品質、試験方法）　建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂（JIS A 6024）による　(4.2.2)

4 シーリング材　（品質、試験方法）　建築用シーリング材（JIS A 5758）による　(4.2.2)

5 ポリマーセメントモルタル　（品質・性能）　建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による　(4.2.2)

6 ポリマーセメントスラリー　（品質・試験方法）　試験方法・品質基準（独立行政法人　都市再生機構）による　(4.2.2)

7 既調合モルタル　（品質・性能）　建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による　(4.2.2)

4-1 外壁改修（コンクリート打放し仕上げ外壁改修）

1 ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)

・樹脂注入工法　(4.3.4)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※ 200～300	・120　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・ 50～100	・ 40　・
	0.3以上～0.5未満	・100～200	・ 70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130　・

エポキシ樹脂 ※低粘度形（0.5mm未満）　※中粘度形（0.5mm以上）
注入状況の確認方法　※目視により充填状況を確認する　・

・Uカットシール材充填工法　(4.3.5)
・シーリング材
　充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法　(4.3.6)
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)

・充填工法　(4.3.7)
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

4-2 外壁改修（モルタル塗り仕上げ外壁改修）

1 ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)

・樹脂注入工法　(4.4.5)

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	200～300	・120
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	50～100	・ 40　・
	0.3以上～0.5未満	100～200	・ 70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	150～250	・130　・

エポキシ樹脂 ※低粘度形（0.5mm未満）　※中粘度形（0.5mm以上）
注入状況の確認方法　※目視により充填状況を確認する　・

・Uカットシール材充填工法　(4.4.6)
・シーリング材
　充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法　(4.4.7)
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)

・充填工法　(4.4.8)
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法　(4.4.9)(表4.4.1、2)
・現場調合材料　・既調合材料
　仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示

3 浮き部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10～15)

工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/m2) 一般部	指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※16 ・	—	—	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※16 ・	※ 9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※16 ・	※ 9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本／mとする

※アンカーピンニング試験方法
　引張試験：1箇所／浮き部100㎡かつ4面行うこと
　引張強度：1.2N／mm2以上とする

アンカーピンの材質
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

充填工法　(4.4.8)
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法　(4.4.9)(表4.4.1、2)
・現場調合材料　・既調合材料
　仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示

4-3 内壁改修（タイル張り仕上げ内壁改修）

1 ひび割れ部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)

・樹脂注入工法　(4.5.5)

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	200～300	・120
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	50～100	・ 40　・
	0.3以上～0.5未満	100～200	・ 70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	150～250	・130　・

エポキシ樹脂 ※低粘度形（0.5mm未満）　※中粘度形（0.5mm以上）
注入状況の確認方法　※目視により充填状況を確認する　・

・Uカットシール材充填工法　(4.5.6)
・シーリング材
　充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)

・タイル部分張替え工法　(4.5.7)
　接着剤の種類
　・ポリマーセメントモルタル
　・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法　(4.5.8)
　張替え用材料
　・接着剤　JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　・張付けモルタル（　・現場調合材料　・既調合モルタル）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
　※改修標準仕様書 表4.5.1による　・
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2)
　・行う　・行わない

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り　(表4.5.3、4)
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）　・
　タイル張りの工法
　・外装タイル（　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り）
　・外装ユニットタイル（　・マスク張り　・モザイクタイル張り）
　シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り　(表4.5.5)
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）　・
　シーリングの種類
　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・
　伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による

3 浮き部改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9～15)

工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/m2) 一般部	指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※16 ・	—	—	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※16 ・	※ 9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※16 ・	※ 9 ・	※16 ・	※50 ・
※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル間逆工法	※16 ・	※16 ・	—	—	※25 ・

狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本／mとする

4-3 外壁改修（タイル張り仕上げ外壁改修）

※アンカーピンニング試験方法
　引張試験：1箇所／浮き部100㎡かつ4面行うこと
　引張強度：1.2N／mm2以上とする

アンカーピンの材質
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
・タイル部分張替え工法　(4.5.7)
　接着剤の種類
　・ポリマーセメントモルタル
　・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法　(4.5.8)
　張替え用材料
　・接着剤　JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　・張付けモルタル（　・現場調合材料　・既調合モルタル）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
　※改修標準仕様書 表4.5.1による　・
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2)
　・行う　・行わない

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り　(表4.5.3、4)
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）　・
　タイル張りの工法
　・外装タイル（　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り）
　・外装ユニットタイル（　・マスク張り　・モザイクタイル張り）
　シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り　(表4.5.5)
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）　・
　シーリングの種類
　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・
　伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による

4 目地改修工法　(4.1.4)(4.2.2)(4.5.16)

・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
　伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示　・
シーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による

5 タイルの形状、寸法等　(4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	目凍害性 有	無	耐滑り性	備考
ﾎﾞｰﾁ(玄関)ﾎﾞｰﾀｲﾙ															
ﾎﾞｰﾁ(見附ロ)ﾎﾟｰﾁﾀｲﾙ															

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

4-4 外壁改修（塗り仕上げ外壁改修）

1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整　(4.6.3)(表4.6.2～5)

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体　・図示	※ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体　・図示	※浮き部改修工法 ※欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体　・図示	
・水洗いし工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示	

2 下地調整塗材　(4.6.3、4)

※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(4.1.5)(4.2.2)(4.6.5)
　※規制対象外　・

新規仕上塗材の種類　(表4.2.4～6)

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si		・砂壁状　・さざ波状　・平たん状 ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り） ・凹凸状（・吹付け・こて塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り） 吸放湿性　・適用する
	・可とう形外装薄塗材Si		
	・外装薄塗材E		
	・可とう形外装薄塗材E		
	・防水形外装薄塗材E		
	・外装薄塗材S		
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C		・吹放し　・凸部処理　・平たん状 ・凹凸状　・ひき起こし　・掻き落とし 上塗材　・適用する　・適用しない 吸放湿性　・適用する
	・外装厚塗材Si		
	・外装厚塗材E		
・複層仕上塗材	・複層塗材CE		・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状 耐候性　※耐候形3種　・ 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系 樹脂　※アクリル系　・ 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック
	・可とう形複層塗材CE		
	・複層塗材Si		
	・複層塗材E		
	・複層塗材RE		
	・防水形複層塗材CE		
	・防水形複層塗材E		
	・防水形複層塗材RE		
	・防水形複層塗材RS		
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E		・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状 耐候性　※耐候形3種　・ 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系 樹脂　※アクリル系　・ 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック
	・可とう形改修塗材RE		
	・可とう形改修塗材CE		

4 マスチック塗材塗り　種別　・A種　・B種　(4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)

5 建具改修工事

1 改修工法　(5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具				※建具表による　・
・現場製建具				※建具表による　・
・鋼製建具	・外部			※建具表による　・
	・内部			※建具表による　・
・鋼製軽量建具				※建具表による　・
・ステンレス製建具				※建具表による　・

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※図示　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による

2 防火戸　※指定する　適用箇所（※建具表による　・　）・指定しない　(5.1.4)
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　※連動させる（※建具表による　・　）・連動させしない

3 見本の製作等　建具見本の製作　・行う（建具符号：　）　(5.1.5)
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
　・納まり等がわかる程度のもの

4 防犯建物部品　・適用する　適用箇所（※建具表による　・　）　(5.1.7)

5 アルミニウム製建具　(5.2.2～5)(表5.2.1、2)

性能値等
　外部に面する建具の種別
　・A種（建具符号：※建具表による　・　）
　・B種（建具符号：※建具表による　・　）
　・C種（建具符号：※建具表による　・　）
　枠の見込み寸法　※建具表による　・

　防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（・　）
　断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（・　）
　耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）

表面処理
　外部に面する建具　※BB－1種　・BB－2種　・
　　着色　・ステンカラー　・ブロンズ　・ブラック系　・
　屋内の建具　※BC－1種　・BC－2種　・
　　着色　・ステンカラー　・ブロンズ　・ブラック系　・

ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JT　・
結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

6 網戸等　(5.2.3)

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

外部に面する窓の建具（枠見込み70mmのみ）には、脱落防止装置付又は完全内はずし式とし、見本品（模型など）又は施工図を提出して監督員の承認をうける。
　(5.2.2)(5.3.2～5)

7 樹脂製建具
性能値等
　外部に面する建具の種別
　・A種（建具符号：※建具表による　・　）
　・B種（建具符号：※建具表による　・　）
　・C種（建具符号：※建具表による　・　）
　枠の見込み寸法　・建具表による　・

　防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（・T-1　・T-2）
　断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6）

表面色　※標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・
ガラス　※複層ガラス　・

8 鋼製建具　(5.2.2)(5.4.2～6)(表5.4.2～5)

性能値等
　簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：※建具表による　・　）
　　・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号　※建具表による　・　）
　　・S-5（建具符号　※建具表による　・　）
　　・S-6（建具符号　※建具表による　・　）

　防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（・　）
　断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（・　）
　耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）

鋼板の厚さ　※改修標準仕様書 表5.4.2による　・　mm
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・

9 鋼製軽量建具　(5.2.2)(5.5.2～6)(表5.5.1、2)

性能値等
　簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：※建具表による　・　）

　防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（・　）
　断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（・　）
　耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）

鋼板の種類　亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板
　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ　※改修標準仕様書 表5.4.2による　・　mm
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
召合せ、縦小口包み板の材質
※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金の押出形材

教育委員会事務局　教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）		
種別	改修特記仕様書3	図面番号	A03
縮尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社　三宅設計		
氏名	一級建築士　大臣登録　第66278号　三宅晶信		

章	項目	特記事項

⑤ 建具改修工事

10 ステンレス製建具

(5.2.2)(5.6.2～5)(表5.6.1)

性能値級
- 簡易気密製ドアセット　・適用する（建具符号：※建具表による　・　）
  ・適用しない
- 外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：※建具表による　・　）
  ・S-5（建具符号：※建具表による　・　）
  ・S-6（建具符号：※建具表による　・　）

防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（・　）
断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（・　）
耐震ドア　面内変形追随性の等級（・　）

ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
鋼板（屋内）　※SUS430、SUS430JIL、SUS443J1、SUS304　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⑪ 木製建具

[16.7.2～4][表16.7.1～11]

建具材の加工、組立時の含水率　※B種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

⑫ 建具用金物

(5.7.2、3)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書 表5.7.1により適用は建具表による　・
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書 表5.7.2による　・建具表による
樹脂製建具丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書 表5.7.3による　・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
※建具表による　・

❷錠前類 【シリンダ搭錠及びシリンダ本締り錠】
品質　建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による
性能　JIS A 1541-2（建築金物ー錠ー第２部：実用性能項目に対するグレード及び表示方法）による
試験方法　JIS A 1541-1（建築金物ー錠ー第１部：試験方法）による

❸錠前類 【レバーハンドル】
性能　JIS A 1541-2（建築金物ー錠ー第２部：実用性能項目に対するグレード及び表示方法）による
試験方法　JIS A 1541-1（建築金物ー錠ー第１部：試験方法）による

❹クローザ類
品質・性能　建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による
試験方法　JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法ー第３部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ）による

⑬ 錠

(5.7.4)

マスターキー　・製作する　※製作しない　❺既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数　※各室３本１組　・
鍵箱　・無　・有
鋼製　・10　・20　・30　・60　・120　・200本用

14 自動ドア開閉装置

(5.8.2～4)(表5.8.1～6)

引き戸用駆動装置
性能値　※標準仕様書 表5.8.5による　種類（　）
多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値　※標準仕様書 表5.8.6による
引き戸用検出装置
性能値　※標準仕様書 表5.8.3による
戸の開閉方式
※建具表による　・
引き戸用検出装置の種類
※標準仕様書 表5.8.4による　種類（　）・建具表による
凍結防止措置
・適用する　・適用しない

⑮ 自閉式上吊り引戸装置

(5.9.3、4)(表5.9.1)

性能値等　※標準仕様書 表5.9.1による
（試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

16 重量シャッター

(5.10.2～5)(表5.10.1～4)

シャッターの種類
・管理用シャッター耐風圧強度（　）N/m2
・外壁用防火シャッター耐風圧強度（　）N/m2
❻屋内用防火シャッター
・防煙シャッター

開閉方式の種類　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※図示　・
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※図示　・
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
※設ける　（設置箇所　※図示　・　）
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
※障害物感知装置（自動閉鎖型）　・

管理用シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・

17 軽量シャッター

(5.11.2～5)(表5.11.1、2)

開閉方式の種類　※手動式　・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（　）N/m2
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所　・図示　・
スラットの材質 の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06　・　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90　・　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

章	項目	特記事項

⑤ 建具改修工事

18 オーバーヘッドドア

(5.12.2～5)(表5.12.1、2)

セクション材料による区分	耐風圧性能区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125(1250) ・100(1000) ・75(750) ・50(500)	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※冷間圧延鋼板 ・ステンレス鋼板 （　）

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所　※図示　・

⑲ ガラス

(3.7.2)(5.13.2～4)

フロート板ガラス
品種及び厚さの呼びによる種類　※建具表による　・

型板ガラス
厚さによる種類　※建具表による　・

網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による　・

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による　・
形状による種類
・平面合わせガラス　・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ－１類　・Ⅱ－２類　・Ⅲ類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による　・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による　・
性能による種類
・１種　・２種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による　・
断熱性による区分
・T１　・T２　・T３　・T４　・T５　・T６
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン　・

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による　・
日射熱遮へい性による区分
・１種　・２種　・３種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が２種の場合）
・A類　・B類
映像調整
・行わない　・行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　※建具表による　・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	❸シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	❸シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示

20 ガラスブロック

(5.13.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 外7	色調 見白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	神経調整 目地位置(mm)	防火 性能
・正方形	・125×125	80			※ 8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに幅10～25 ・図示	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125						
	・200×200	・95 ・125						
	・320×320	95						
・長方形	・250×125	80						
	・320×160	95						

21 ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	性能等
・日射調整フィルム	※SC－1	・SC－2	日射遮蔽性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E
・低放射フィルム	※LE		熱貫流率による区分 ・A ・B ・C ・D
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	※G1～1	・G1－2	
※層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	※GD－1	・GD－2	

品質　JIS A 5759による。

⑥ 内装改修工事

❶改修範囲

(6.1.3～5)

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※塗厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
※既存のまま　・図示

章	項目	特記事項

⑥ 内装改修工事

❷既存床の撤去及び下地補修

(6.2.2)

ビニル床シート等の除去　❻仕上材のみ（接着剤とも）
❼下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲　※図示　・

❸既存壁の撤去及び下地補修

(6.3.2)

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
（塗り厚25mmを超える場合の処置　※図示）

4 木下地等の表面仕上げ

(6.5.1)(表6.5.1、2)

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・A種	
	・B種	
	・C種	
手加工	・H－A種	
	・H－B種	
	・H－C種	

5 製材 G

(6.5.2)(表6.5.3)

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開位材等の適用
			※２級 ・		※A種 ・B種 ・		
			※２級		※A種 ・B種		

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開位材等の適用
見え掛り面			※上小節 ・		※A種 ・B種 ・		
見え掛り面以外			※小節以上 ・		※A種 ・B種 ・		

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開位材等の適用
			※１等 ・		※10%以下 ・A等・B等・		
			※１等 ・		※10%以下 ・A等・B等		

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	開位材等の適用
			（　） 造作材の場合 （※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	
			（　） 造作材の場合 （※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	

6 造作用集成材 G

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

(6.5.2)(表6.5.3、4)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	開位材等の適用
				※1等・2等	
				※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	開位材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※1等・2等	
	化粧薄板： 芯材：				※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	開位材等の適用
	化粧薄板： 芯材：			※1等・2等	
	化粧薄板： 芯材：			※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	開位材等の適用
				※15%以下 ・	
				※15%以下 ・	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	開位材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	開位材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	

章	項目	特記事項

6 内装改修工事

7 造作用単板積層材 G

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

(6.5.2)(表6.5.3、4)

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	開位材等の適用
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　）	・適用する ・適用しない	
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　）	・適用する ・適用しない	

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	開位材等の適用
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	

・ＣＬＴ（直交集成板）G

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能使用環境	樹種	寸法(mm)	開位材等の適用

8 床張り用合板合板等

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

(6.5.2)(表6.5.3)

・普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	開位材等の適用
	※5.5 ・		※１類 ・２類	・広葉樹 ※２等以上　・１等 ・針葉樹 ※C-D以上　・	・適用する ・適用しない	

・構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	開位材等の適用
	・２級以上 ・級		※１類 ・特類	※C-D以上	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する （　） ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	開位材等の適用
			・１類　・特類		

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・１類　・２類	・適用する（　）

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	開位材等の適用
		・１類・２類			・適用する （　）	

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ(mm)
	・１級・２級・３級・４級	

・ＭＤＦ G

施工箇所	厚さ(mm)	裏表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接着剤

(6.5.3、4)(6.8.2)(6.9.3)(6.11.4、5)

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着材の種別
・図示　・

10 防腐・防蟻処理

(6.5.5)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位（　）

教育委員会事務局　教育総務課	
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）
種別	改修特記仕様書４ ／ 図面番号 A04
縮尺	― ／ 作成年 2024.10
設計者	株式会社　三宅設計
氏名	一級建築士　大臣登録　第68278号　三宅晶信

章	項目	特記事項

⑥ 内装改修工事

10 防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※改修標準仕様書6.6.5 (1)(b)② 7～エによる ・	※JIS A 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）

⑪ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2～4)(表6.6.1、2)

野縁等の種類
屋外 ※25形 ・19形
屋内 ※19形 ・25形

❍屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる（・1 ・1.15 ・1.3）の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ❍900mm程度
周辺部の壁からの間隔 ・図示 ❍150mm以下
野縁の間隔 ・図示 ❍300mm程度

既存の埋込みインサート ※使用する ・使用しない
あと施工アンカーの確認試験
※行う ・行わない
箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・
確認強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m2 以内の天井の場合、400N程度 ・

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法
※改修標準仕様書6.6.4(6)による ・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井の下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示

⑫ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3、4)(表6.7.1)

スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書 表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による ・図示

13 ビニル床シート G (6.8.2、3)(表6.8.1)

種類の記号	色 柄	厚さ(mm)
※FS	・無地	※ 2.0
・	・マーブル柄	・
・	・柄物	

目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ・

14 ビニル床タイル G (6.8.2～4)(表6.8.1)

種類の記号	色 柄	寸 法	厚さ(mm)
※KT	・無地	・300×300	※ 2.0
・TT	・柄物	・450×450	・ 2.5
・FT		・	・ 3.0
・FOA			
・FOB			

⑮ 特殊機能床 (6.8.2～4)(表6.8.1)

・帯電防止床シート
種類（ ）
性能（ ）
厚さ（ ）mm

・帯電防止床タイル
種類（ ）
性能（ ）
寸法（ × ）mm 厚さ（ ）mm

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類（ ）
形状（ ）

・耐動荷重性床シート
種類（ ）
厚さ（ ）mm

・防滑性床シート
種類（ ）
厚さ（ ）mm

❍超防汚性ビニル床シート
種類（ 防汚性・消臭性有 ロンシール『サニタリウム』同等品 ）
厚さ（ 2.0 ）mm

⑯ ビニル幅木 (6.8.2～4)(表6.8.1)

材質の種類 ・軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ・75 ・100 ❍図示
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

17 ゴム床タイル (6.8.2～4)(表6.8.2)

種類 ・単層品 ・積層品
色柄 （ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) （ ）

18 カーペット敷き G (6.9.2～3)(表6.9.1、2)

・織じゅうたん

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

⑥ 内装改修工事

色柄（・ ※模様のない無地）
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（ ・A種 ・B種 ・C種 ）
・
帯電性 ・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性
・カットパイル ・	・5～7 ・	・金属接線工法	・適用する
・ループパイル	・4～6 ・	・グリッパー工法	・適用しない
・カット、ループ併用	・		

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ニードルパンチカーペット
厚さ(mm)（ ）
帯電性 ・適用する ・適用しない

・タイルカーペット

パイルの形状	種 類	施工箇所	寸 法	総厚さ(mm)
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※ 6.5
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※ 6.6
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※ 6.5

タイルカーペットの敷き方
平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等 ※図示 ・

⑲ 合成樹脂塗床 (6.10.2～4)(表6.10.1～8)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・薄膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・ ※防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			❍平滑仕上げ ❍防滑仕上げ

20 フローリング張り G (6.11.2～7)(表6.11.1～6)

・単層フローリング（フローリングボード1等）
工法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種 ※なら ・
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種 ・
厚さ ・
大きさ ・
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・複合フローリング
工法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種 ※なら ・
種別 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

21 畳敷き (6.12.2、3)(表6.12.1)

種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン ）

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 [6.13.2、3]

㉒ せっこうボード その他のボード及び合板張り (6.13.2、3)(表6.13.1～5)

合板類 、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
・木質系セメント板 G 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・繊維板 G 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・パーティクルボード G 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・吸音材料 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
❍せっこうボード 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
❍繊維強化セメント板（けい酸カルシウム板のタイプ2）
種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・普通合板 G
表板の樹種名 ・ 板面の品質 ・
厚さ ※図示 ・ 接着の程度 ・1類 ・2類
防虫処理 ・行う ・行わない
・天然木化粧合板 G
化粧板の樹種名 ・ 厚さ ※図示 ・
接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板 G
化粧加工の方法（・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ）
表面性能 ・ 厚さ ※図示
接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない
せっこうボード等の下地 ※図示
遮音シール材 ・適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド ）
・適用しない
合板類の張付け ※B種 ・A種
せっこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ❍突付け工法 ・目透し工法

❍不燃メラミン化粧板 厚さ（ ※図示 ・ ）
アイカ工業㈱ セラール又は同等品以上
出隅、入隅、見切部はアルミジョイナー（形状・色は監督員打合せ）使用
化粧板材間はシリコンシーリング（SR-1 色は監督員打合せ）使用

⑥ 内装改修工事

23 壁紙張り (6.14.2、3)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備 考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整の種別 ※RB種 ・
コンクリート面の下地調整の種別 ※RB種 ・
せっこうボード面の下地調整の種別 ※RB種 ・

㉔ モルタル塗り (6.15.2～6)(表6.15.1～3)

モルタル ・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8－2 コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り ※2m2程度（最大目地間隔3m程度 ・ ）
種類 ※押し目地 ・ ）
・設けない
・防水剤
（品質・性能、試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人 公共建築協会）における「評価の内容」による

㉕ タイル張り (6.16.2～4)(表6.16.1～6)

伸縮調整目地の位置 床タイル（ ※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ）
床タイル以外（ ・図示 ・ ）
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
プール底	50角	❍	❍			❍			❍	❍		❍		❍	
プール壁	100角	❍			❍	❍			❍	❍					

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

❍既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能、試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人 公共建築協会）における「評価の内容」による

❍既製調合目地材
（品質・性能、試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人 公共建築協会）における「評価の内容」による

・有機系接着剤による質タイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

26 セルフレベリング材塗り (6.17.2～5)(表6.17.1)

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系
標準塗厚(mm) ・

⑦ 塗装改修工事

⑪ 材料 (7.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所 ）

㉑ 下地調整 (7.2.1～7)

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30% ・図示 ・
既存さび止め塗料の鉛含有調査
・行う（ 箇所） ・行わない
下地調整 (表7.2.1～7)

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	新規	ひび割れ部の補修
木部	※RB種 ・	・RA種 ・RB種	―
鉄鋼面	※RB種 ・	RA種	―
亜鉛めっき面	※RB種 ・	RA種	―
亜鉛めっき面（鋼製建具等）	※RB種 ・	RC種	―
モルタル、プラスター面	※RB種 ・	・RA種 ・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※RB種 ・	RA種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・RA種 ・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種 ・RC種	RA種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種 ・	・RA種 ・RB種	―

⑦ 塗装改修工事

3 錆止め塗料塗り (7.3.2、3)(表7.3.1～7.3.4)

錆止め塗料塗りの種別

塗 装 面			塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	EP－G以外	塗替え	A種	※C種 ・
		新規見え掛り	A種	※A種 ・
		新規見え隠れ	A種	※B種 ・
	EP－G	塗替え	※B種 ・A種	※C種 ・
		新規見え掛り	※B種 ・A種	※A種 ・
		新規見え隠れ	※B種 ・A種	※B種 ・
亜鉛めっき鋼面	EP－G以外	塗替え	※A種 ・B種	※C種 ・
		新規鋼製建具等	※A種 ・B種	※A種 ・
	EP－G	塗替え	C種	※C種 ・
		新規鋼製建具等	C種	※A種 ・

④ 塗装 (7.4.2～7.14.2)(表7.2.1～7.14.1)

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
❍合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・
	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種 ・	※B種 ・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種 ・	※B種 ・
❍クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		―	―
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り(OP)	鉄鋼面 上塗り等級（ 1 ）級		A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	―	A種
	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・A－1種 ・B－1種 ・C－1種
❍つや有合成樹脂エマルションペイント(EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・	・A種 ・B種
	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	・A種 ・B種
❍合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種 ・	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種 ・	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
❍オイルステイン塗り(OS)		―	―
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書 表7.9.1のエ程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書 表7.10.1のエ程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・

・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書 表7.2.2） ・RA種 ・RB種 ・RC種

工 程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量(kg/m2)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（I期）		
種 別	改修特記仕様書5	図面番号	A05
縮 尺	―	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 三宅設計		
氏名	一級建築士 大臣登録 第68278号 三宅品信		

章 8 ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア

[20.2.2]

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
	・置敷式 ・支柱固定式	・500×500 ・		・1.0G ・0.5G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット ・

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(c)による
・
パネルの長さ
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500mm以下の場合　±0.5mm以内
・
パネルの平面形状（角度）
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500mm以下の場合　±0.5mm以内
・
フリーアクセスフロアの高さ
※±0.5mm以内　・

（品質・性能及び試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

2 可動間仕切

[20.2.3]

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量　JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上

3 移動間仕切

[20.2.4]

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36dw以 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け金具質の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。
・
（品質・性能）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

4 トイレブース

[20.2.4]

表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 形状	材質
❍メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	❍箱木タイプ ❍アジャスター	・標準 ※R	❍アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
（品質・性能及び試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

5 階段滑り止め

[20.2.6]

材種　・ステンレス製　・黄銅製押出型材　・アルミニウム製押出型材
滑り止め材　形状　・ひも型　・タイヤ型
材質　・ゴム又は合成樹脂　・
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法
幅（　　）mm　端部フラットエンド（・あり　・なし）

6 手すり

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所
・集成材	・クリアラッカー　・2-UC	・35　・図示	
・ステンレスパイプ	・HL　・		
・鋼製パイプ	・SOP　・DP		
・ビニル製ハンドレール			
・木調樹脂成型品		・34	・階段室

7 黒板及びホワイトボード G

[20.2.8]

・黒板
区分　※焼き付け　・
種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　・
色　※緑　・
・ホワイトボード

章 8 ユニット及びその他工事

8 煙突

[20.2.10]

・防突防止表示
形状・寸法（　・30φ　・　）
材質（　・ステンレス製　・　）

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
・適用する（※消防法に適合する市販品　・　）
・適用しない
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等　※図示
その他の表示　※図示

9 煙突ライニング

[20.2.11]

煙突用成形ライニング材
種類　・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材　・
適用安全使用温度（上限温度）　・400℃　・650℃　・
適用安全使用温度（下限温度）　・
（適用安全使用温度（上限温度）が400℃又は650℃の場合）
品質・性能及び試験方法
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による
（適用安全使用温度（上限温度）が400℃又は650℃以外の場合）
品質・性能等　・

10 ブラインド

[20.2.12]

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ドゥラム・レールの材種	幅・高さ
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	—				
・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示 ・
	・電動	—				

スラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。

11 ロールスクリーン G

[20.2.13]

操作方式　・スプリング式　・コード式　・電動式
幅・高さ　※図示　・
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製　・木製
品質等
その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による

12 カーテン

[20.2.14]

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・平引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示 ・	
					(補強)

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

13 カーテンレール

[20.2.14]

材料による区分　※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・
強さによる区分　※10-80　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

14 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ（mm）　・150×80　・120×80　・120×150　・180×150　・図示
材質　・集成材（仕上げ：　　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
表面処理　種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1種　・
色合い　・
・鋼製（仕上げ：　　）

15 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
❍アルミニウム製	❍450×450 ❍600×600 ・	❍一般形 ・気密形	❍屋内外用 ❍屋内用	❍額縁タイプ ・目地タイプ	❍額縁タイプ ・目地タイプ

（品質・性能及び試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

16 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・蝶付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル機構にパッキンを装着したものとする
（品質・性能及び試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

章 8 ユニット及びその他工事

17 止水板

形状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　※図示　・

18 エキスパンションジョイント金物

材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考
❍アルミニウム製 ・ステンレス製	❍50　・100 ・150	・有り（　　） ・無し	

外部は防水型とする

19 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

20 流し台ユニット

品質・性能
（1）外観は、　JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
（2）構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状　※図示　・

21 旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

22 旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS 304）　・

23 車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製		

24 プレキャストコンクリート

[20.3.3、4]

コンクリートの設計基準強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示
取付け方法　※図示

25 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

[20.4.2、3]

材種	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック	—		・A　・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示　・伸縮目地
伸縮調整目地　材種　※図示
厚さ　※図示

章 9 排水工事

1 屋外雨水排水

材料

[21.2.1、2][表21.2.1、2]

材種	種類・記号	形状	呼び径
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管	・図示
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		・図示
	・VU		・図示
	・RS-VU G		・図示

基床の厚さ及び種類　※図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
管端の形状及び寸法　※図示　・
伸縮継手の種類　※図示　・
砂利地業に用いる材料　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2　・
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295A　・
・現場打ちの場合の足掛け金物　※標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)
材質　・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　・行わない

2 鋳鉄製ふた

[21.2.1]

名称	種類	適用荷重	蝶	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）	・T－2用 ・T－6用 ・T－20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

章 9 排水工事

3 グレーチング

[21.2.1]

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・ ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・ ・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	— —	— —	・凹凸形 ・ ・平形 ・

（品質・性能及び荷重試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

4 街きょ、縁石、及び側溝

[21.3.1、2][表21.3.1]

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
・縁石	※ 図示　・
・L形側溝	※ 図示　・
・U形側溝	※ 図示　・
・U形側溝ふた	※ 図示　・
・	※ 図示　・

砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ　※100（mm）　※図示
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2　・
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　❍行わない

5 埋戻し土

[21.3.1]

※ B種　・

章 10 その他（舗装工事）

1 路床

[22.2.2、3、5][表22.2.1]

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・覆土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	※図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・切込み砂利　・砂	※図示 ・
・フィルター層	・砂 ・	※図示 ・

・路床安定処理
安定処理の方法　・置換え工法　・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　・　kg/m3（目標CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m²以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10⁻⁴cm/sec以上　・

試験
砂の粒度試験　・行う　・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない

2 路盤

[22.2.2、3、5][表22.3.1]

路盤の厚さ　※図示　・
路盤材料

種類	
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	❍クラッシャラン G
	・粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

3 アスファルト舗装

[22.4.2～6][表 22.4.4]

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※ 図示　・
材料及び種類
アスファルト　❍再生アスファルト G（・60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材　❍道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類
❍密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)
シールコートの乳剤の種別　・PK－1　・PK－2
試験　アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　❍行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

教育委員会事務局　教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）		
種別	改修特記仕様書 6	図面番号	A06
縮尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社　三宅設計		
氏名	一級建築士　大臣登録　第68278号　三宅品信		

章	項目	特記事項
12 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事	(9.1.1、3~5) 施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲（ ● 内部改修範囲　・図示　） 貸与資料（ なし　） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）
	・箇所数（　）	・箇所数（　）

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
	測定1	処理作業前	処理作業室内	計　点
	測定2		調査対象室外部の付近	計　点
	測定3	処理作業中	処理作業室内	計　点
	測定4		セキュリティーゾーン入口	計　点
	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 計　点
	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	
	測定7	処理作業後（シート撤生中）	処理作業室内	計　点
	測定8	処理作業後（シート撤去後	処理作業室内	計　点
	測定9	1週間以降）	調査対象室外部の付近	計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4 ・測定5 ・	25	5	30
・	47	10	120
・	47	10	240
・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　※9 1.3 (2) (ア)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

● 石綿含有成型板の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
● 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
● 埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　● 図示　・

章	項目	特記事項
12 環境配慮改修工事	2 断熱アスファルト防水改修工事	(9.2.2~3) 改修特記仕様書3章による
	3 外断熱改修工事 G	(9.3.2~4) 断熱材 断熱材の種類　・ 断熱材の厚さ（mm）・ 施工箇所　・図示　・ ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・ 外装材

種類	防火性能	備考

鋼材
改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による

笠木
改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による

既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去　・あり　・なし
下地面の清掃　・行う　・行わない
欠損部の改修工法　・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による　・

工法
建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整　・
断熱材の施工　・断熱材製造所の仕様による　・
外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・
通気層の有無　・あり（　mm）　・なし
外装材の外壁への取付け　・図示　・
笠木の施工　・改修特記仕様書第3章　アルミニウム笠木による

章	項目	特記事項
	3 ガラス改修工事	(9.4.2、3) 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G　・S 乾燥気体の種類 ・空気　・アルゴン 上記以外は、改修特記仕様書5章　建具改修工事による
	4 断熱・防露改修工事 G	(9.5.2~4) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外　・ ・断熱材打込み工法 断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類　・ 厚さ(mm)　・ 施工場所　・ ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類　・A種1　・A種1H　・ 吹き付け厚さ（mm）　・25　・30　・ 施工箇所　・図示　・ （品質・性能及び試験方法） 建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による
	5 屋上緑化改修工事 G	(9.6.2、3) 植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・適用する　・適用しない 芝及び地被類の種類等　※図示　・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・ （品質・性能及び試験方法） 建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による 工法 建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法 かん水装置　・設置する（種類　・　・　） 既存保護層の撤去　・行う　・行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間　※引き渡しの日から1年　・

章	項目	特記事項
12 環境配慮改修工事	6 透水性アスファルト舗装改修工事	(9.7.2~5、9) 既存舗装の撤去及び再利用　※図示　・ 路床 路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン ・切込み砂利	・図示
・フィルター層	・砂	・図示

路床安定処理　・適用する　・適用しない
路床安定処理の方法　・添加材料による安定処理　・
・添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
・
添加量　・　kg（目標CBR　・3以上　・　）
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験　・

・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ(mm)　・0.5~1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10⁻³cm/sec以上　・

試験
砂の粒度試験　・行う　・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない

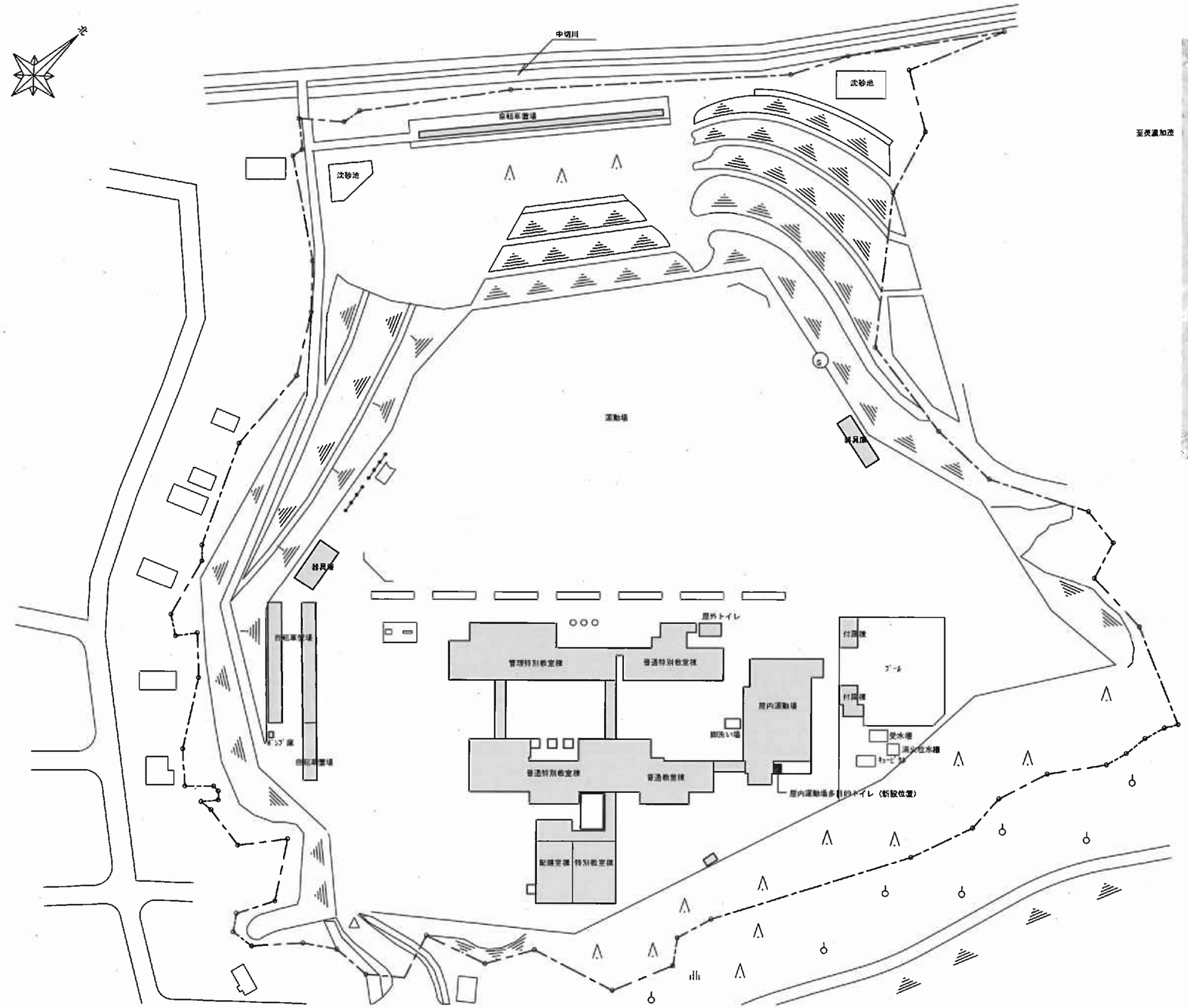
路盤
路盤の厚さ　・図示　・
路盤材料

	種類
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	・クラッシャラン G
	・粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

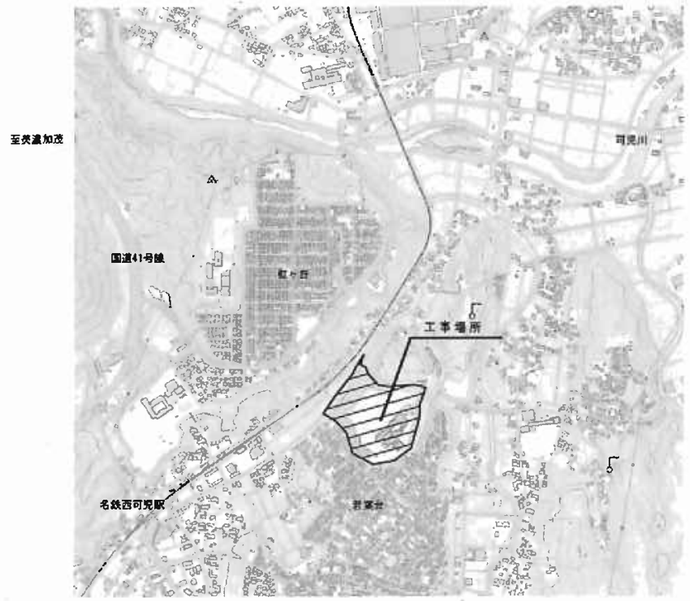
舗装の構成　・図示　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

章	項目	特記事項

教育委員会事務局　教育総務課			
工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）		
種別	改修特記仕様書7	図面番号	A07
縮尺	―	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社　三宅設計		
氏名	一級建築士　大臣登録　第68278号　三宅晶信		



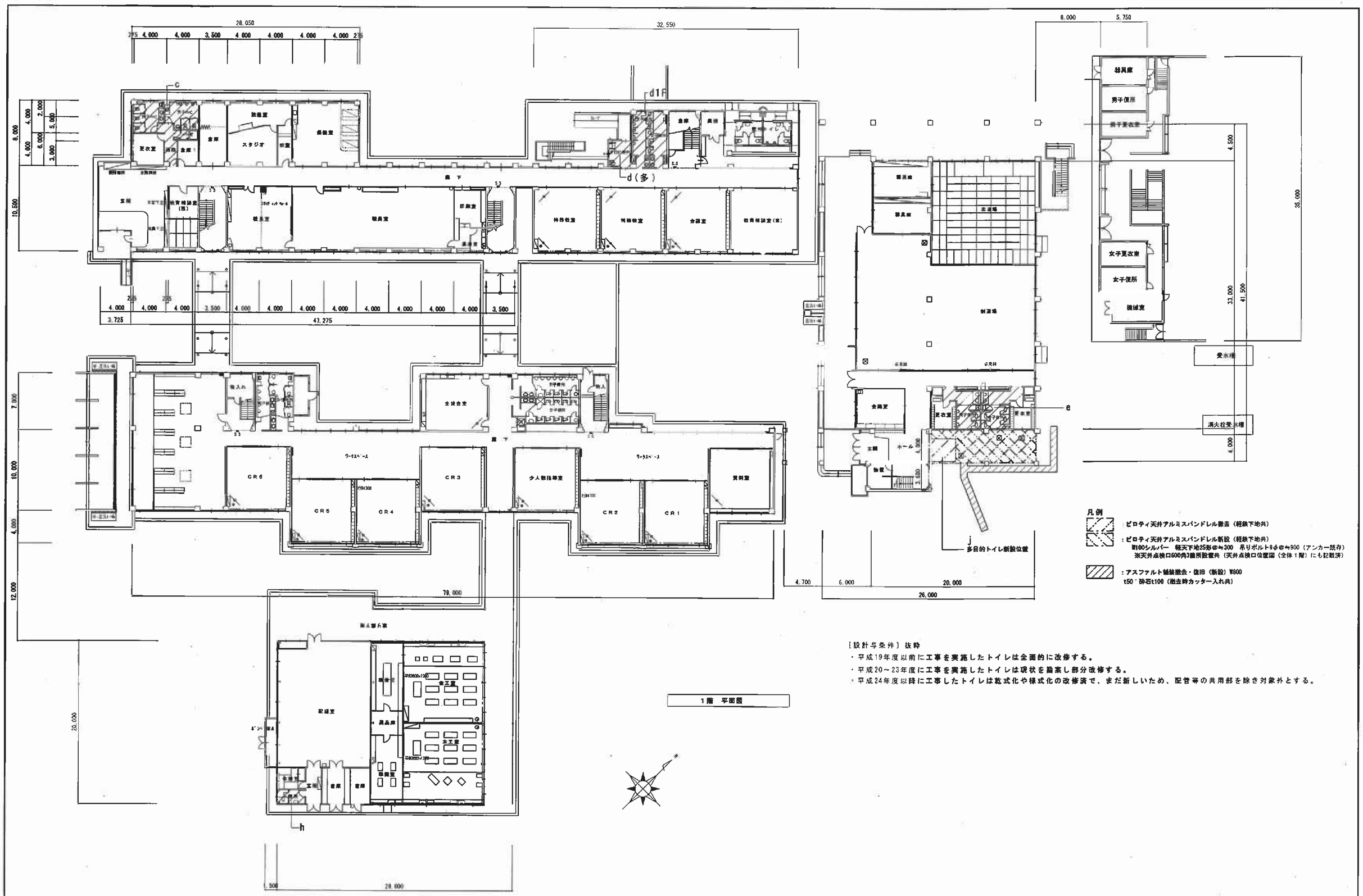
配置図　1/1000



付近見取図

北

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO A08	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 配置図・付近見取図	scale 1/1000

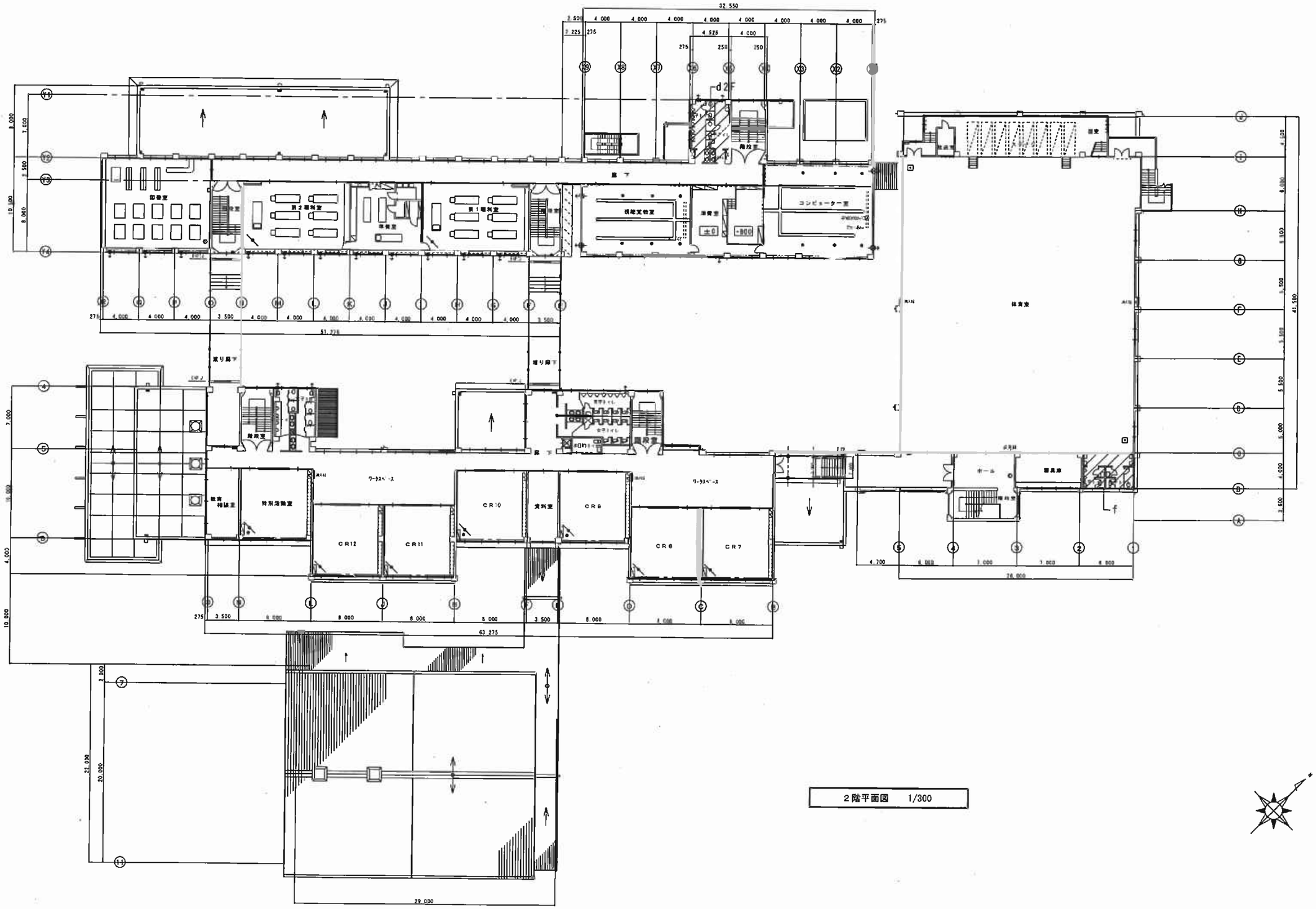


1階　平面図

［設計与条件］抜粋

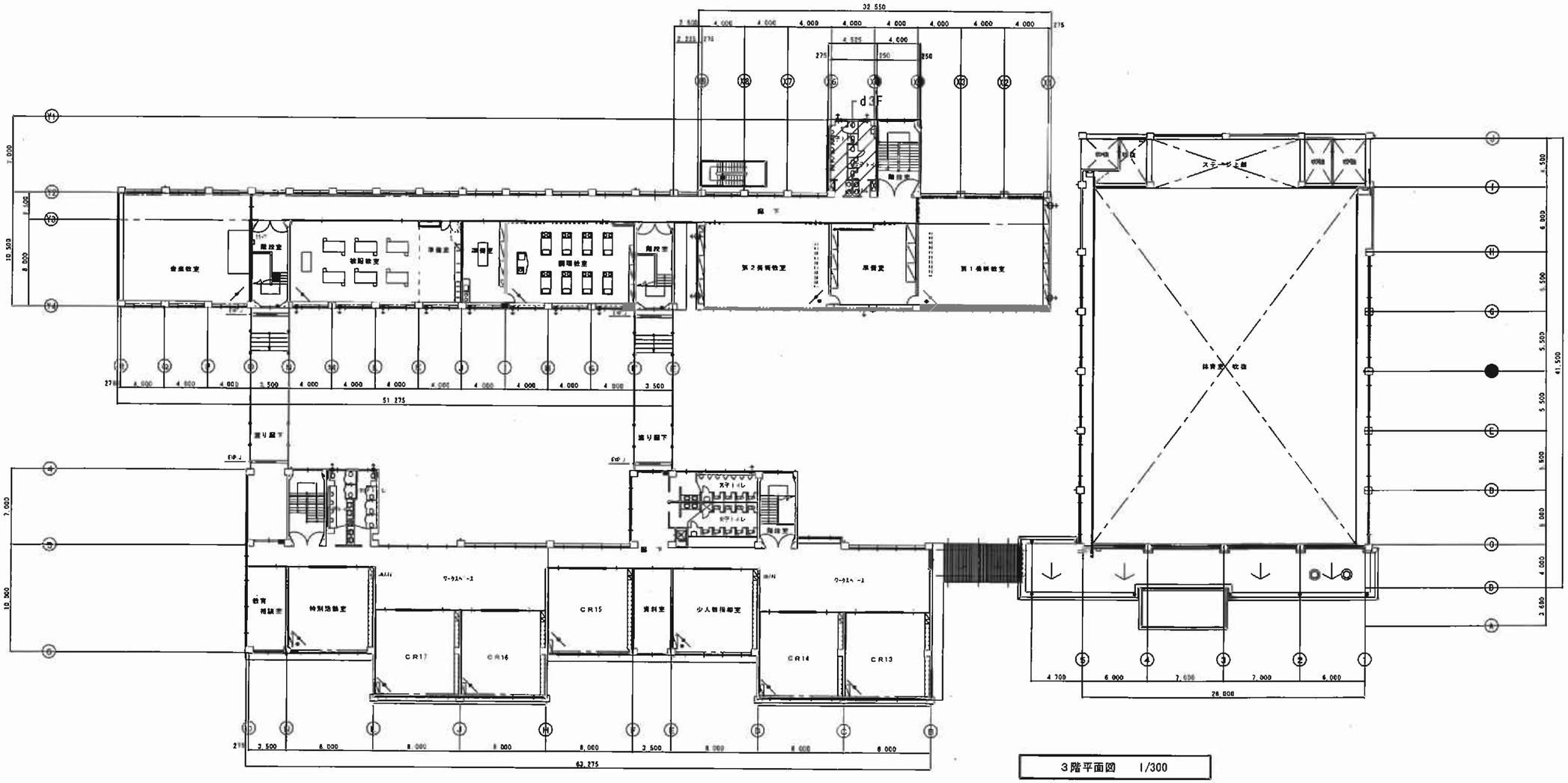
・平成19年度以前に工事を実施したトイレは全面的に改修する。
・平成20～23年度に工事を実施したトイレは現状を勘案し部分改修する。
・平成24年度以降に工事したトイレは乾式化や様式化の改修済で、まだ新しいため、配管等の共用部を除き対象外とする。

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (52) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A09	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）　工事設計図
						図面名	現況1階平面図　scale 1/300

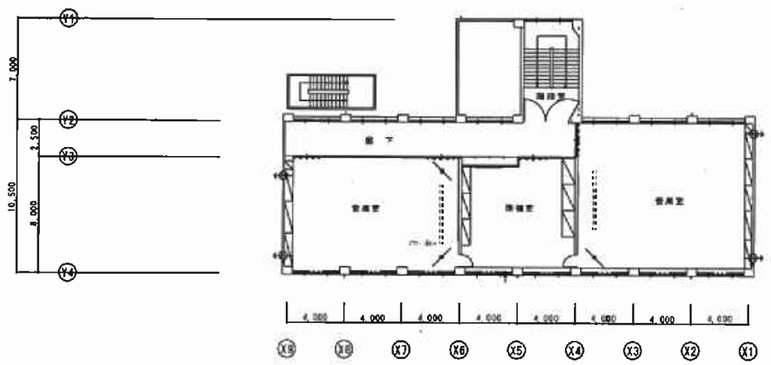


2階平面図　1/300

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A10	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）　工事設計図 図面名 現況2階平面図　scale 1/300



3階平面図　1/300



4階平面図　1/300

備考

株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A11	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（1期） 工事設計図
					図面名	現況3階・4階平面図 scale 1/300

内部仕上表

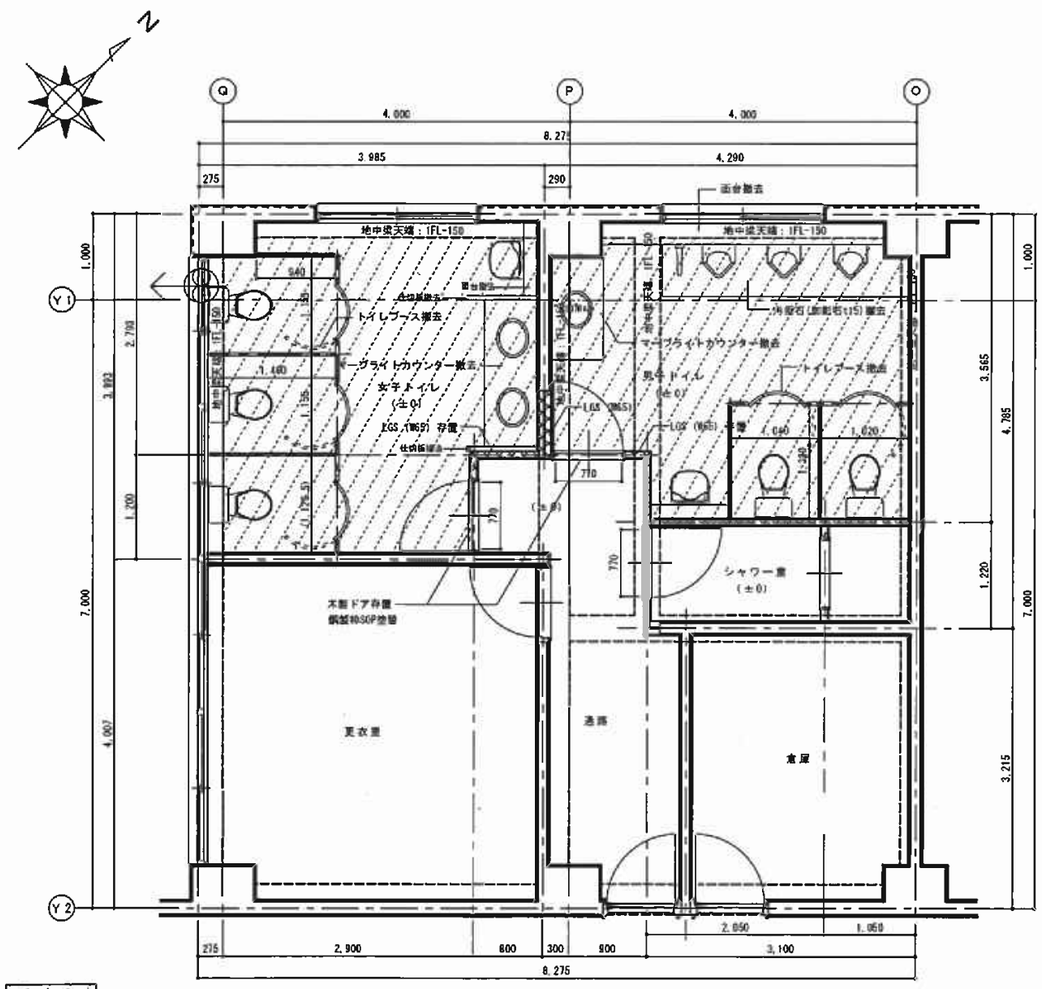
階	室名	区分	床	幅木	壁	廊下	天井	天井高	備考
北舎西管理特別教室棟 1階	男子トイレ	現況	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0撤去 汚廊石（御影石厚15本磨き）撤去	ソフト巾木H75撤去	既存仕上面接着工法部分：不燃化粧板貼厚3存置 LGS65部分：ケイカル板t6下地不燃化粧板厚3貼存置	塩ビ撤去	ケイカルt6(★) VP塗装　撤去 （軽鉄天井下地共）	2,700	洗面台マーブライトカウンター撤去、トイレブース撤去 小便器面台（CB積み・軽鉄下地・ボード下地・不燃化粧板t3・天端SUS）撤去 SK面台（CB積み・モルタル金ゴテVP塗・天端SUS）撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ防仕上仕様)H60	既存不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り LGS65部分：不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り （北面）LGS90新設のうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3張り	塩ビ	LGS下地 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	洗面台マーブライトカウンター新設、トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	女子トイレ	現況	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0撤去	ソフト巾木H75撤去	既存仕上面接着工法部分：不燃化粧板貼厚3存置 LGS65部分：ケイカル板t6下地不燃化粧板厚3貼存置	塩ビ撤去	ケイカルt6(★) VP塗装　撤去 （軽鉄天井下地共）	2,700	洗面台マーブライトカウンター撤去、トイレブース撤去 SK面台（不燃化粧板t3・天端化粧鋼板）撤去（下地共）
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ防仕上仕様)H60	既存不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り LGS65部分：不燃化粧板厚3表面目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	洗面台マーブライトカウンター新設、トイレブース新設 SK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	通路	現況	モルタル面塗装						
		改修後	既存床面目荒し清掃のうえ塗床	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		
	シャワー室	現況				塩ビ撤去	ケイカルt6(★) VP塗装撤去（軽鉄下地共）	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	塩ビ	LGS下地、ケイカルt6 EP塗装	2,400	

設計要件（平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象）

★：アスベスト含有建材（みなし）

	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟・屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	※大小に各1箇所		その他備考
建築	男子・女子トイレ	要	済	済	要	要一要		
機械	室名	便器（大小）の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 掃除流しの取替	換気扇の取替	・節水型器具の採用
	男子・女子トイレ	要	要	不用	要	要	要	
電気	室名	照明器具の取替（ＬＥＤ化） ※人感センサースイッチを採用	コンセント （暖房便座・ウォシュレット用）	コンセント （自動水栓用）				
	男子・女子トイレ	要	要	要				

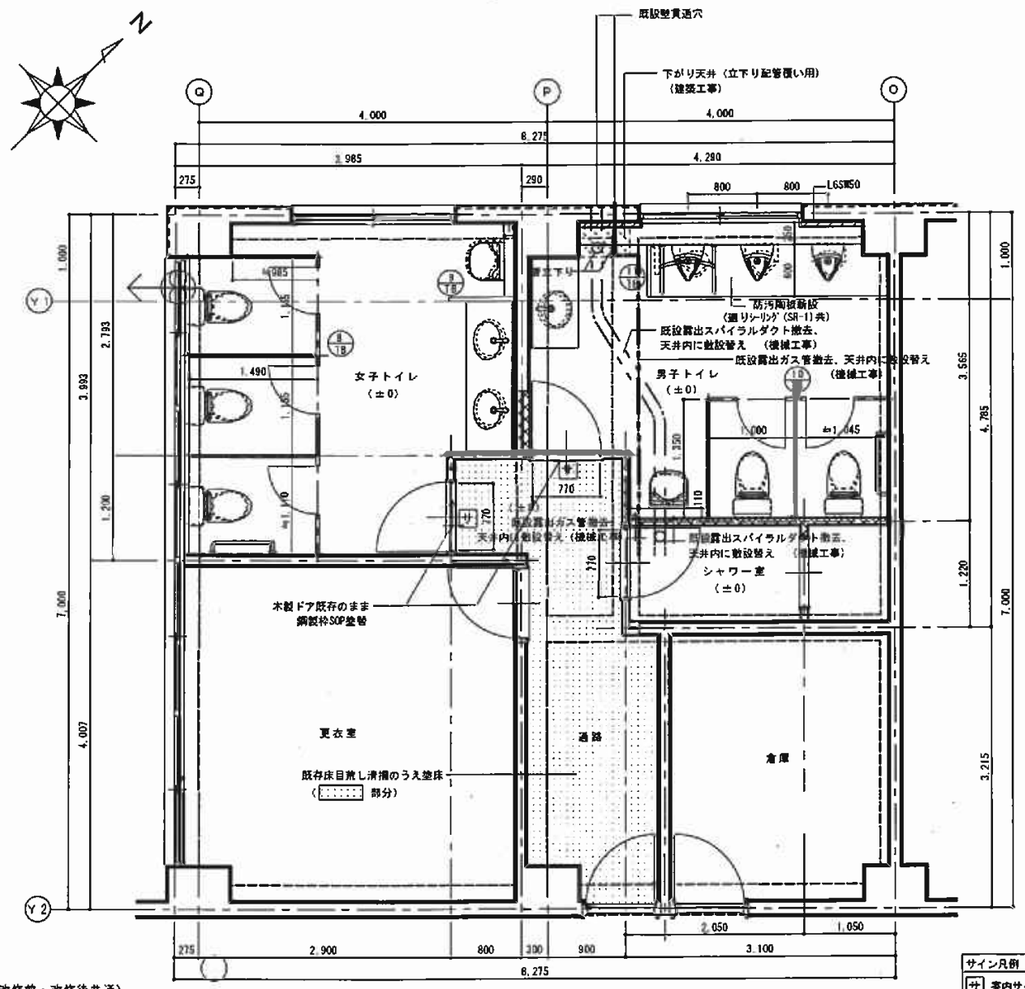
改修前（現況）北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　（平成18年度改修工事竣功）　1/50



：土間コン撤去・新設

北舎西管理特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

改修後　北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）平面詳細図　1/50



凡例（改修前・改修後共通）

：軽鉄壁下地（LGS）撤去・新設

：軽鉄壁下地（LGS）存置
（※軽天下地撤去の際、軽天下地新設（復旧）までの間、軽鉄壁下地の転倒・ずれ防止対策実施）

サイン凡例
サ　案内サイン
サ　案内サイン（多目的トイレ用）

北舎西管理特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	A12	図面名	北舎西管理特別教室棟１階トイレ（男子・女子トイレ） 平面詳細図・内部仕上表	scale 1/50

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	廻縁	天井	天井高	備考
北舎東普通特別教室棟 1階	男子トイレ	現況	モルタル下地モザイクタイル張り存置	—	モルタル下地モザイクタイル張り存置	塩ビ撤去	ケイカル板t6(★) EP塗装　撤去（軽鉄天井下地共）	2,750	トイレ間仕切：テラゾーブロックスクリーン(欄間部分：SUS枠嵌入ガラスt6.8)撤去（原ポリ合板フラッシュt40共） トイレブース撤去、小便器及びSK面台（CB積み・モルタル下地・モザイクタイル張・天端TB）撤去
		改修後	嵩上げモルタル金ゴテ下地　ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ筋仕上仕様)H60	既存タイルのうえ不燃メラミン化粧板t3接着直張り LGS（新設）のうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3張り	塩ビ	LGS下地 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	間仕切壁：軽鉄製下地t50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去（フローリングボードt15下地共）	ソフト巾木H75　撤去	化粧合板張り存置	塩ビ撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去（軽鉄天井下地共）	2,700	マーブライトカウンター撤去、壁全面鏡撤去
		改修後	モルタル下地ビニル床シートt2.0	ソフト巾木H75新設	既存化粧合板面　目荒しのうえ不燃メラミン化粧合板t3接着張り	塩ビ	LGS下地 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	マーブライトカウンター新設
	女子トイレ	現況	モルタル下地モザイクタイル張り存置	—	モルタル下地モザイクタイル張り存置	塩ビ撤去	ケイカル板t6(★) EP塗装　撤去（軽鉄天井下地共）	2,750	トイレ間仕切：テラゾーブロックスクリーン(欄間部分：SUS枠嵌入ガラスt6.8)撤去（原ポリ合板フラッシュt40共） トイレブース撤去、SK面台（CB積み・モルタル下地・モザイクタイル張・天端TB）撤去
		改修後	嵩上げモルタル金ゴテ下地　ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ筋仕上仕様)H60	既存タイルのうえ不燃メラミン化粧板t3接着直張り LGS（新設）のうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3張り	塩ビ	LGS下地 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	間仕切壁：軽鉄製下地t50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3 トイレブース SK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去（フローリングボードt15下地共）	ソフト巾木H75　撤去	化粧合板張り存置	塩ビ撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去（軽鉄天井下地共）	2,700	マーブライトカウンター撤去　アルミ床点検口600角存置 壁全面鏡撤去
		改修後	モルタル下地ビニル床シートt2.0	ソフト巾木H75新設	既存化粧合板面　目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ	LGS下地 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	マーブライトカウンター新設
	多目的トイレ	現況	土間コン・モルタル下地・ビニル床シート撤去	—	陶器質100角タイル張り存置	塩ビ撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去（軽鉄天井下地存置）	2,500	
		改修後	土間コン・モルタル下地のうえ、ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ筋仕上仕様)H60	既存タイルのうえ不燃メラミン化粧板t3接着直張り LGS（新設）のうえ、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3張り	塩ビ	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	仮設面台新設

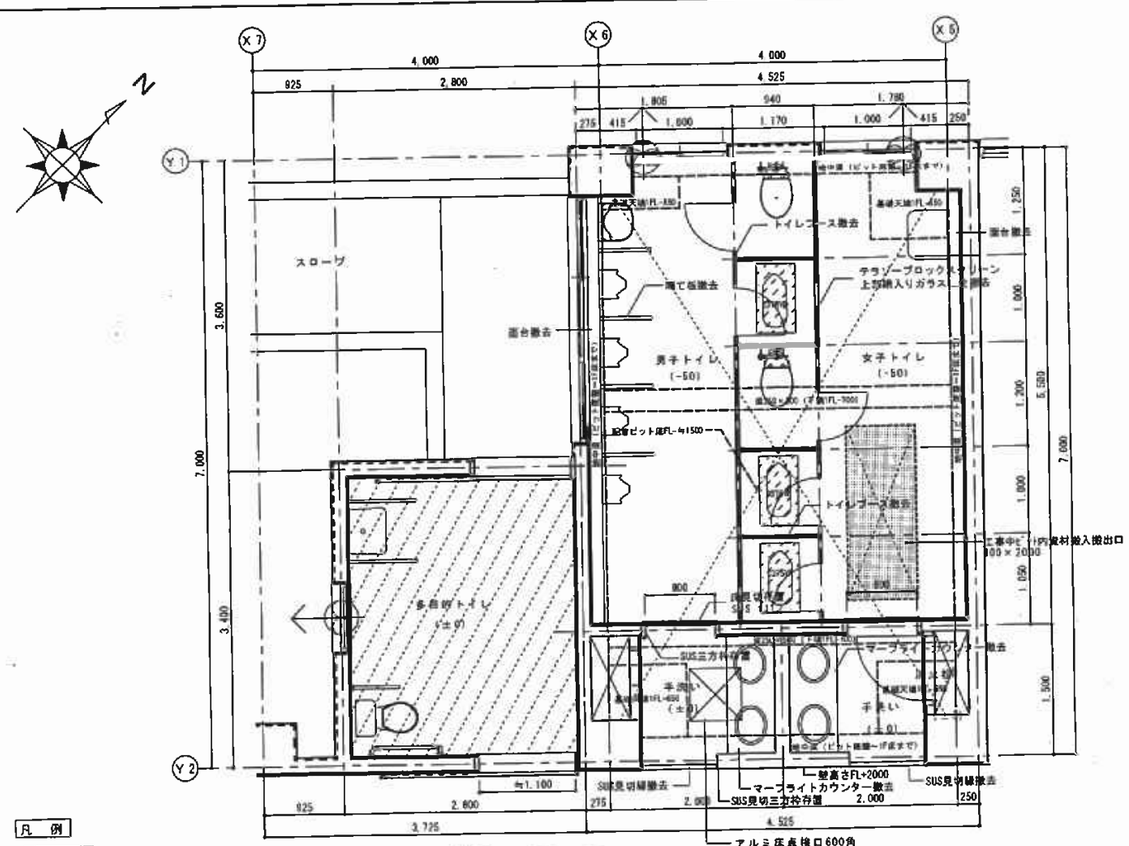
★：アスベスト含有建材（みなし）

特記事項（不燃メラミン化粧板張り関係）
- 壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
- タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
- 壁タイル及びモルタルひび割れ箇所は、浮きが生じてない場合はじてない場合は補修とする。

設計要件（平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象）

	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟・屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手摺の設置 ※大小に各1箇所		その他備考
建築	男子・女子トイレ	要	要	要	要	要		
機械	室名	便器（大小）の取替 ※和便器は全て洋式化	腰掛便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 排除流しの取替	換気扇の取替	・節水型器具の採用
	男子・女子トイレ	要	要	不用	要	要	要	
電気	室名	照明器具の取替（ＬＥＤ化） ※人感センサースイッチを採用	コンセント (腰掛便座・ウォシュレット用)	コンセント (自動水栓用)				
	男子・女子トイレ	要	要	要				

改修前（現況）北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50

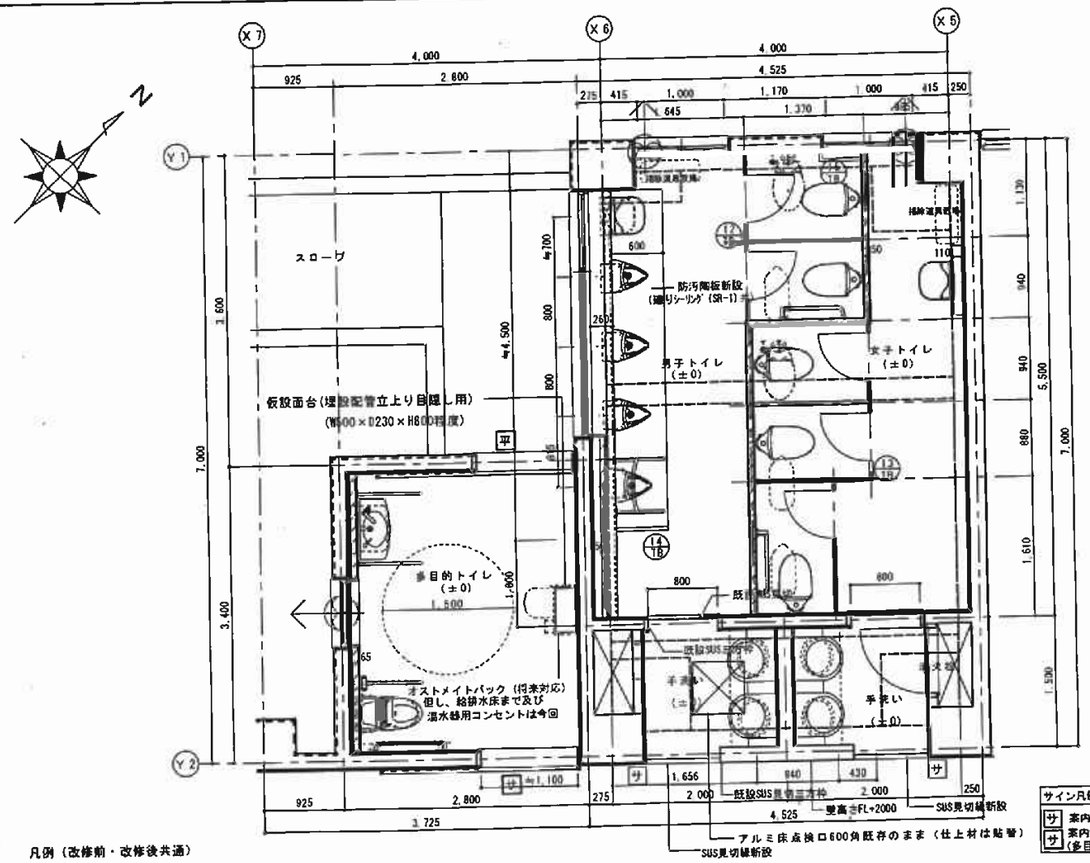


凡例
- ：鉄筋コンクリートスラブt120・軽量コンクリートt65撤去・ﾀｲﾙ及び下地ﾓﾙﾀﾙ撤去（ｶｯﾀｰ入れ共）を示す
- ：土間コン撤去・新設

北舎東普通特別教室棟１階現況平面詳細図　1/50

※註 和式便器撤去跡：ピット内資材搬入開口（　　）の補修は、あと施エアンカー＋ D13-@200(W) コンクリート打設とする

改修後　北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）平面詳細図　1/50



凡例（改修前・改修後共通）
- ：軽鉄製下地（LGS）撤去・新設
- ：軽鉄製下地（LGS）存置
  （※軽天下地撤去の際、軽天下地新設(復旧)までの間、軽鉄製下地の転倒・ずれ防止対策実施）

サイン凡例
- サ 案内サイン
- サ 案内サイン（多目的トイレ用）

北舎東普通特別教室棟１階改修後平面詳細図　1/50

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A13	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図	図面名 北舎東普通特別教室棟１階トイレ（男子・女子・多目的トイレ）平面詳細図・内部仕上表　scale 1/50

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	廻縁	天井	天井高	備考
北舎東普通特別教室棟 2・3階	男子トイレ	現況	モルタル下地モザイクタイル張り存置	―	モルタル下地モザイクタイル張り存置	塩ビ撤去	ケイカル板t6(★) EP塗装　撤去 （軽天下地：2階撤去、3階存置）	2,750	トイレ間仕切：テラゾーブロックスクリーン(欄間部分：SUS枠網入ガラスt6.8)撤去（扉ポリ合板フラッシュt40共） トイレブース撤去、小便器及びSK面台（CB積み・モルタル下地・モザイクタイル張・天端TB）撤去
		改修後	嵩上げモルタル金ゴテ下地　ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ箔仕上仕様)H60	既存タイルのうえ不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3接着直張り 一部LGS（新設）のうえ、GB-St12.5下地不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3張り	塩ビ	LGS下地：2階新設、3階既存 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	間仕切壁：軽鉄壁下地t50・GB-St12.5下地不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3 トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台（LGSt100ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去（フローリングボードt15下地共）	ソフト巾木H75　撤去	化粧合板張り存置	塩ビ撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去 （軽天下地：2階撤去、3階存置）	2,700	マーブライトカウンター撤去、壁全面鏡撤去
		改修後	モルタル下地ビニル床シートt2.0	ソフト巾木H75新設	既存化粧合板面　目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ	LGS下地：2階新設、3階既存 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	マーブライトカウンター新設
	女子トイレ	現況	モルタル下地モザイクタイル張り存置	―	モルタル下地モザイクタイル張り存置	塩ビ撤去	ケイカル板t6(★) EP塗装　撤去 （軽天下地：2階撤去、3階存置）	2,750	トイレ間仕切：テラゾーブロックスクリーン(欄間部分：SUS枠網入ガラスt6.8)撤去（扉ポリ合板フラッシュt40共） トイレブース撤去、SK面台（CB積み・モルタル下地・モザイクタイル張・天端TB）撤去
		改修後	嵩上げモルタル金ゴテ下地　ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ箔仕上仕様)H60	既存タイルのうえ不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3接着直張り 一部LGS（新設）のうえ、GB-St12.5下地不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3張り	塩ビ	LGS下地：2階新設、3階既存 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	間仕切壁：軽鉄壁下地t50・GB-St12.5下地不燃ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3 トイレブース SK面台（LGSt100ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去（フローリングボードt15下地共）	ソフト巾木H75　撤去	化粧合板張り存置	塩ビ撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去 （軽天下地：2階撤去、3階存置）	2,700	マーブライトカウンター撤去、壁全面鏡撤去
		改修後	モルタル下地ビニル床シートt2.0	ソフト巾木H75新設	既存化粧合板面　目荒しのうえ不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ	LGS下地：2階新設、3階既存 GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,700	マーブライトカウンター新設

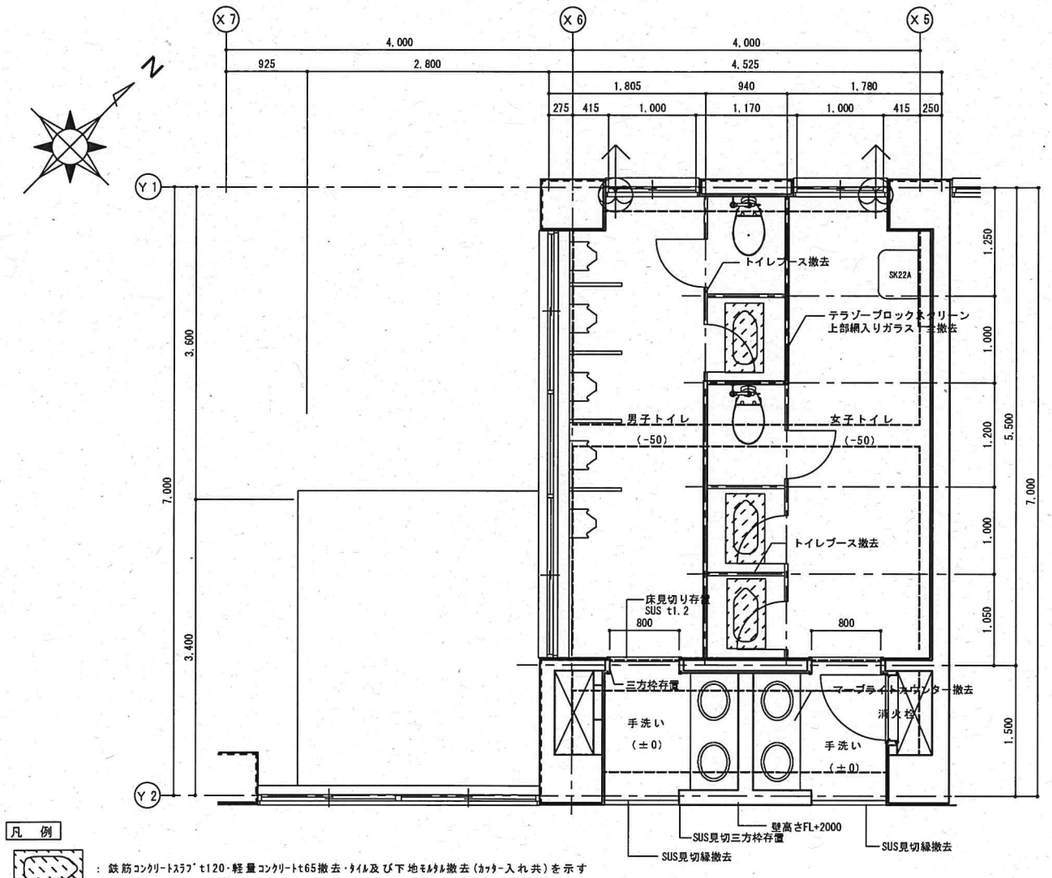
★：アスベスト含有建材（みなし）

特記事項（不燃メラミン化粧板張り関係）
- 壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
- タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
- 壁タイル及びモルタルひび割れヵ所は、浮きが生じてない場合はじてない場合は残置とする。

設計要件（平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象）

	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟・屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手摺の設置 ※大小に各1箇所		その他備考
建築	男子・女子トイレ	要	要	要	要	要		
機械	室名	便器（大小）の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 排除流しの取替	換気扇の取替	・節水型器具の採用
	男子・女子トイレ	要	要	不用	要	要	要	
電気	室名	照明器具の取替（ＬＥＤ化） ※人感センサースイッチを採用	コンセント （暖房便座・ウォシュレット用）	コンセント （自動水栓用）				
	男子・女子トイレ	要	要	要				

改修前（現況）北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）平面詳細図　1/50

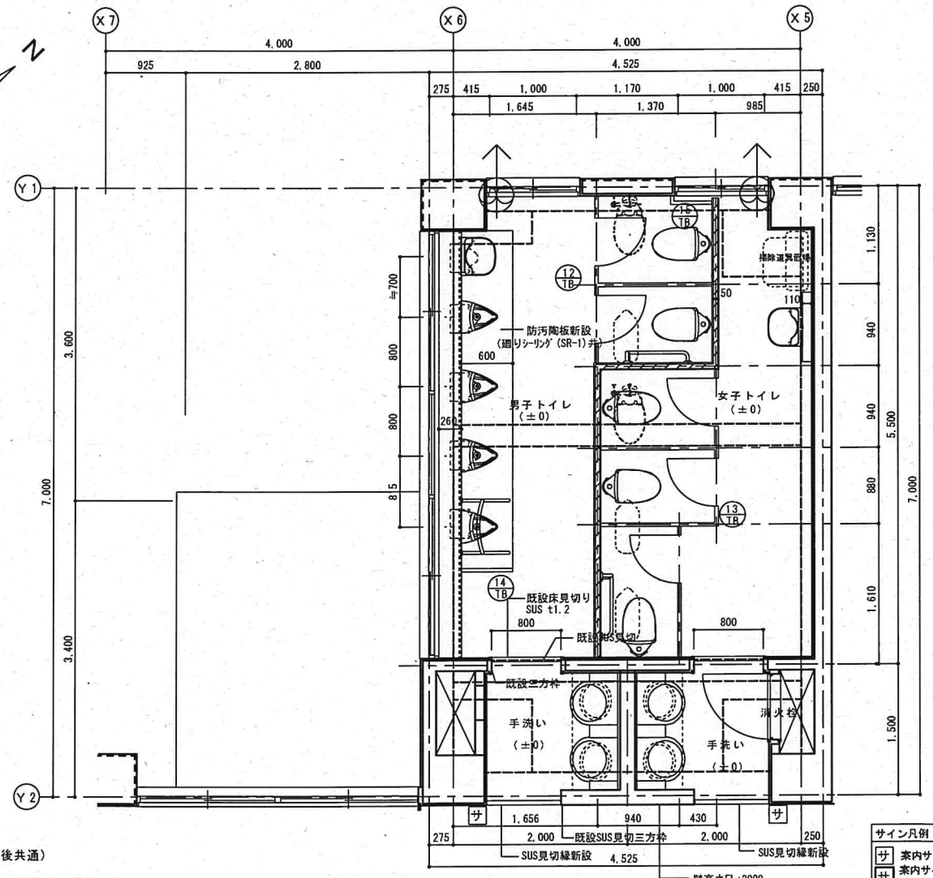


凡例

：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞt120・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄt65撤去・ﾀｲﾙ及び下地ﾓﾙﾀﾙ撤去（ｶｯﾀｰ入れ共）を示す

北舎東普通特別教室棟２・３階現況平面詳細図　1/50

改修後　北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）平面詳細図　1/50



凡例（改修前・改修後共通）

：軽鉄壁下地（LGS）撤去・新設

：軽鉄壁下地（LGS）存置

サイン凡例	
サ	案内サイン
サ	案内サイン （多目的トイレ用）

北舎東普通特別教室棟２・３階改修後平面詳細図　1/50

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅品信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	A14	図面名	北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（男子・女子トイレ） 平面詳細図・内部仕上表	scale 1/50

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	巾縁	天井	天井高	備考
屋内運動場 1階	男子トイレ	現況	土間コン・モルタル下地・モザイクタイル撤去	—	陶器質100角タイル存置	塩ビ製撤去	ケイカル板t6(★) VP塗装 撤去 (LGS下地存置)	2,600	トイレブース撤去 地流し面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張）撤去 小便器面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張・天端TB）撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ箔仕上仕様)H60	既存タイル面のうえ、不燃メラミン化粧板t3接着張り 一部LGSM50・GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	トイレブース撤去、防汚陶板新設 小便器及びSK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0撤去 一部（手洗器前）モザイクタイル撤去（土間コン共）	木製H75撤去	モルタル刷毛引き吹付タイル 存置	塩ビ製撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去 (LGS下地存置)	2,500	面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張・天端TB）撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	モルタル補修のうえ、 塩ビ巾木H75	既存吹付タイル面、複層塗材E上塗塗装１回 面台撤去跡：樹脂モルタル塗のうえ複層塗材E	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	マーブライトカウンター新設
	女子トイレ	現況	土間コン・モルタル下地・モザイクタイル撤去 一部（手洗器前）モザイクタイル撤去（土間コン共）	—	陶器質100角タイル存置	塩ビ製撤去	ケイカル板t6(★) VP塗装 撤去 (LGS下地存置)	2,600	トイレブース撤去 地流し面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張）撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ箔仕上仕様)H60	既存タイル面のうえ、不燃メラミン化粧板t3接着張り 面台撤去跡：樹脂モルタル塗のうえ複層塗材E	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	トイレブース SK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0撤去	木製H75撤去	モルタル刷毛引き吹付タイル 存置	塩ビ製撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去 (LGS下地存置)	2,500	面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張・天端TB）撤去
		改修後	土間コン・モルタル下地・ビニル床シートt2.0	モルタル補修のうえ、 塩ビ巾木H75	既存吹付タイル面、複層塗材E上塗塗装１回	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	マーブライトカウンター新設

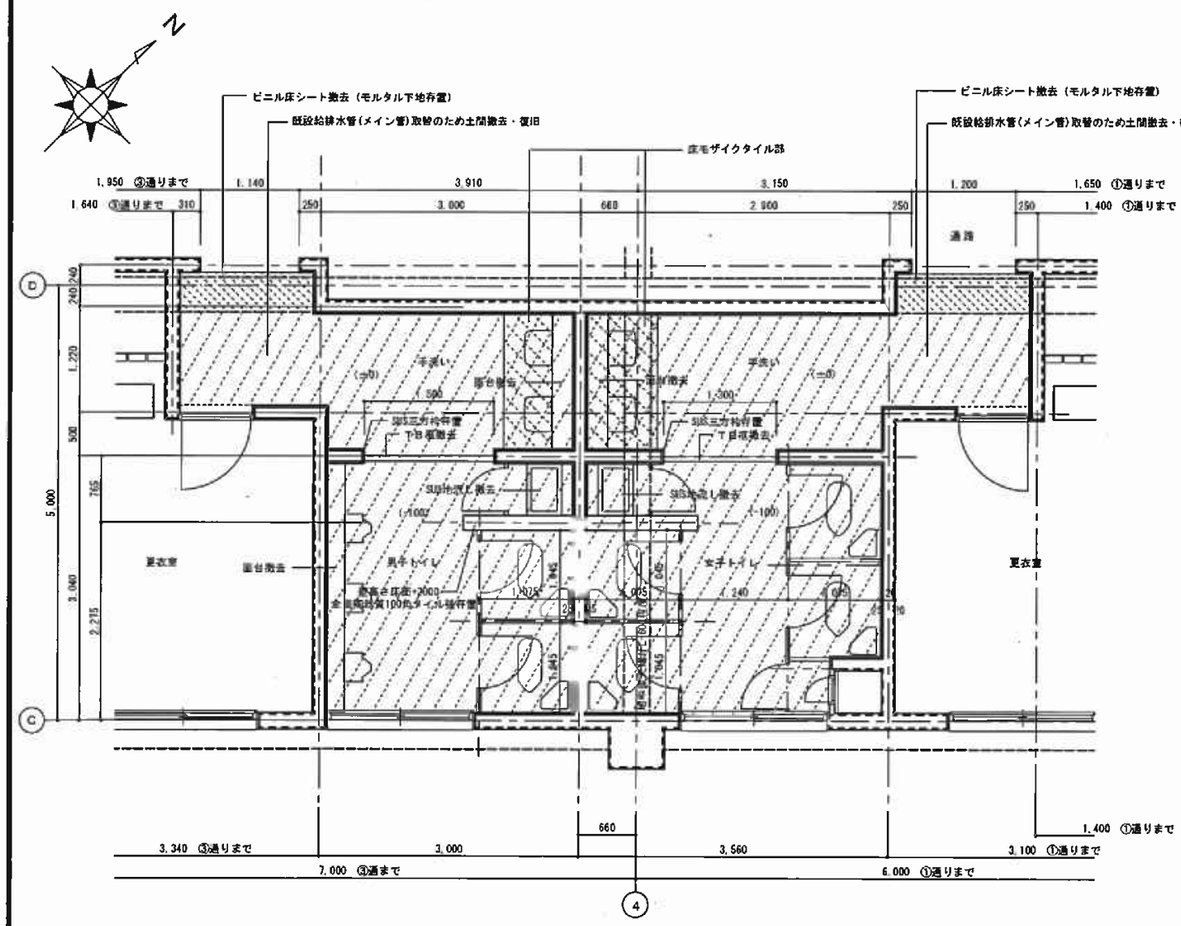
★：アスベスト含有建材（みなし）

特記事項（不燃メラミン化粧板張り関係）
- 壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
- タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
- 壁タイル及びモルタルひび割れヵ所は、浮きが生じてない場合はじてない場合は残置とする。

設計要件（平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象）

	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟及び屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手洗の設置 ※大小に各１箇所		その他備考
建築	男子・女子トイレ	要	要	不明→要	要	要		
機械	室名	便器（大小）の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 排除流しの取替	換気扇の取替	・節水型器具の採用
	男子・女子トイレ	要	要	要	洗面器のレバーハンドルをR2補助金で取替のため不用？	洗面器のレバーハンドルをR2補助金で取替のため不用？	要	
電気	室名	照明器具の取替（ＬＥＤ化） ※人感センサースイッチを採用	コンセント （暖房便座・ウォシュレット用）	コンセント （自動水栓用）				
	男子・女子トイレ	要	要	洗面器のレバーハンドルをR2補助金で取替のため不用？				

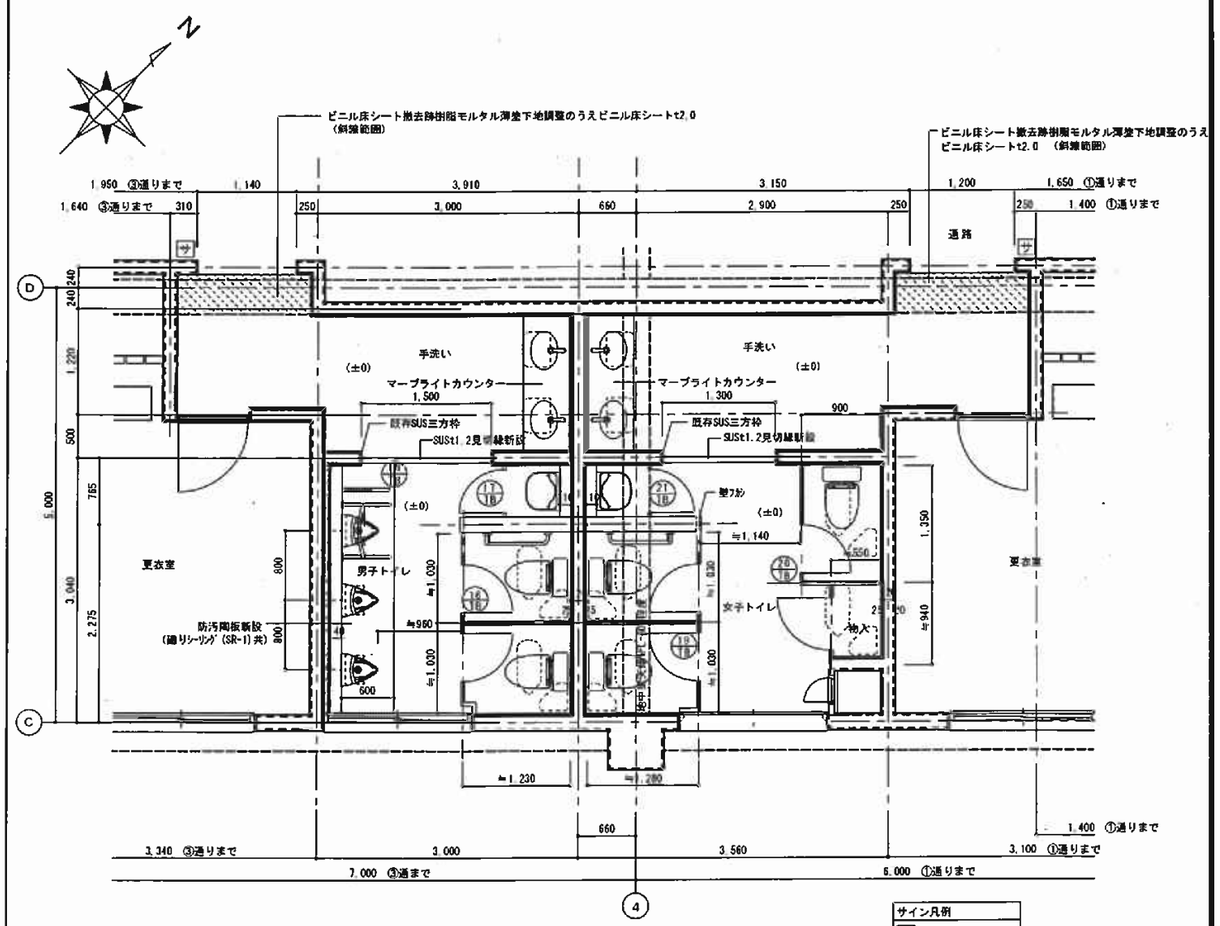
改修前（現況）屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図　1/50



土間コン撤去・新設

屋内運動場１階現況平面詳細図　1/50

改修後　屋内運動場１階トイレ（e）平面詳細図　1/50



サイン凡例
サ 案内サイン
サ 案内サイン（多目的トイレ用）

屋内運動場１階改修後平面詳細図　1/50

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶造 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	A15	図面名	屋内運動場１階トイレ（男子・女子トイレ） 平面詳細図・内部仕上表	scale 1/50

内部仕上表

階	室名	区分	床	幅木	壁	廻縁	天井	天井高	備考
屋内運動場 2階	男子トイレ	現況	モザイクタイル存置	—	陶器質100角タイル存置	塩ビ製撤去	ケイカル板t6(★) VP塗装 撤去 (LGS下地存置)	2,600	トイレブース撤去　地流し面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張）撤去 小便器面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張・天端TB）撤去
		改修後	薄上げモルタルのうえ、ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ搭仕上仕様)H60	既存タイル面のうえ、不燃メラミン化粧板t3接着張り （西面）LGSt50、GB-St12.5下地不燃メラミン化粧板t3張り	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	トイレブース新設、防汚陶板新設 小便器及びSK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去 一部（手洗器前）モザイクタイル撤去	木製H75撤去	モルタル金ゴテ吹付タイル　存置	塩ビ製撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去 (LGS下地存置)	2,500	面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張・天端TB）撤去
		改修後	ビニル床シートt2.0 一部（手洗器前）モザイクタイル除モルタル塗のうえ、ビニル床シートt2.0	モルタル補修のうえ、 塩ビ巾木H75	既存吹付タイル面、複層塗材E上塗塗装１回	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	マーブライトカウンター新設
	女子トイレ	現況	モザイクタイル存置	—	陶器質100角タイル存置	塩ビ製撤去	ケイカル板t6(★) VP塗装　撤去 (LGS下地存置)	2,600	トイレブース撤去 地流し面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張）撤去
		改修後	薄上げモルタルのうえ、ビニル床シートt2.0	塩ビ製(ｽﾃﾝﾚｽ搭仕上仕様)H60	既存タイル面のうえ、不燃メラミン化粧板t3接着張り	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	トイレブース SK面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃化粧板貼t3、天端SUS、巾木：トイレ巾木と同仕様）新設
	同上手洗い	現況	ビニル床シート撤去 一部（手洗器前）モザイクタイル撤去	木製H75撤去	モルタル金ゴテ吹付タイル　存置	塩ビ製撤去	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5撤去 (LGS下地存置)	2,500	面台（CB積み・モルタル下地・陶器質タイル張・天端TB）撤去
		改修後	ビニル床シートt2.0 一部（手洗器前）モザイクタイル除モルタル塗のうえ、ビニル床シートt2.0	モルタル補修のうえ、 塩ビ巾木H75	既存吹付タイル面、複層塗材E上塗塗装１回	塩ビ製	GB-D（化粧石膏ボード）t9.5	2,500	マーブライトカウンター新設

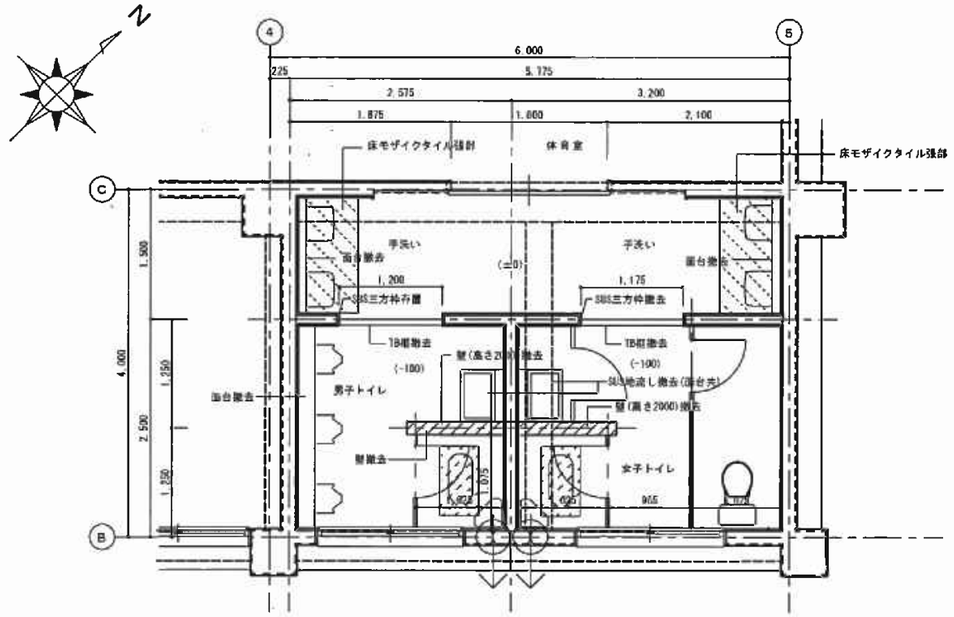
★：アスベスト含有建材（みなし）

特記事項（不燃メラミン化粧板張り関係）
- 壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
- タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
- 壁タイル及びモルタルひび割れヵ所は、浮きが生じてない場合はじてない場合は残置とする。

設計要件（平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象）

	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟及び屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手洗の設置 ※大小に各１箇所		その他備考
建築	男子・女子トイレ	要	要	要	要	要		
機械	室名	便器（大小）の取替 ※和便器は全て様式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 排除流しの取替	換気扇の取替	・節水型器具の採用
	男子・女子トイレ	要	要	要	洗面器のレバーハンドルをR2補助金で取替のため不用→	洗面器のレバーハンドルをR2補助金で取替のため不用→	要	
電気	室名	照明器具の取替（ＬＥＤ化） ※人感センサースイッチを採用	コンセント （暖房便座・ウォシュレット用）	コンセント （自動水栓用）				
	男子・女子トイレ	要	要	洗面器のレバーハンドルをR2補助金で取替のため不用→				

改修前（現況）屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図　1/50

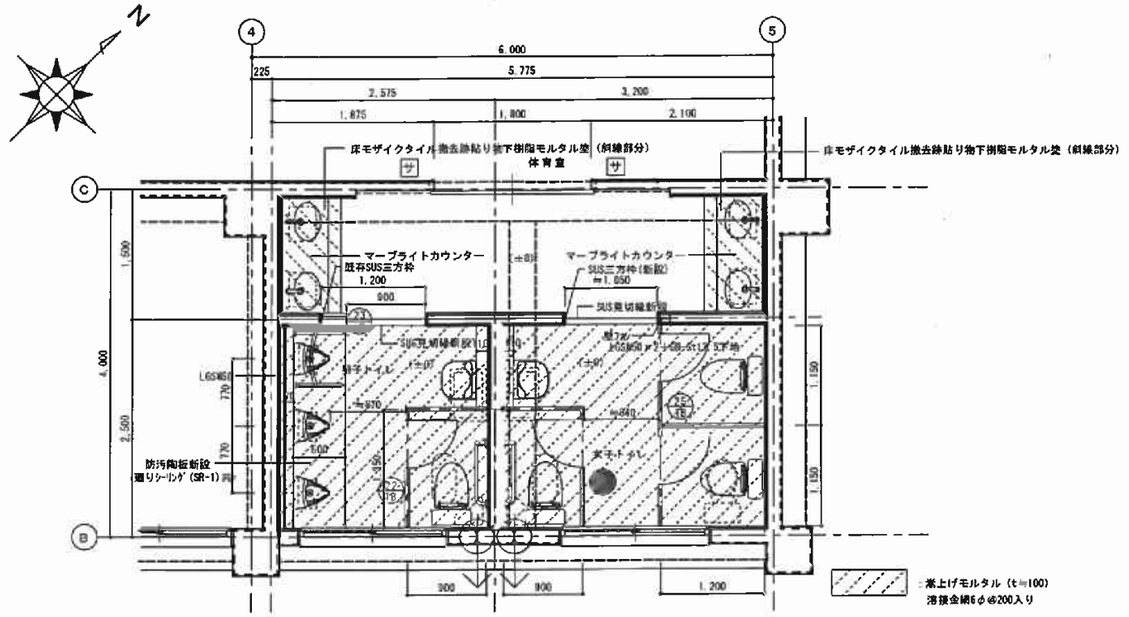


凡例

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞt120・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄt65撤去・ﾀｲﾙ及び下地ﾓﾙﾀﾙ撤去（ｶｯﾀｰ入れ共）を示す

屋内運動場２階現況平面詳細図　1/50

改修後　屋内運動場２階トイレ（f）平面詳細図　1/50



：薄上げモルタル（t=100）
溶接金網6φ@200入り

屋内運動場２階改修後平面詳細図　1/50

サイン凡例
- サ　案内サイン
- サ　案内サイン（多目的トイレ用）

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	図面名
		2024.10	A16	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）　工事設計図	屋内運動場２階トイレ（男子・女子トイレ）平面詳細図・内部仕上表　scale 1/50

内部仕上表

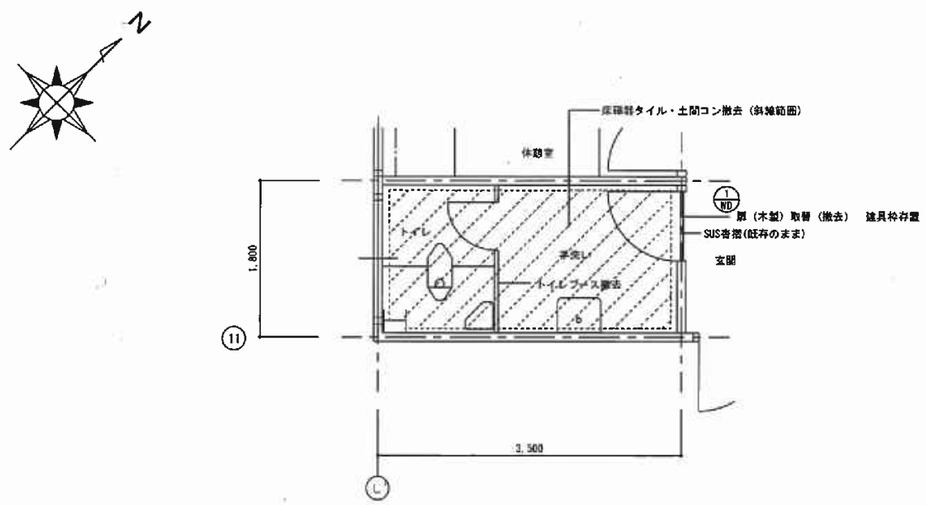
階	室名	区分	床	幅木	腰壁（高さ：FL+1600）	壁	廊縁	天井	天井高	備考
配膳室棟平屋建て	トイレ	現況	土間コン、モルタル下地・磁器モザイクタイル撤去	―	陶器質100角タイル張存置	ケイカル板　EP塗　存置	塩ビ	ケイカル板　ＥＰ塗	2700	
		改修後	土間コン、モルタル金ゴテのうえビニル床シートt2.0	塩ビ製H60	既存タイルのうえ、不燃メラミン化粧板t3重貼り	既存ケイカル板面、EP-G塗替 鉄骨柱SOP塗替、窓額縁・腰壁見切縁SOP塗替	既存のまま	既存ケイカル板面、EP塗替	2700	
	同上手洗い	現況	土間コン、モルタル下地・磁器モザイクタイル撤去	―	陶器質100角タイル張存置	ケイカル板　EP塗　存置	塩ビ	ケイカル板　EP塗	2700	
		改修後	土間コン、モルタル金ゴテのうえビニル床シートt2.0	塩ビ製H60	既存タイルのうえ、不燃メラミン化粧板t3重貼り	既存ケイカル板面、EP-G塗替 腰壁見切縁・額縁　SOP塗替	既存のまま	既存ケイカル板面、EP塗替	2700	洗面器面台（LGSt90ケイカル板t6下地プライマー処理のうえ不燃メラミン化粧板貼t3、天端SUS、巾木　トイレ巾木と同仕様）新設

特記事項（不燃メラミン化粧板張り箇所）
・壁タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する。
・タイル欠損部はモルタル塗りとして下地調整する。
・壁タイル及びモルタルひび割れ箇所は、浮きが生じてない場合はじてない場合は補修とする。

設計要件（平成19年度以前に工事を実施したため全面改修対象）

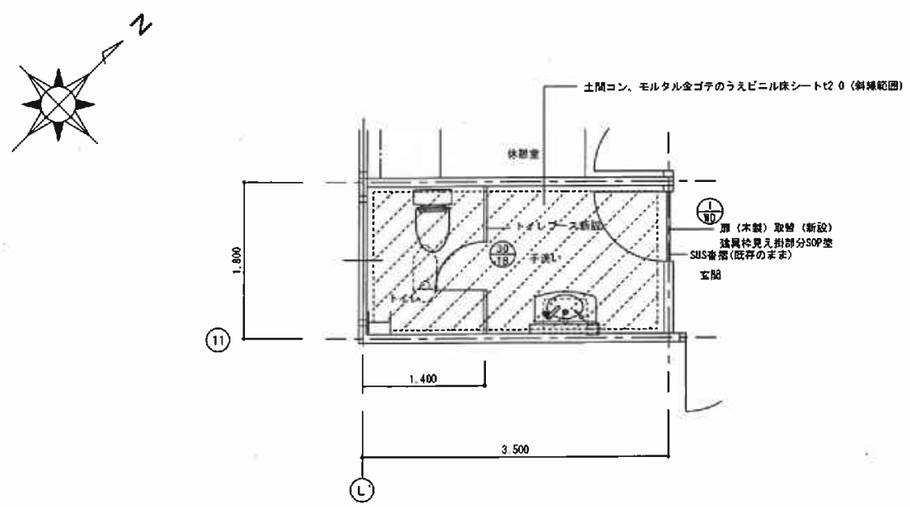
	室名	内装(床・壁・天井)	乾式化 ※プール棟及び屋外トイレ除く	床段差解消	トイレブースの取替	手摺の設置 ※大小に各１箇所		その他備考
建築	男子・女子トイレ	要	要	不明→要	要			
機械	室名	便器（大小）の取替 ※和便器は全て洋式化	暖房便座 ※校舎及び屋内運動場のみ	ウォシュレット ※屋内運動場のみ	自動水栓化	洗面器又は手洗器 掃除流しの取替	換気扇の取替	・節水型器具の採用
	男子・女子トイレ	要	要	不用	要	要	要	
電気	室名	照明器具の取替（ＬＥＤ化） ※人感センサースイッチを採用	コンセント （暖房便座・ウォシュレット用）	コンセント （自動水栓用）				
	男子・女子トイレ	要	なし→不用	要				

改修前（現況）配膳室棟トイレ（h）平面詳細図　1/50



配膳室棟現況平面詳細図　1/50

改修後　配膳室棟トイレ（h）平面詳細図　1/50

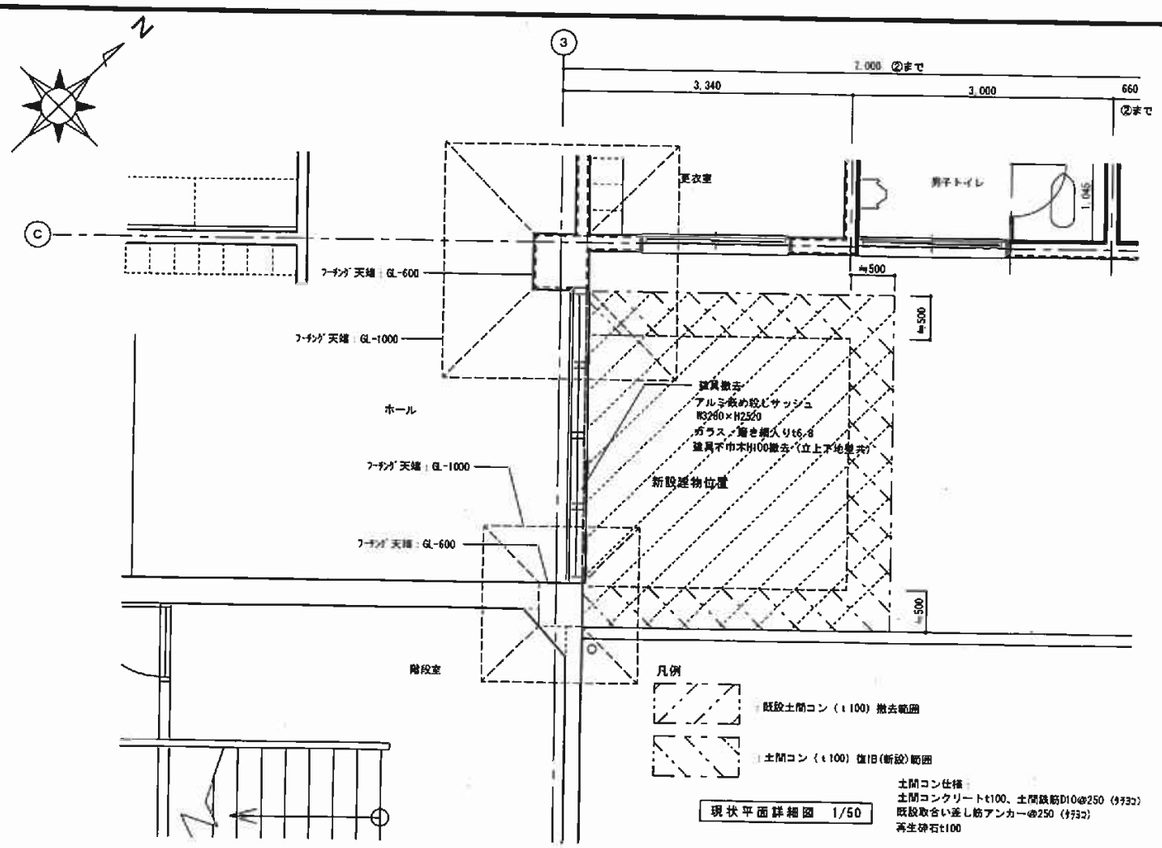


配膳室棟改修後平面詳細図　1/50

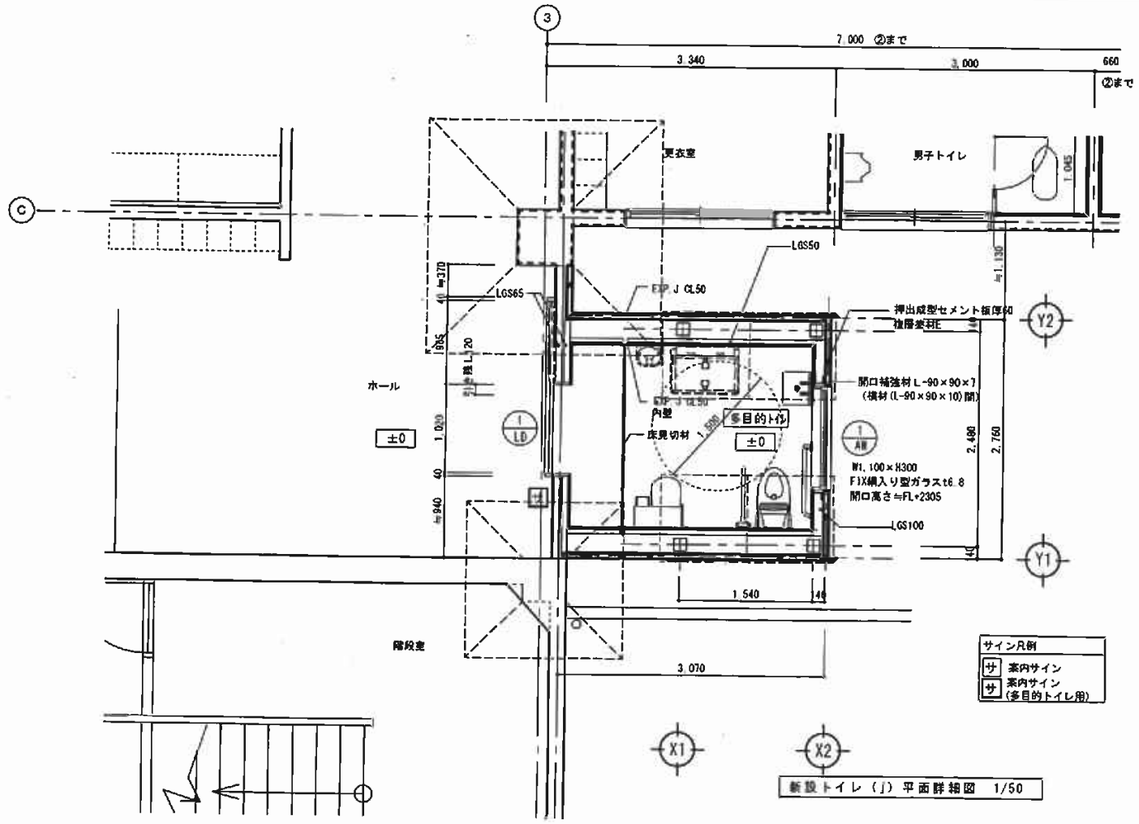
備考

株式会社　三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士　三宅晶信　第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
		2024.10	A17	図面名	配膳室棟トイレ 平面詳細図・内部仕上表	scale 1/50

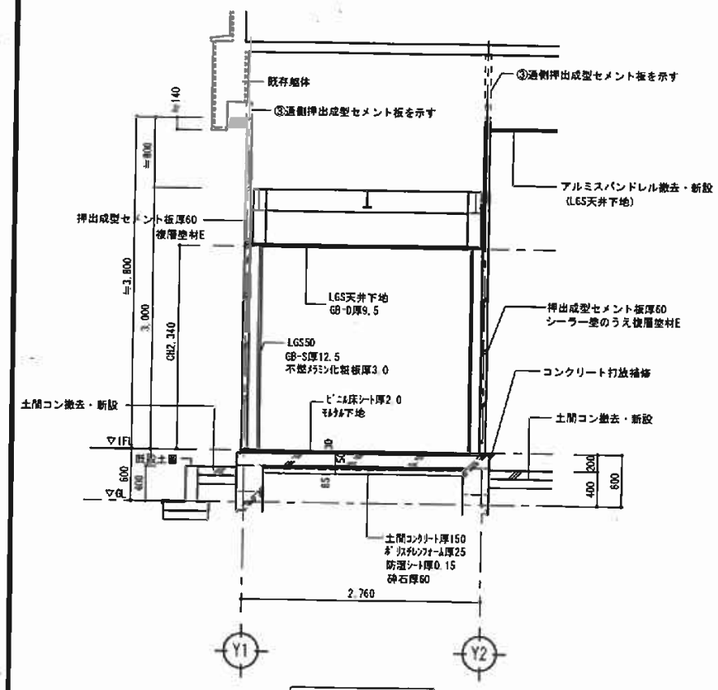


現状平面詳細図 1/50

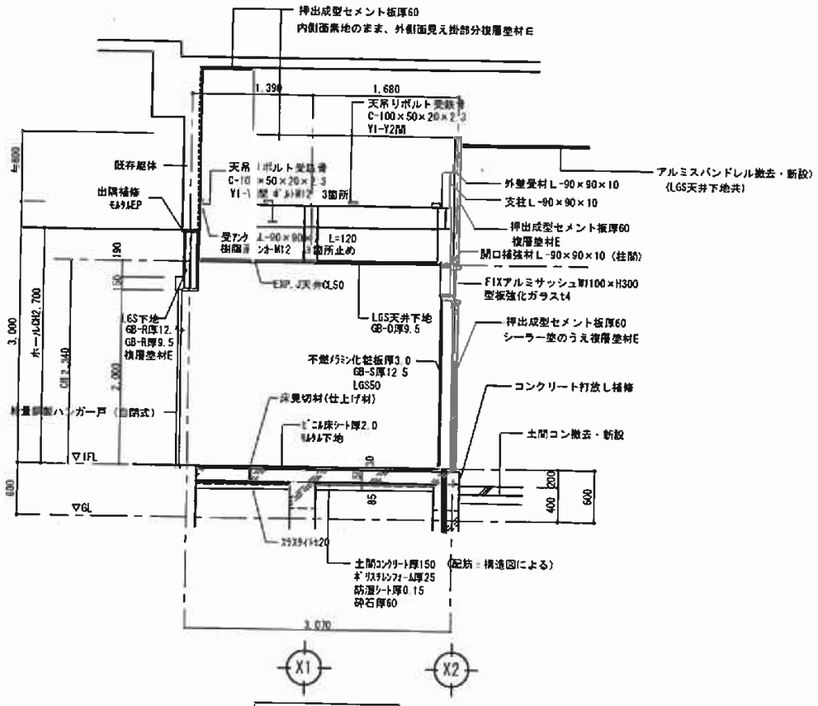


新設トイレ（j）平面詳細図 1/50

面積計算
延べ床面積：3.07×2.76=8.4732 →8.47㎡
建築面積 ：0㎡（ピロティ部）



Y方向断面図 1/50



X方向断面図 1/50

外部仕上表	
立上り	押出成型セメント板厚60：新設
	押出成型セメント板立上り内側面 素地のまま
外壁	押出成型セメント板厚60 シーラー塗のうえ複層塗材E：新設
巾木	コンクリート打放補修：新設
備考	

内部仕上表	
床	ビニル床シート厚2：新設
壁	LGSの上、GB-S厚12.5下張り不燃メラミン化粧板厚3：新設
巾木	塩ビ製（ステンレス箔仕上仕様）H60
天井	GB-D厚9.5：新設
	LGS天井下地：新設
備考	洋式便器：新設、手洗い：新設、 手摺（L型、跳上げ式）：新設 （機械設備工事）

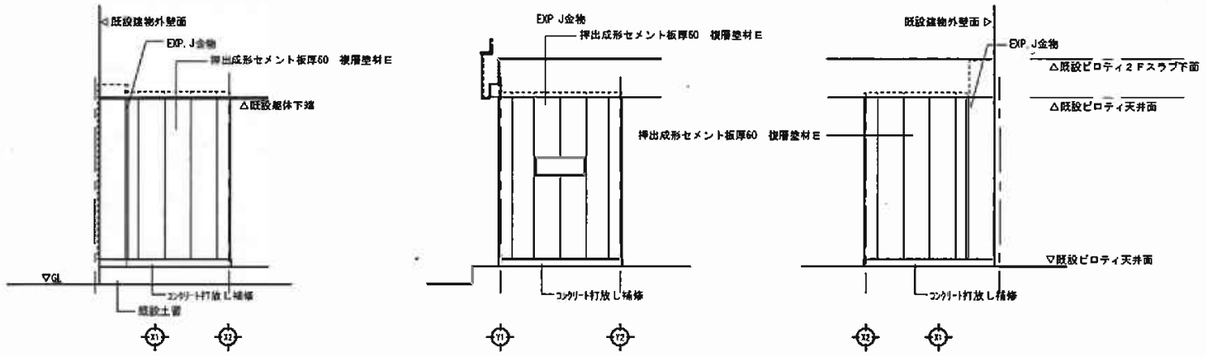
内部仕上表（既設ホール該当部分）	
床	ビニル床シートt2.0：取合い部分（W100×L3400程度）補修（新設）
壁	LGSの上、GB-R厚12.5下張りGB-R厚9.5複層塗材E：新設
巾木	塩ビ製H100
天井	GB-D厚9.5：既存のまま
備考	

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

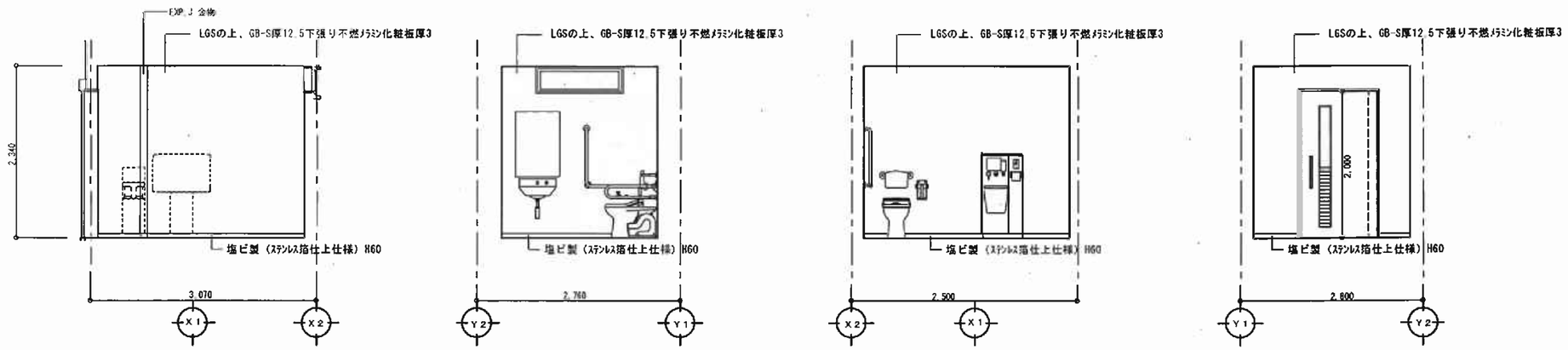
承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	A18	図面名	屋内運動場多目的トイレ（新設）平面詳細図	scale 1/50

立面図　1/100



【南立面図】　【東立面図】　【北立面図】

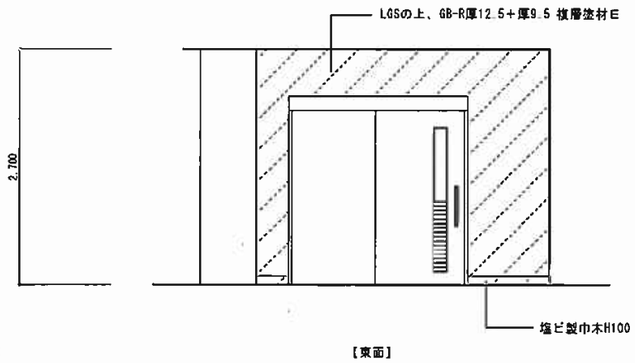
展開図　1/50



屋内運動場多目的トイレ

【北面】　【東面】　【南面】　【西面】

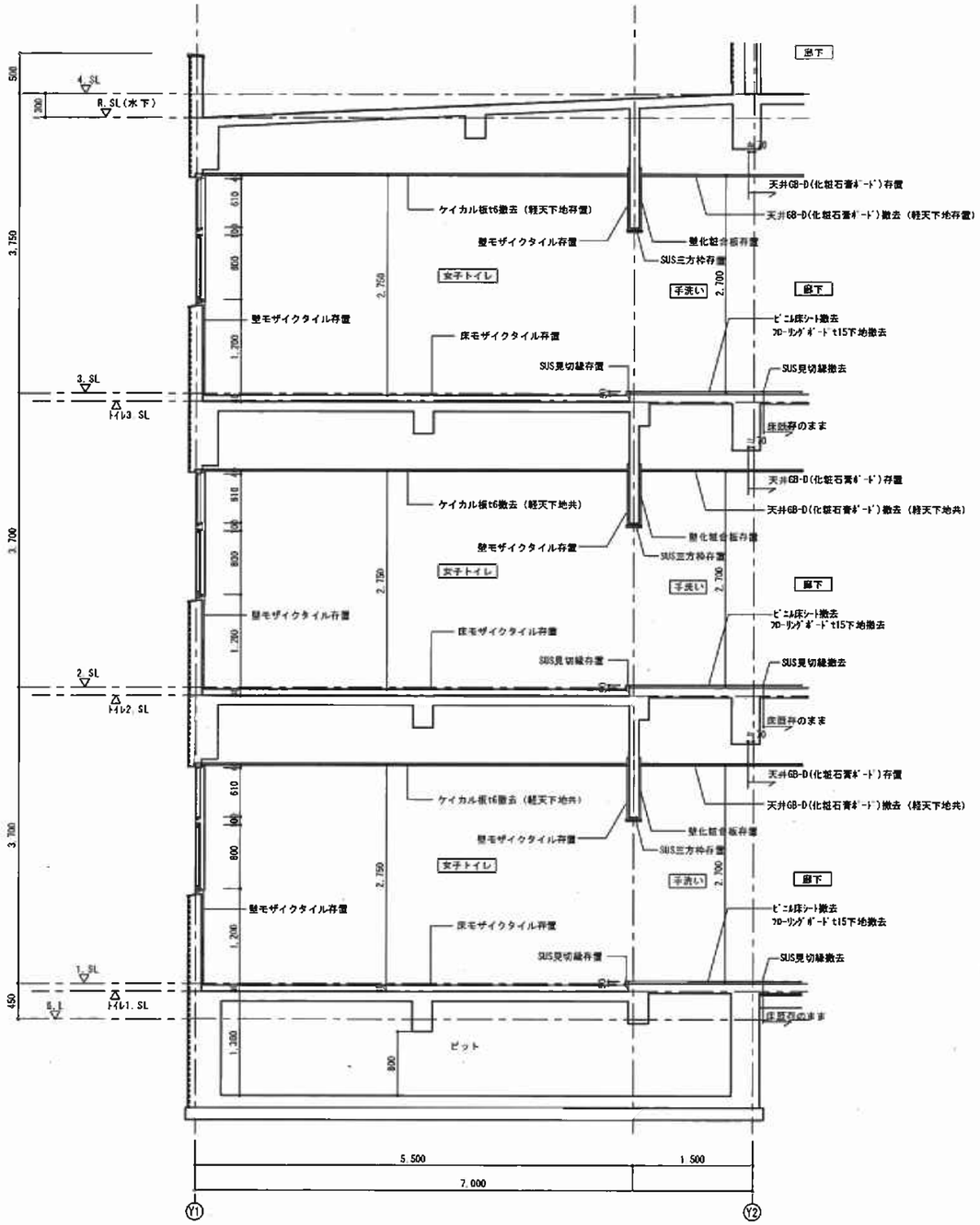
新設）



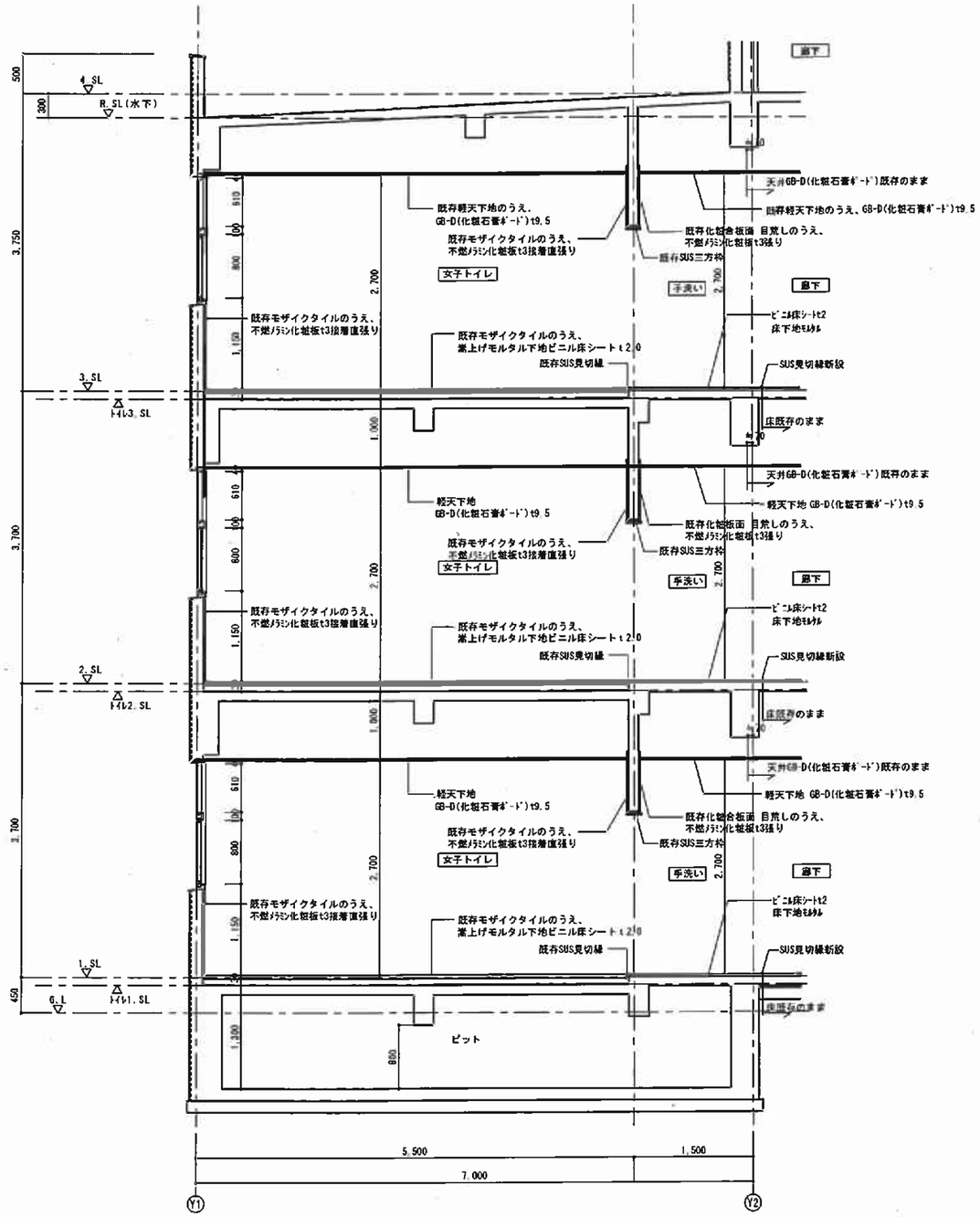
ホール

【東面】

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432　1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A19	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図
						図面名	屋内運動場多目的トイレ（新設） 立面図・展開図・詳細図　scale 1/50



改修前 矩計図 1/50
（北舎東）

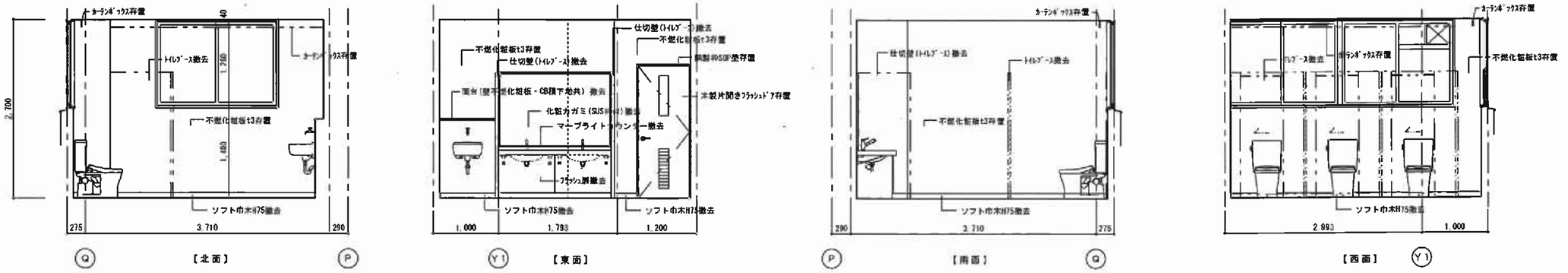


改修後 矩計図 1/50
（北舎東）

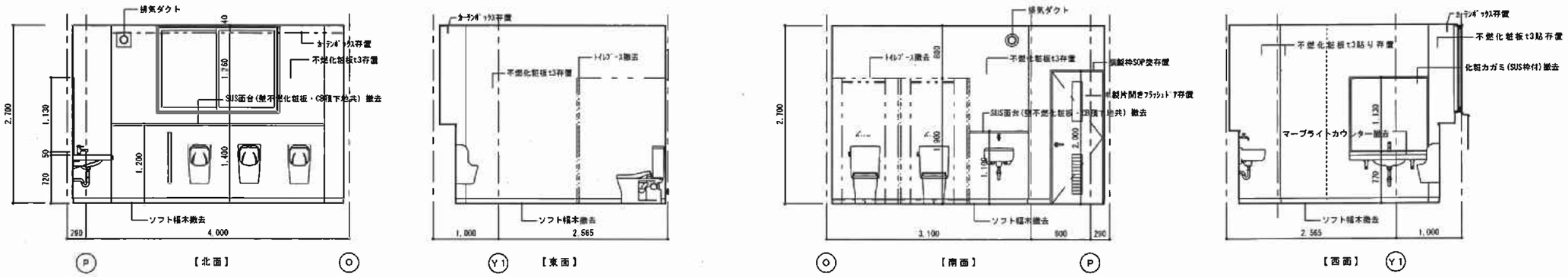
備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1861 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅品信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO A20	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 北舎東普通特別教室棟男女トイレ 矩計図	scale 1/50

改修前　展開図　［北舎西１Ｆ］

女子トイレ

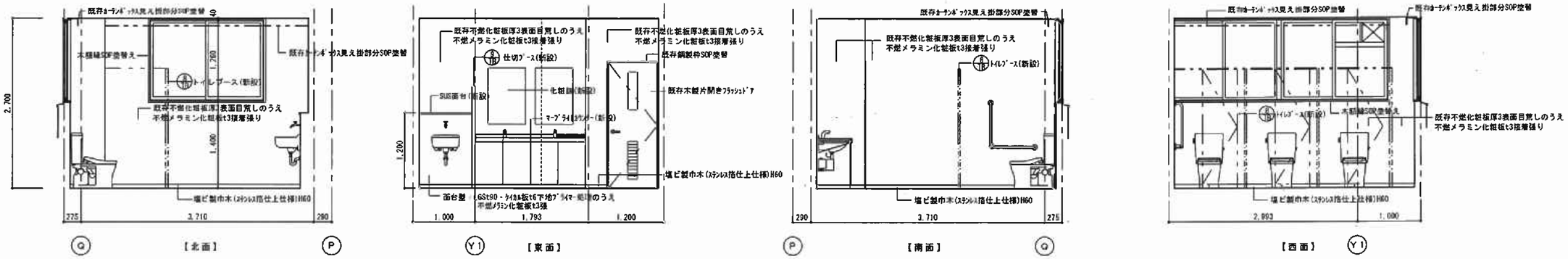


男子トイレ

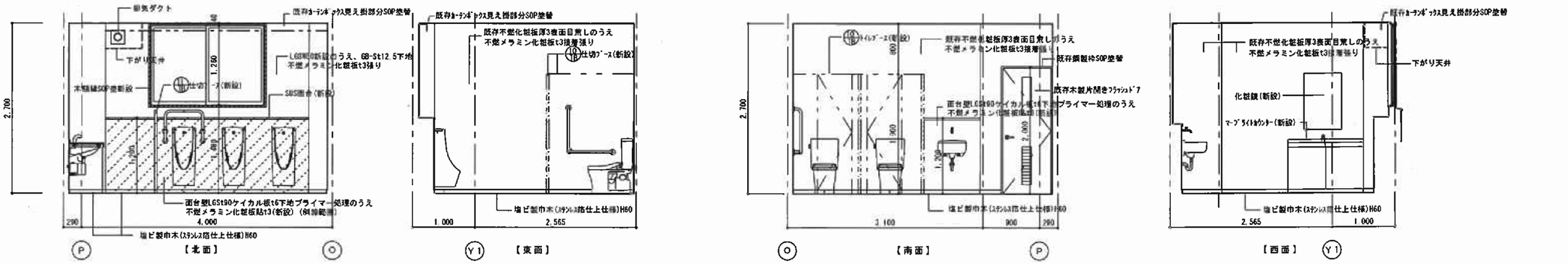


改修後　展開図　［北舎西１Ｆ］

女子トイレ



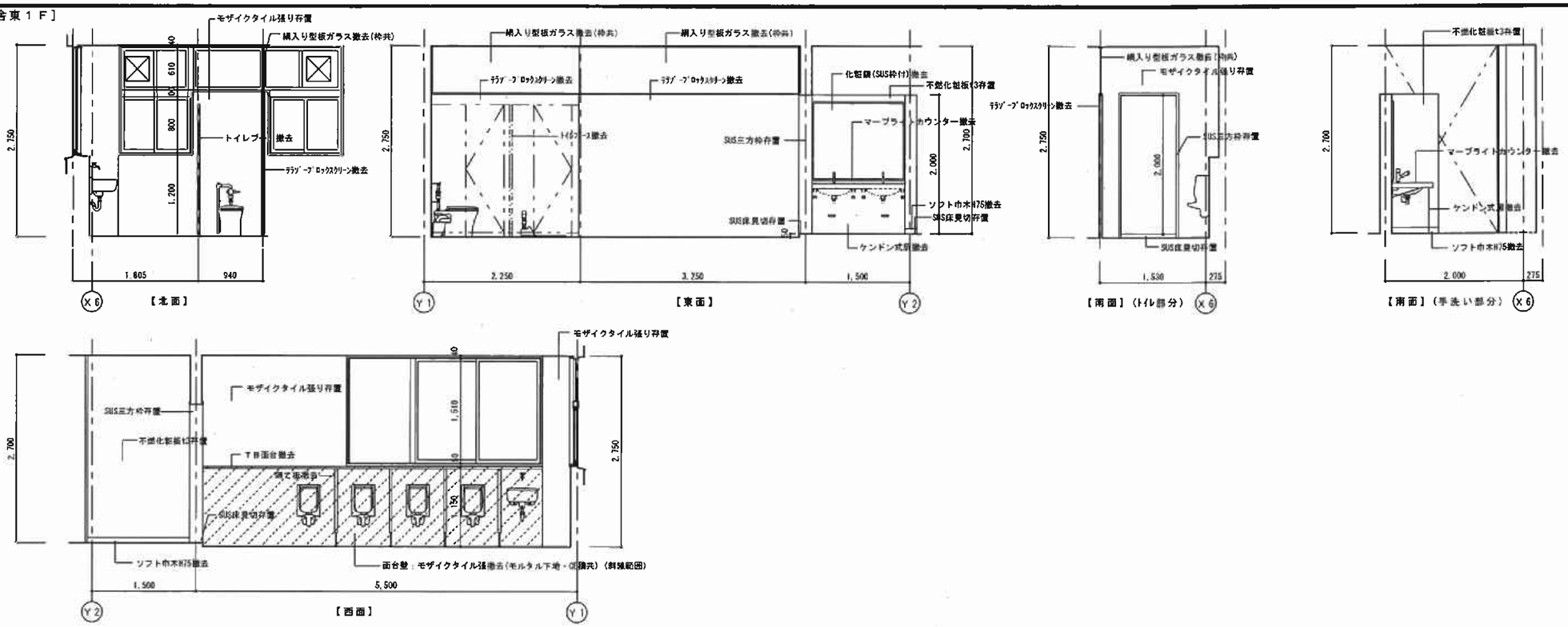
男子トイレ



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A21	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図 図面名 北舎西管理特別教室棟１階トイレ 改修前後展開図　scale 1/50

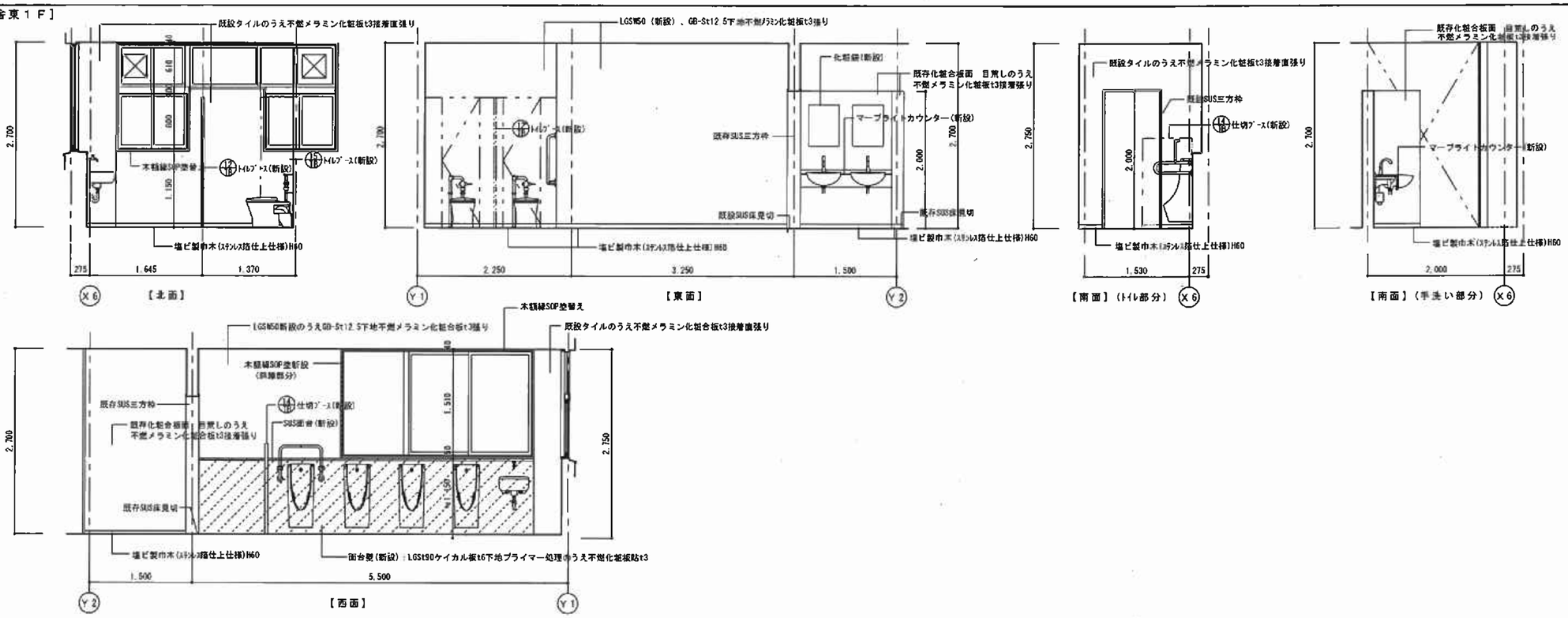
改修前　展開図　［北舎東１Ｆ］

男子トイレ



改修後　展開図　［北舎東１Ｆ］

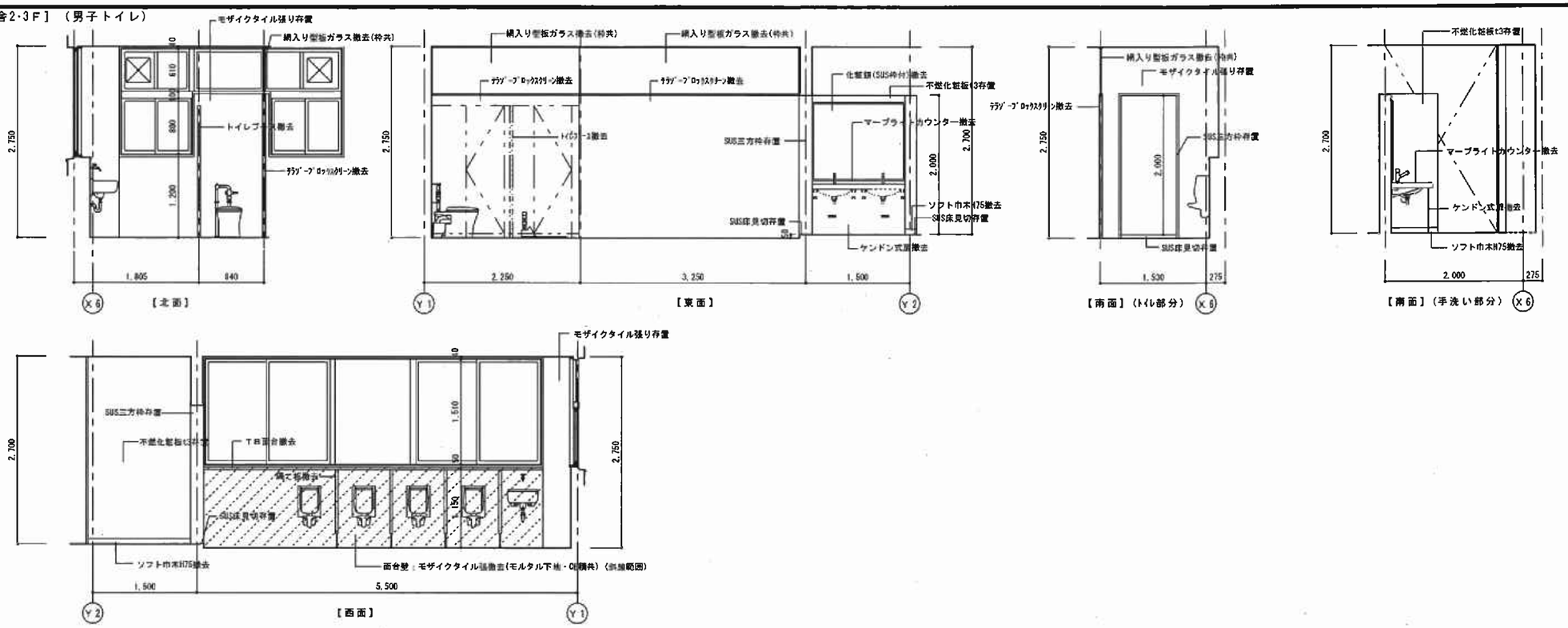
男子トイレ



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅品信 第66276号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A22	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図
						図面名	北舎東普通特別教室棟１階男子トイレ 改修前後展開図　scale 1/50

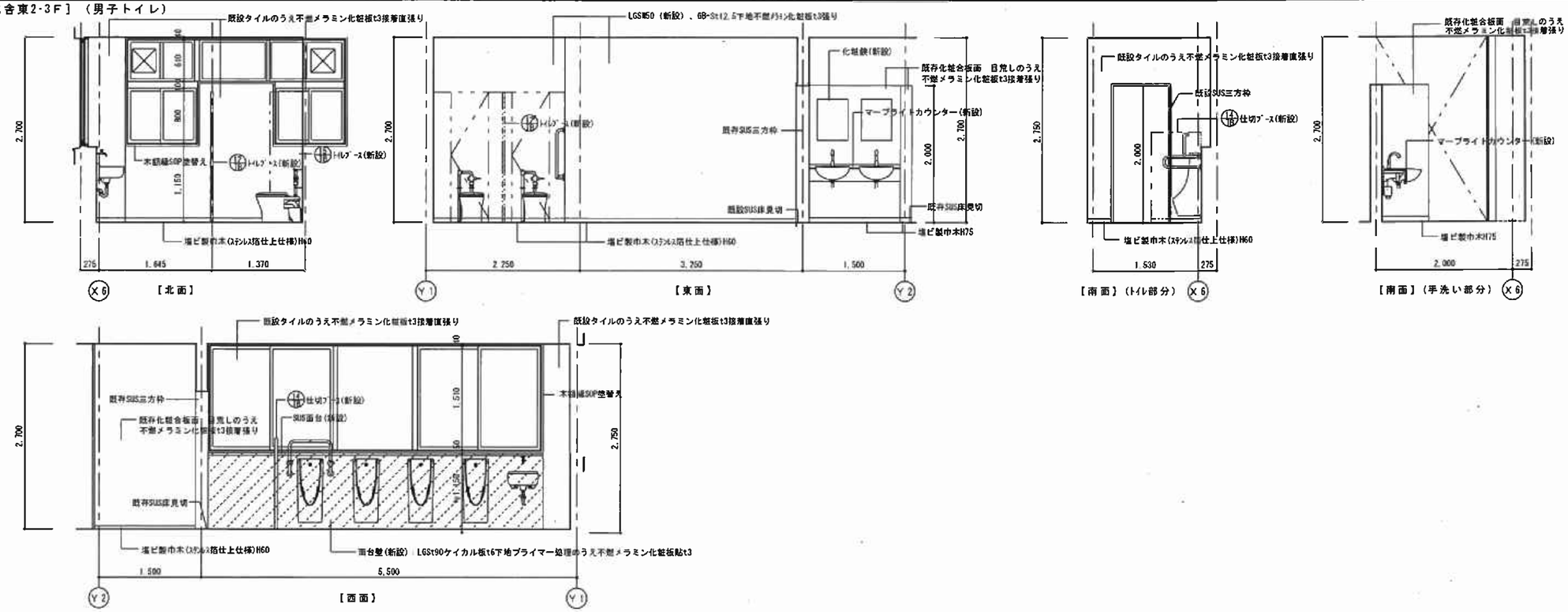
改修前　展開図　［北舎2・3Ｆ］（男子トイレ）

男子トイレ



改修後　展開図　［北舎東2・3Ｆ］（男子トイレ）

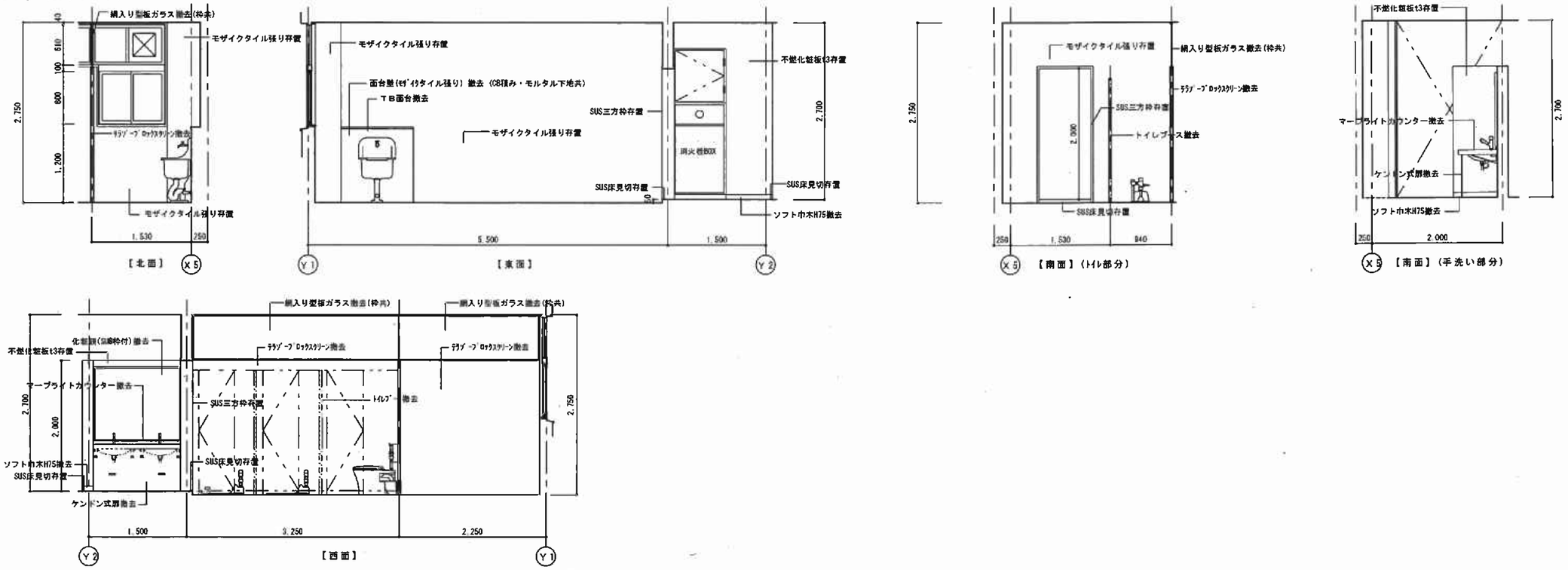
男子トイレ



備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A23	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
						図面名	北舎東普通特別教室棟２階・３階男子トイレ 改修前後展開図	scale 1/50

改修前　展開図　［北舎東１～３Ｆ］（女子トイレ）

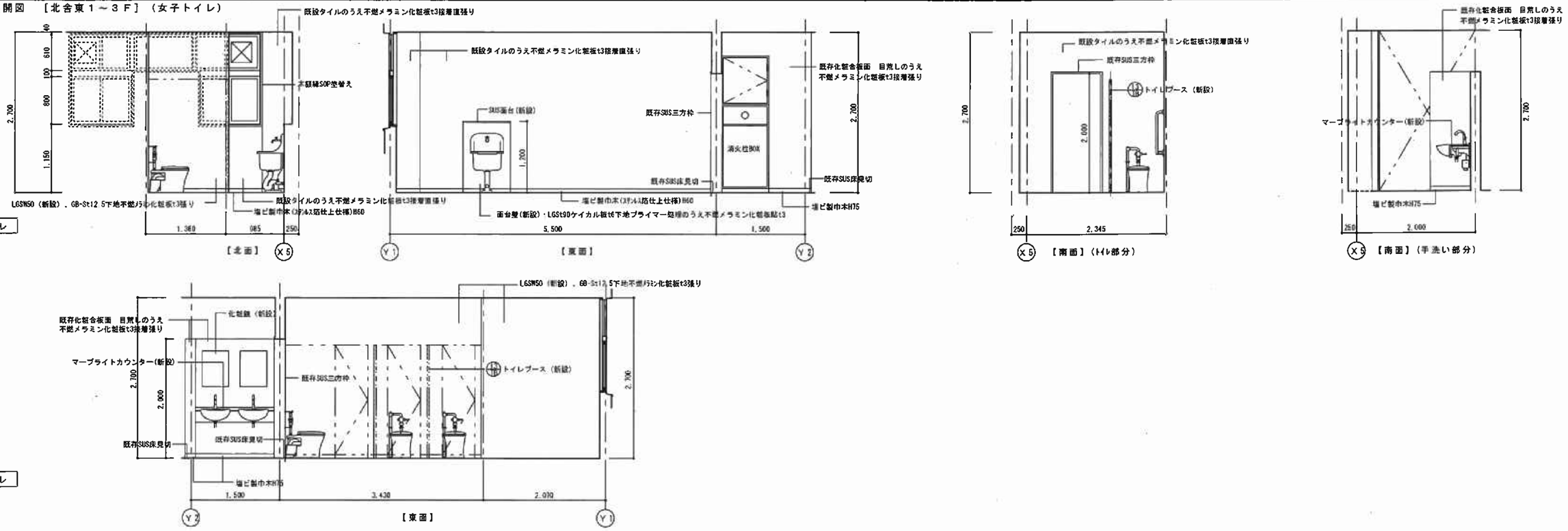
女子トイレ



女子トイレ

改修後　展開図　［北舎東１～３Ｆ］（女子トイレ）

女子トイレ

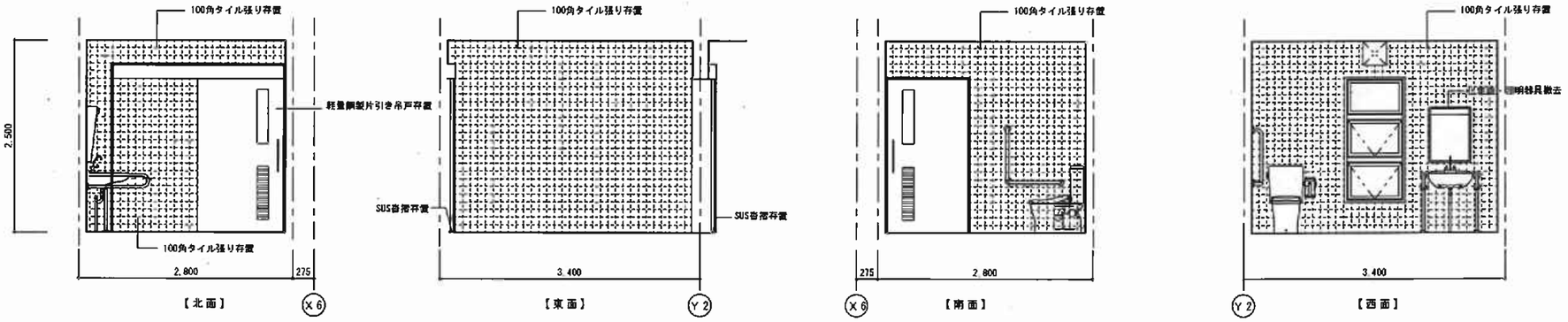


女子トイレ

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 一級建築士 三宅 昌信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A24	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
						図面名 北舎東普通特別教室棟１～３階女子トイレ 改修前後展開図	scale 1/50

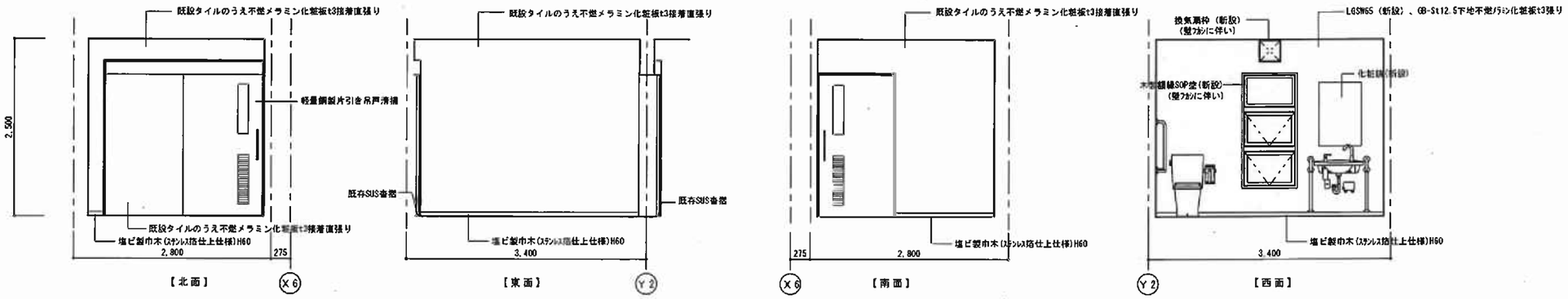
改修前　展開図　［北舎東１Ｆ］（多目的トイレ）

多目的トイレ



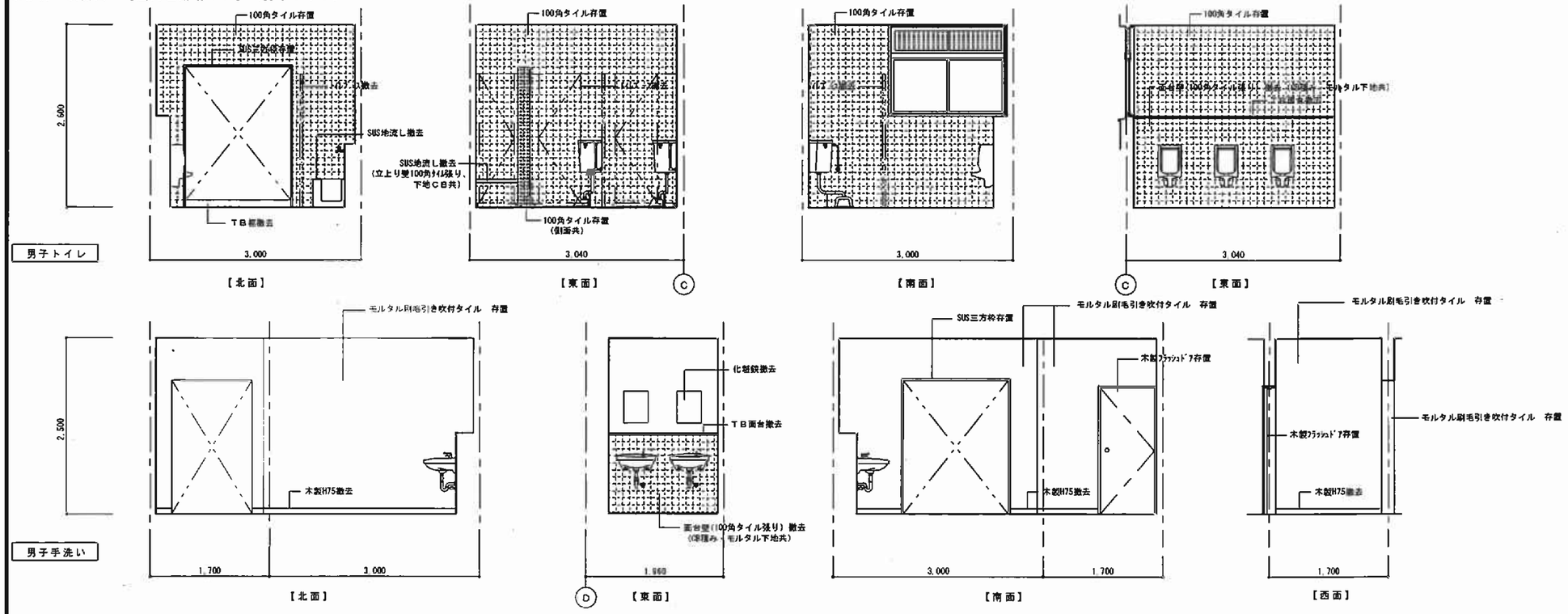
改修後　展開図　［北舎東１～３Ｆ］（女子トイレ）

女子トイレ

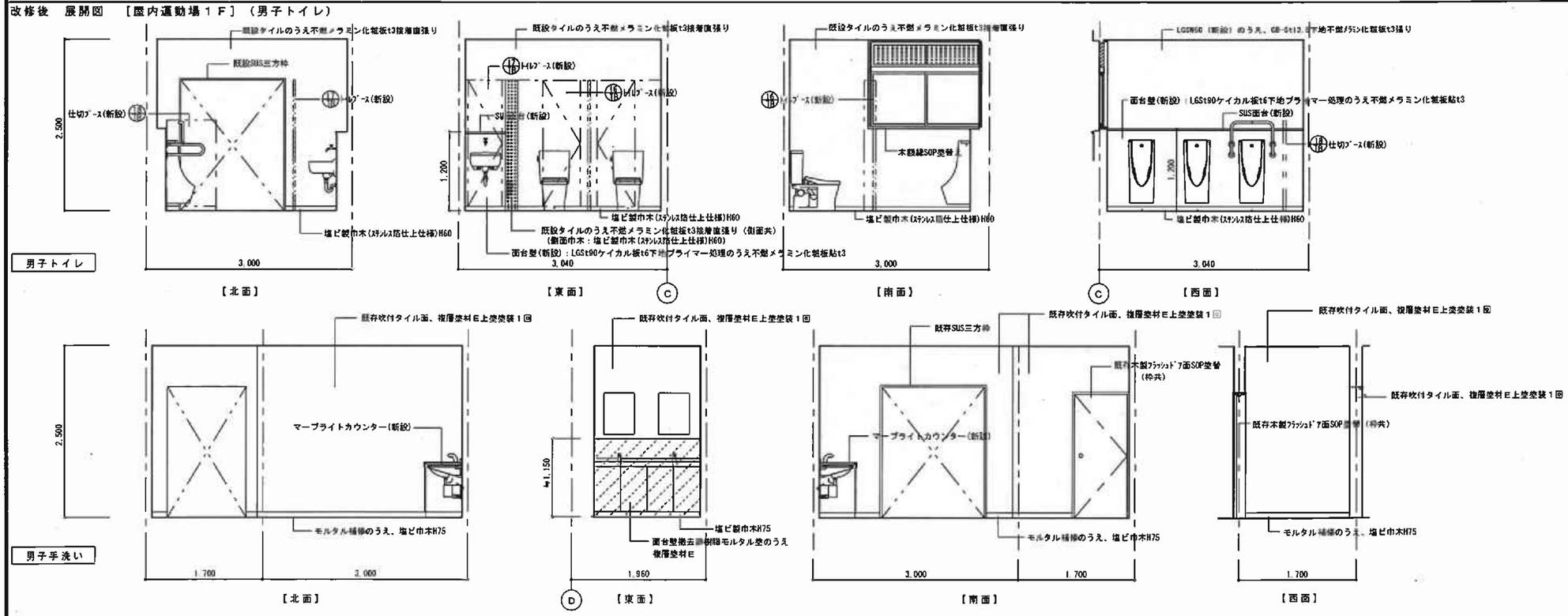


備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A25	工事名　可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）　工事設計図 図面名　北舎東普通特別教室棟１階多目的トイレ 改修前後展開図　scale 1/50

改修前　展開図　［屋内運動場１Ｆ］（男子トイレ）

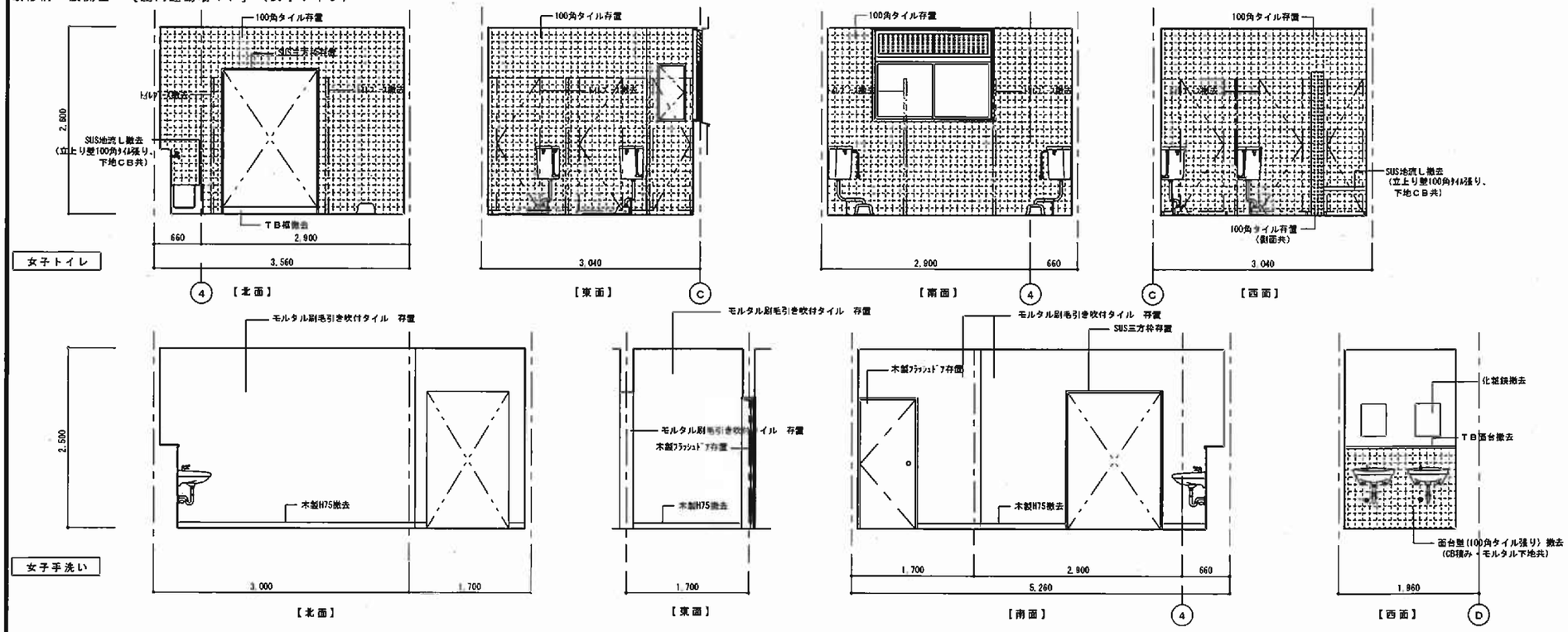


改修後　展開図　［屋内運動場１Ｆ］（男子トイレ）

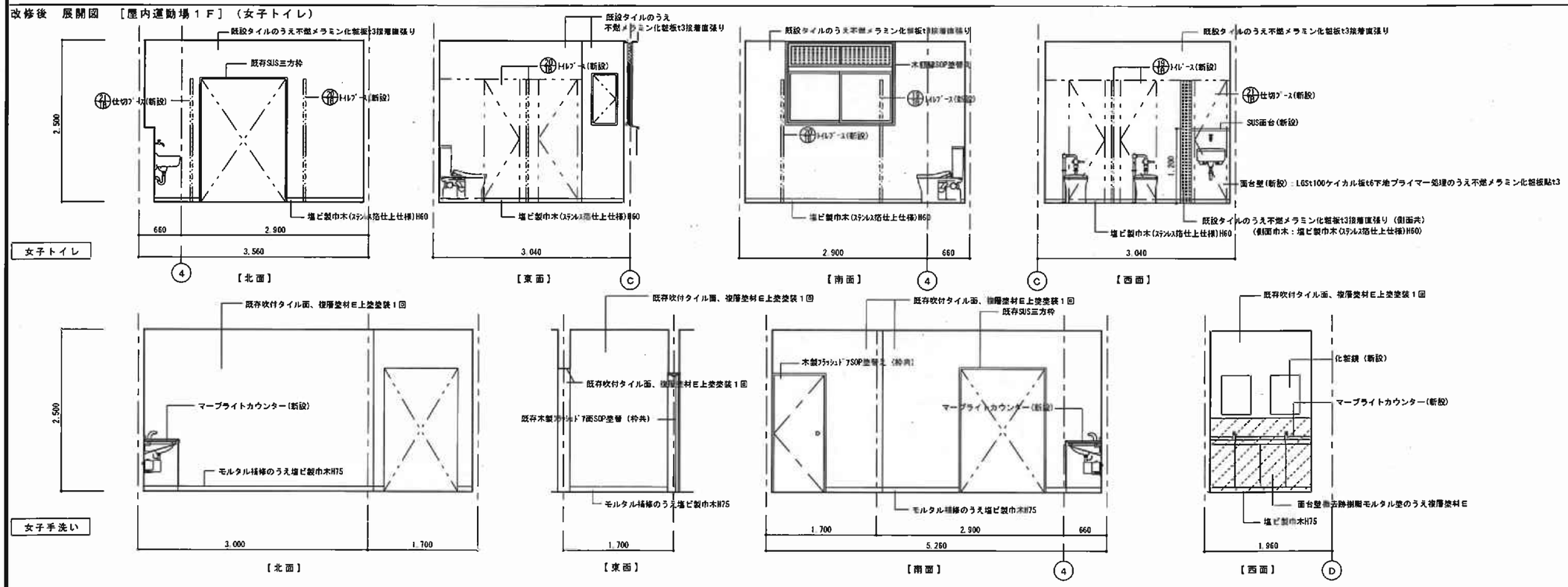


備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士　三宅 晶 信　第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A26	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図
						図面名	屋内運動場１階男子トイレ 改修前後展開図　scale 1/50

改修前　展開図　［屋内運動場１Ｆ］（女子トイレ）

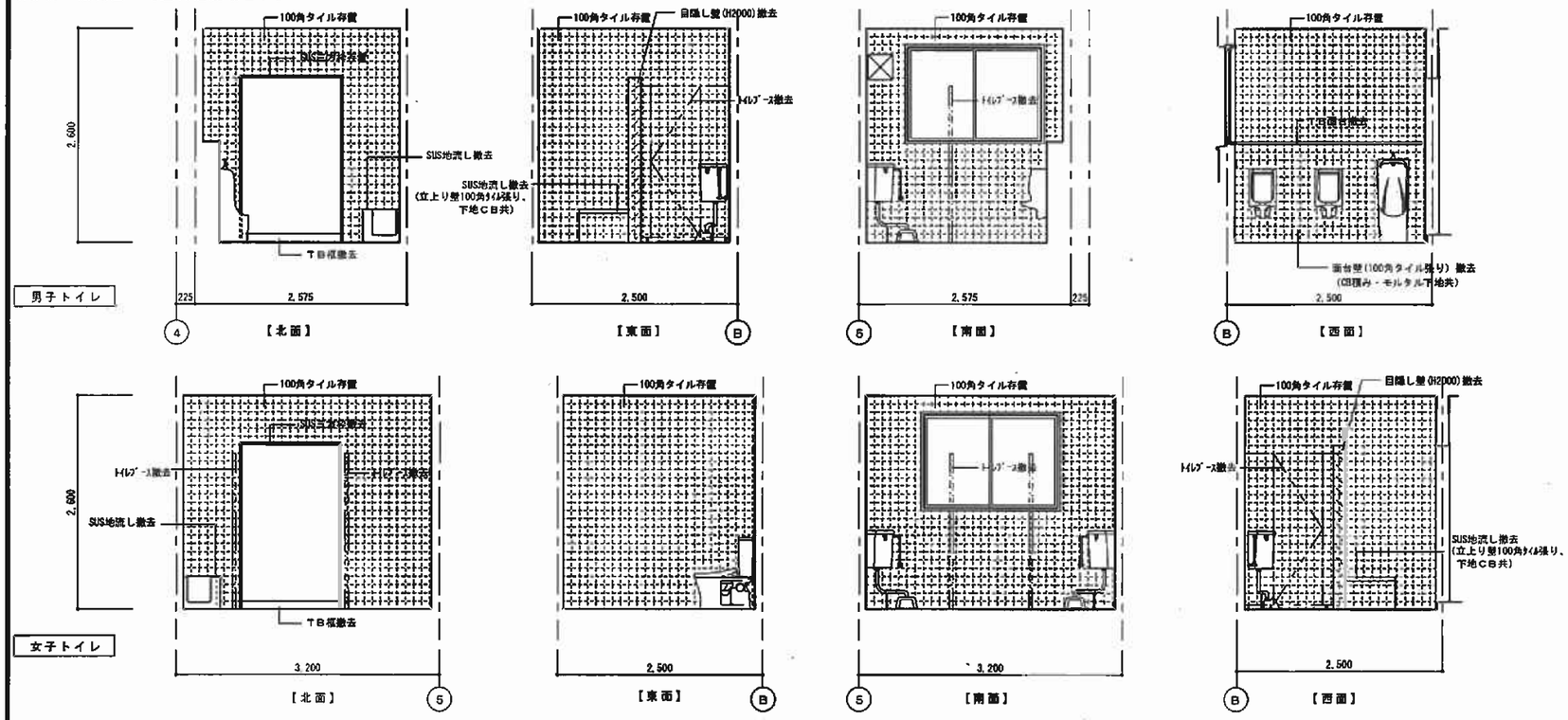


改修後　展開図　［屋内運動場１Ｆ］（女子トイレ）

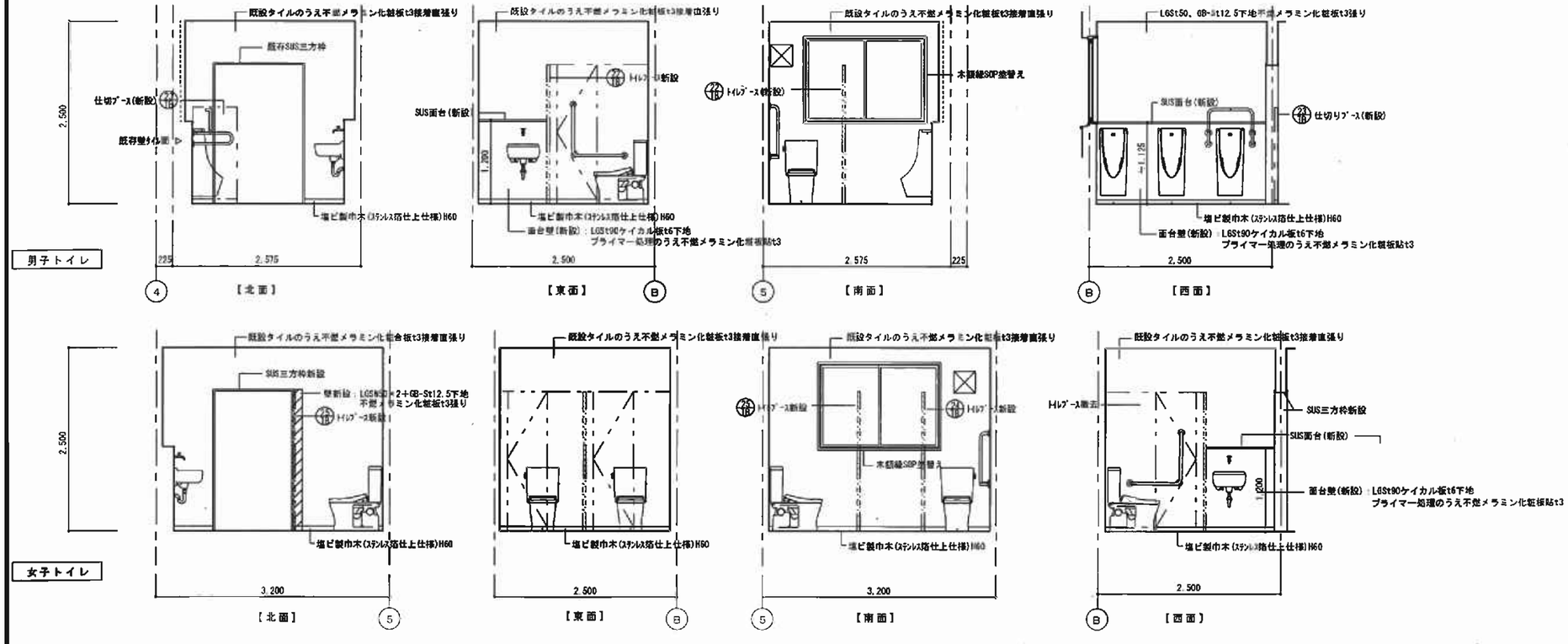


備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024 10	NO A27	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）	工事設計図
						図面名 屋内運動場１階女子トイレ 改修前後展開図	scale 1/50

改修前　展開図　［屋内運動場２Ｆ］



改修後　展開図　［屋内運動場２Ｆ］

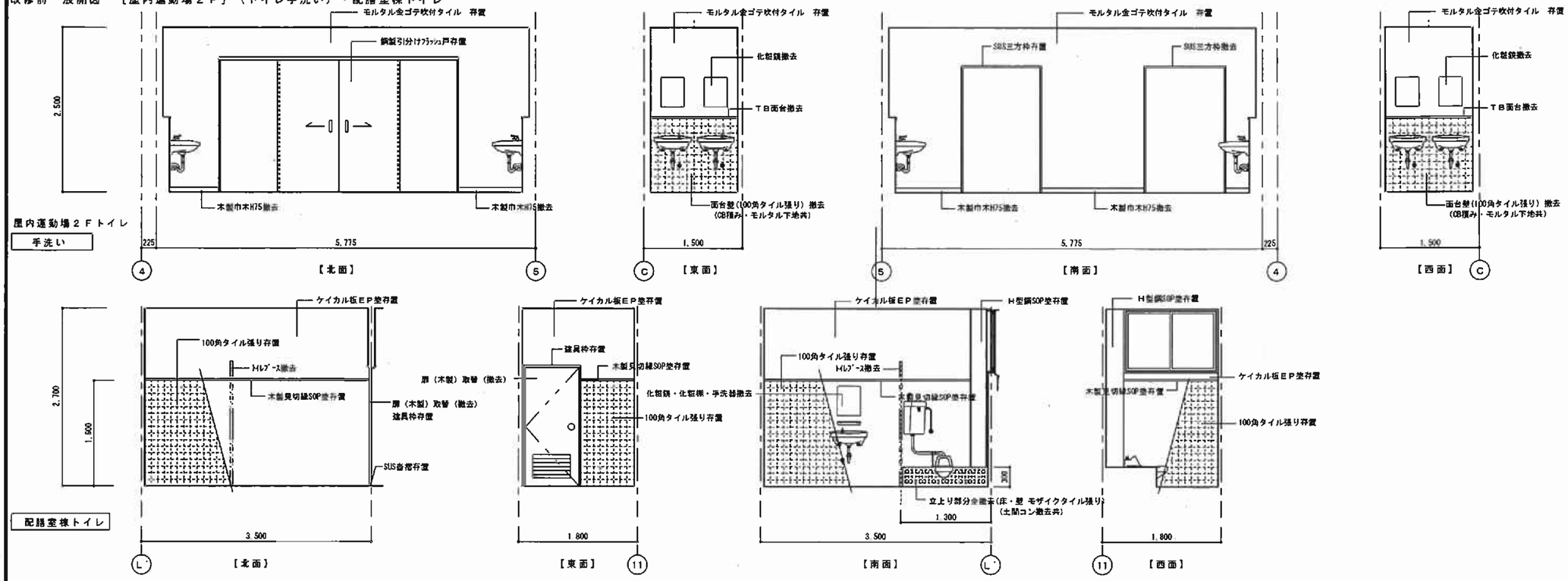


備考

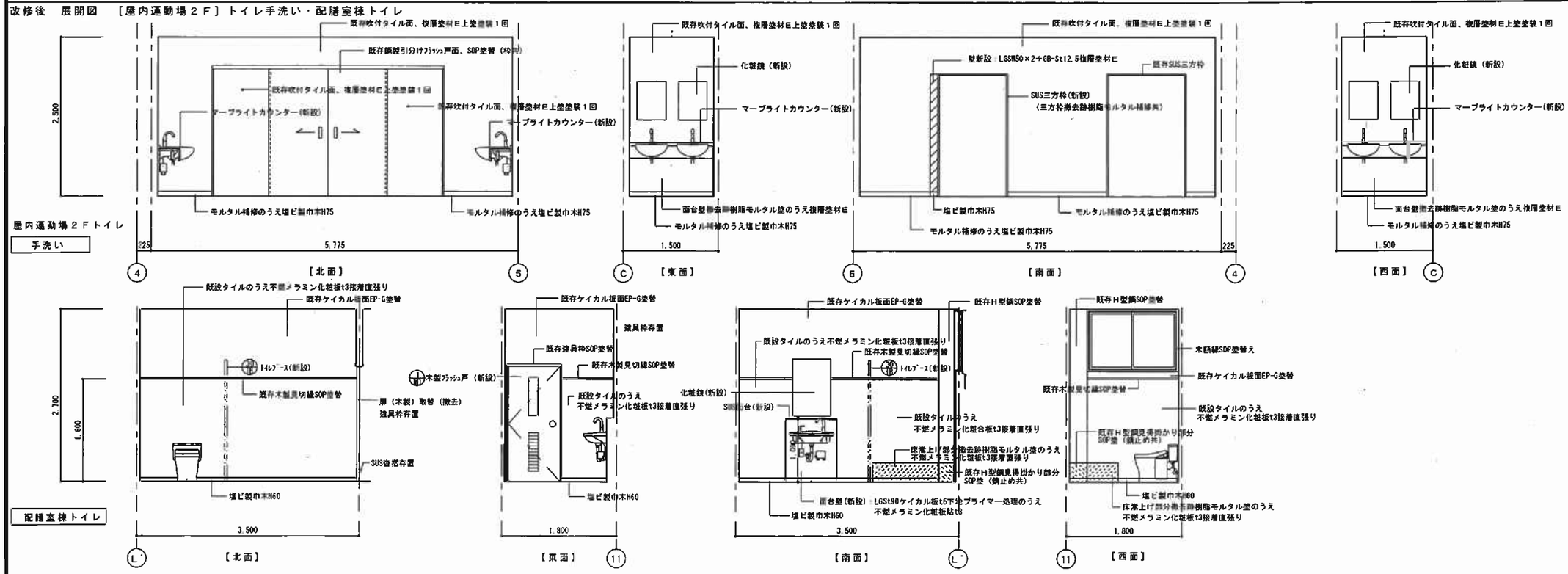
株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（１期）	工事設計図
		2024 10	A28	図面名	屋内運動場２階男子・女子トイレ 改修前後展開図	scale 1/50

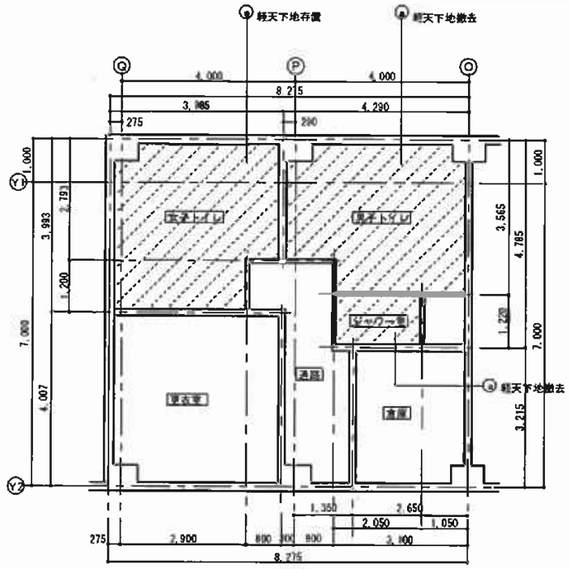
改修前　展開図　［屋内運動場２Ｆ］（トイレ手洗い）・配膳室横トイレ



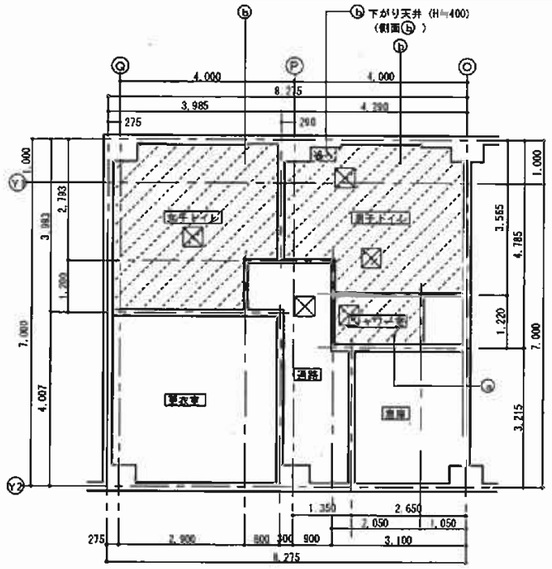
改修後　展開図　［屋内運動場２Ｆ］トイレ手洗い・配膳室横トイレ



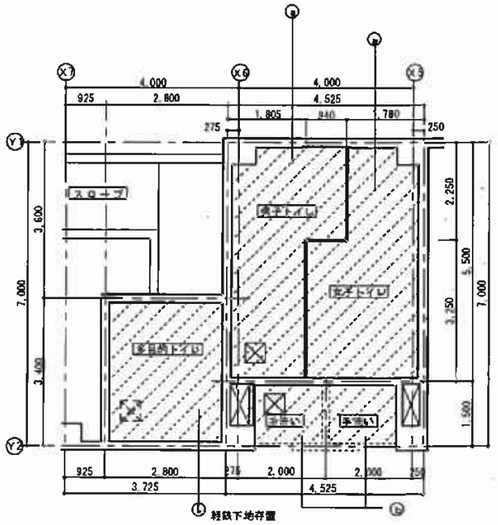
備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅品信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO A29	工事名：可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ｉ期）　工事設計図 図面名：屋内運動場２階トイレ手洗い・配膳室横トイレ 改修前後展開図　scale 1/50



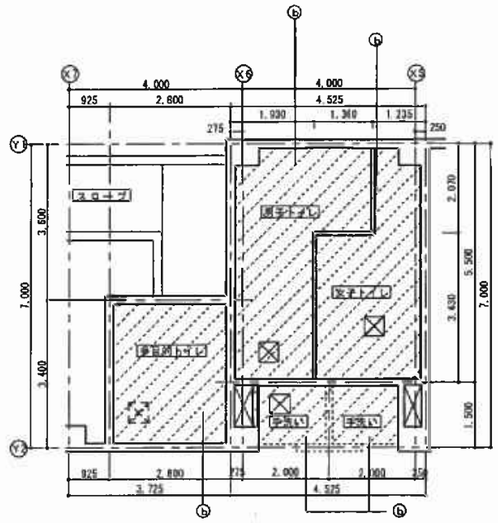
北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）現況天井伏図　1/100



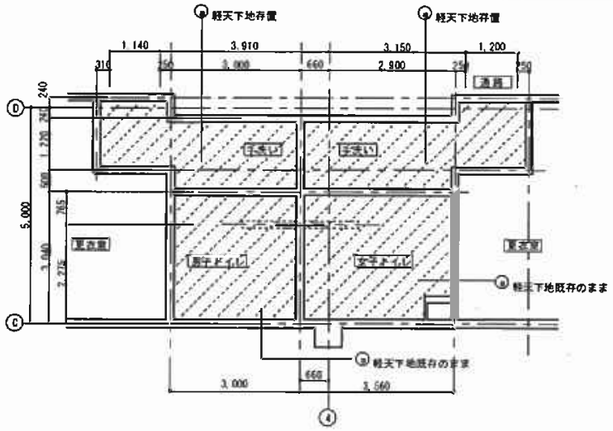
北舎西管理特別教室棟１階トイレ（c）改修後天井伏図　1/100



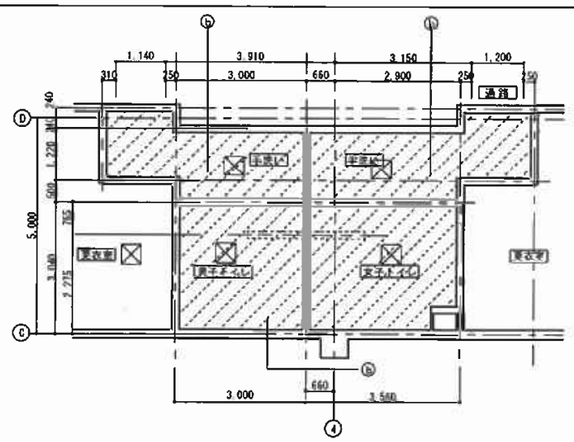
北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）現況天井伏図　1/100



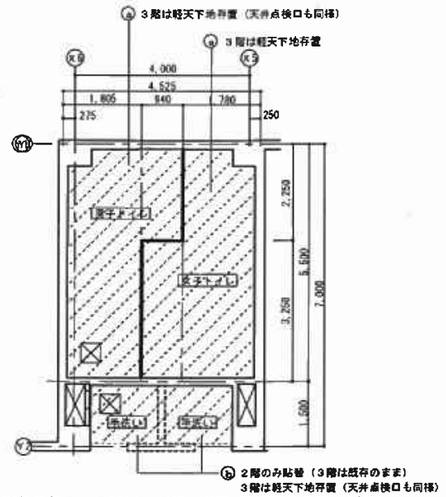
北舎東普通特別教室棟１階トイレ（d1F・d(多)）改修後天井伏図　1/100



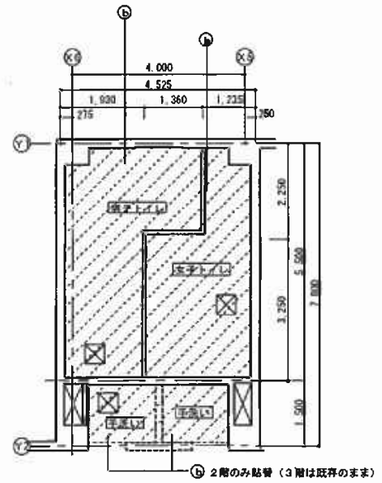
屋内運動場１階トイレ（e）現況天井伏図　1/100



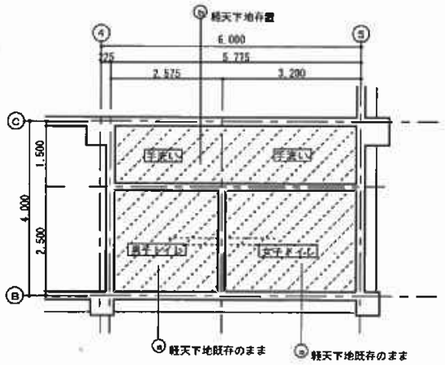
屋内運動場１階トイレ（e）改修後天井伏図　1/100



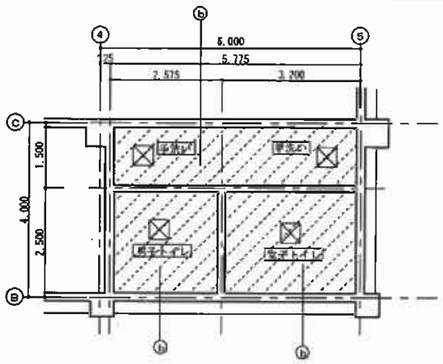
北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）現況天井伏図　1/100



北舎東普通特別教室棟２・３階トイレ（d2F・d3F）改修後天井伏図　1/100



屋内運動場２階トイレ（f）現況天井伏図　1/100



屋内運動場２階トイレ（f）改修後天井伏図　1/100

天井貼替範囲

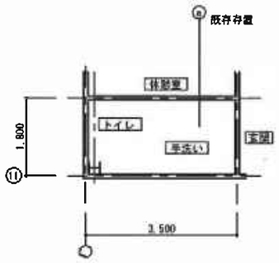
凡例

ⓐ	ケイカル板t6.0 EP塗（軽量天井下地）	
ⓑ	化粧石膏ボードt9.5（軽量天井下地）	
⊠	天井点検口（アルミ枠）450×450	※幅ねの位置を示す（新設位置は別途打合せのこと）

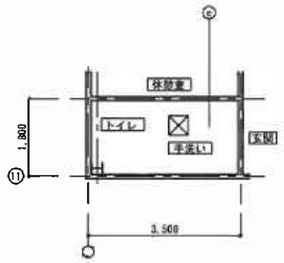
備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

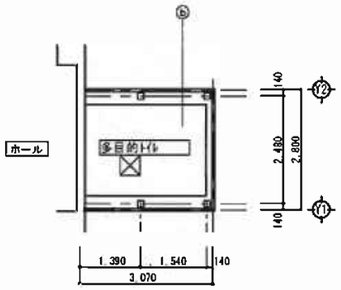
承認	設計	設計年月日	NO	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	A30	図面名	天井伏図２	scale 1/100



配膳室棟トイレ（h）現状天井伏図　1/100



配膳室棟トイレ（h）改修後天井伏図　1/100



屋内運動場多目的(新設)トイレ（j）天井伏図　1/100

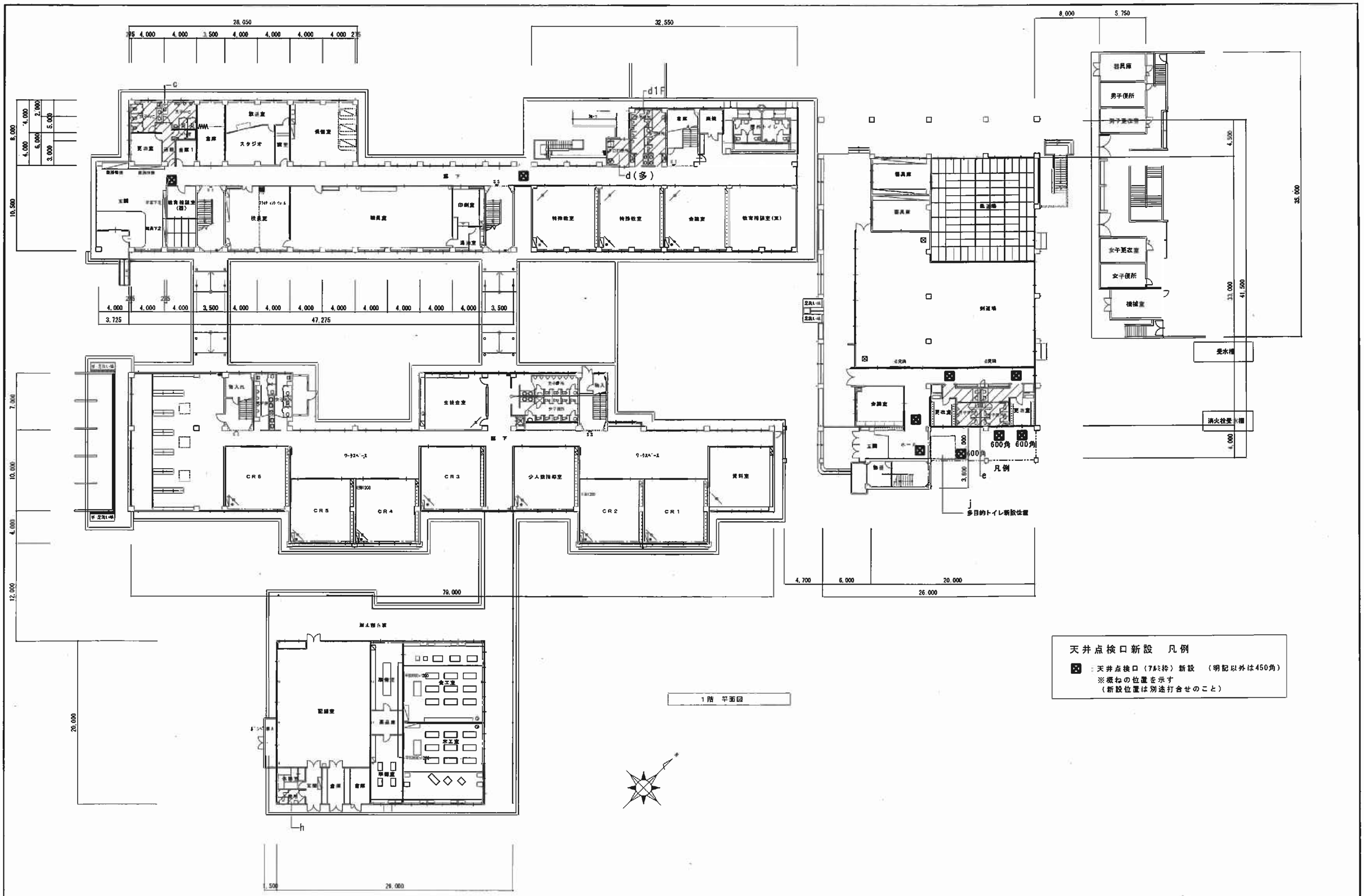
凡　例

ⓐ	ケイカル板t6.0・ＥＰ塗（軽量天井下地）
ⓑ	化粧石膏ボードt9.5（軽量天井下地）
ⓒ	既存ケイカル板面ＥＰ塗
ⓓ	パーライト吹付
ⓔ	既存仕上げ面 外装薄塗材Ｅ（下塗り・主材塗）
☒	天井点検口（アルミ枠）450×450　※概ねの位置を示す（新設位置は別途打合せのこと）

備　考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅晶造 第68276号

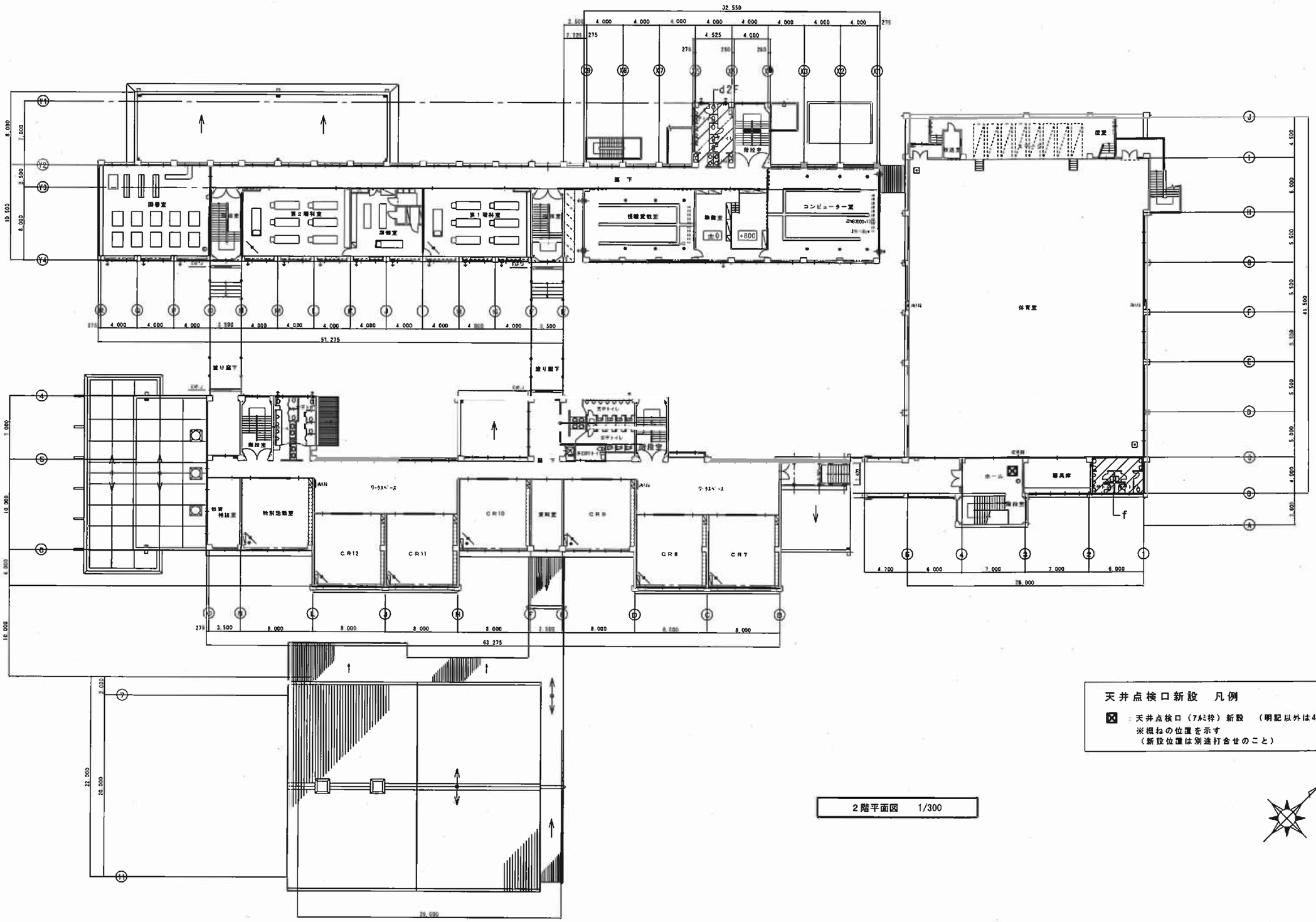
承認	設計	設計年月日	NO	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	A31	図面名	天井伏図3	scale 1/100



天井点検口新設　凡例

⊠ ：天井点検口（アルミ枠）新設　（明記以外は450角）
※概ねの位置を示す
（新設位置は別途打合せのこと）

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO A32	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 天井点検口位置図（全体1階）	scale 1/300

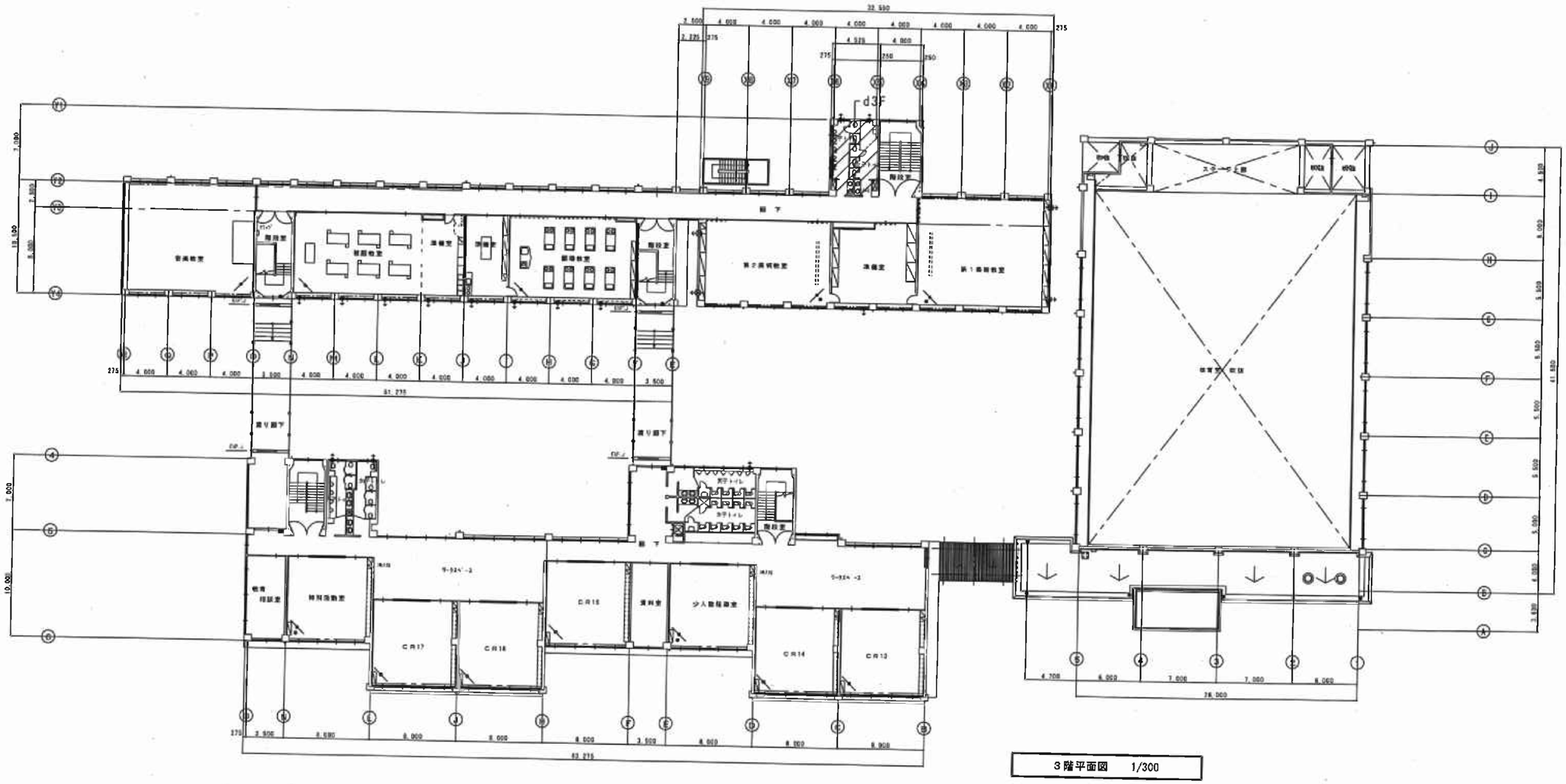


天井点検口新設　凡例

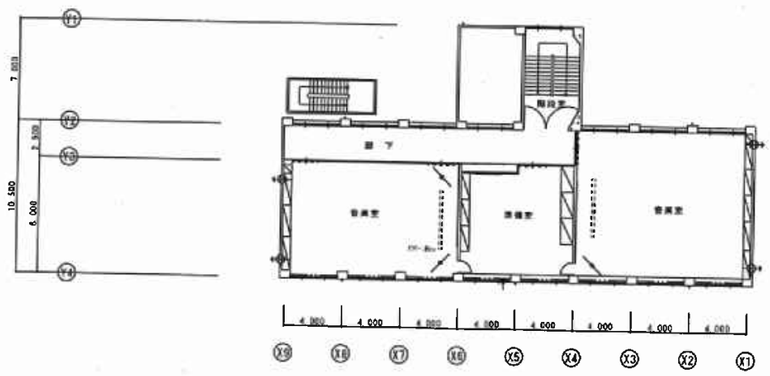
☒ ：天井点検口（7ﾙﾐ枠）新設　（明記以外は450角）
※概ねの位置を示す
（新設位置は別途打合せのこと）

2階平面図　1/300

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 鼎 信 第68278号	承認	設計	設計年月日 2024.10	NO. A33	工事名 可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
						図面名 天井点検口位置図（全体2階）	scale 1/300



3階平面図　1/300



4階平面図　1/300

天井点検口新設　凡例

⊠ ：天井点検口（7ﾐﾘ枠）新設　（明記以外は450角）
※概ねの位置を示す
（新設位置は別途打合せのこと）

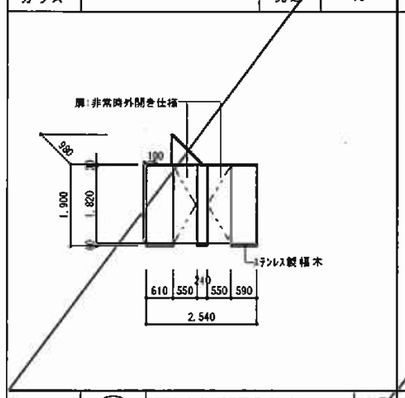
備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

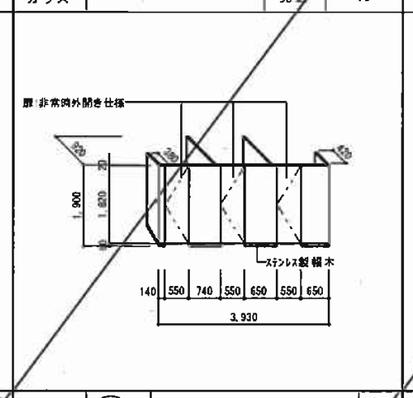
承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024.10	A34	図面名	天井点検口位置図（全体3階）	scale 1/300

建具表

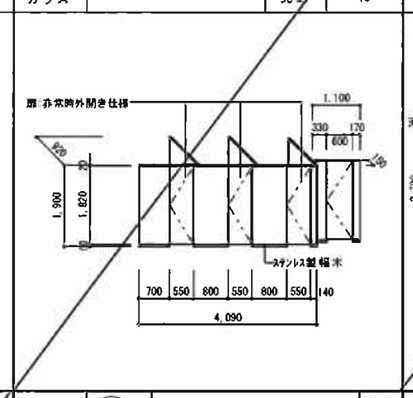
符号・型式	1 TB	南舎西1～3F男子トイレ トイレブース	数量 3
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



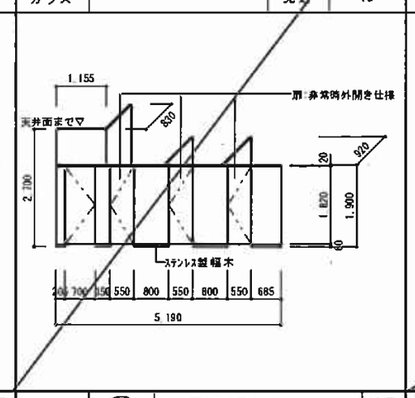
符号・型式	2 TB	南舎西1～3F女子トイレ トイレブース	数量 3
仕上	—		
金物	—		
ガラス		見込	40



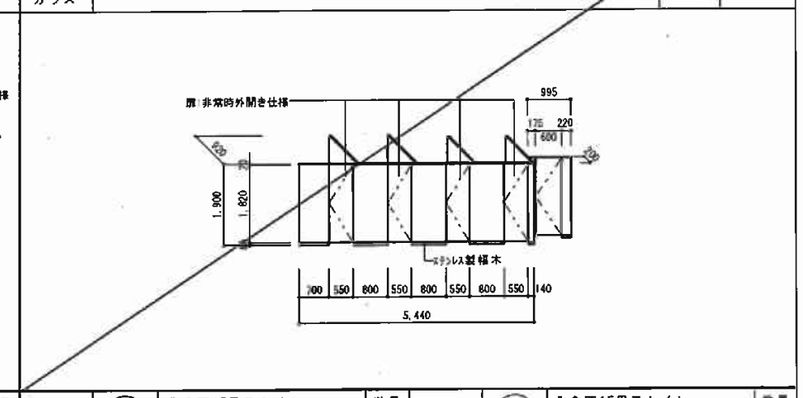
符号・型式	3 TB	南舎東1～3F男子トイレ トイレブース	数量 3
仕上	—		
金物	—		
ガラス		見込	40



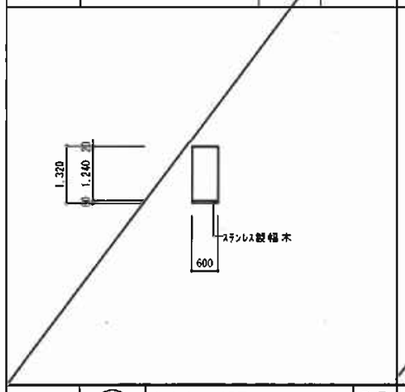
符号・型式	4 TB	南舎東1～3F女子トイレ トイレブース	数量 3
仕上	—		
金物	—		
ガラス		見込	40



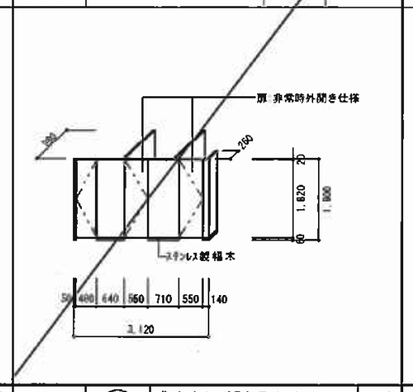
符号・型式	5 TB	南舎東1・3F女子トイレ トイレブース	数量 2
仕上	—		
金物	—		
ガラス		見込	40



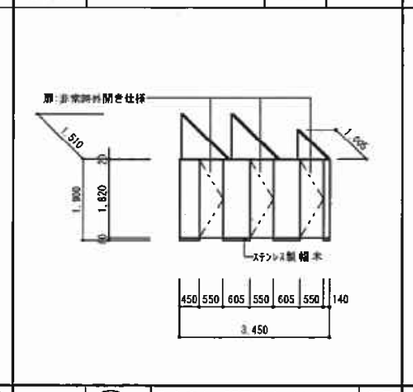
符号・型式	6 TB	南舎東1～3F男子トイレ 仕切りブース	数量 3
仕上	メラミン化粧合板		
金物	ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木		
ガラス		見込	40



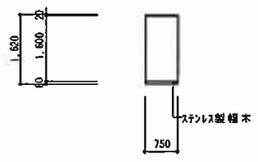
符号・型式	7 TB	南舎東2F女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



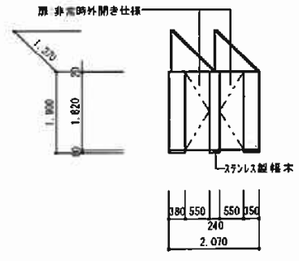
符号・型式	8 TB	北舎西1F女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



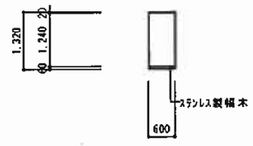
符号・型式	9 TB	北舎西1F女子トイレ 仕切りブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板		
金物	ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木		
ガラス		見込	40



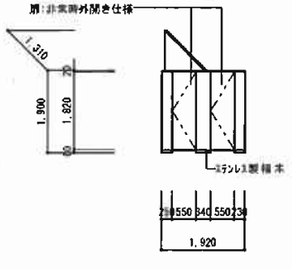
符号・型式	10 TB	北舎西1F男子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



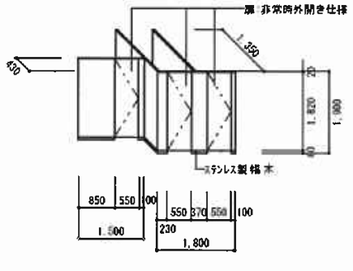
符号・型式	11 TB	北舎西1F男子トイレ 仕切りブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板		
金物	ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木		
ガラス		見込	40



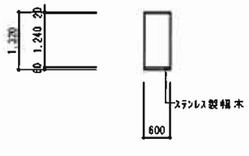
符号・型式	12 TB	北舎東1～3F男子トイレ トイレブース	数量 3
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



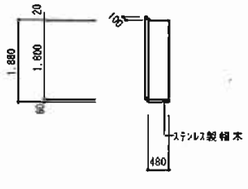
符号・型式	13 TB	北舎東1～3F女子トイレ トイレブース	数量 3
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



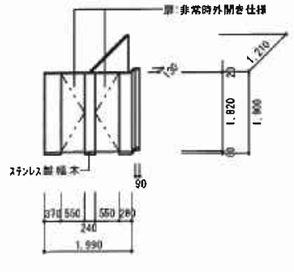
符号・型式	14 TB	北舎東1～3F男子トイレ 仕切りブース	数量 3
仕上	メラミン化粧合板		
金物	ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木		
ガラス		見込	40



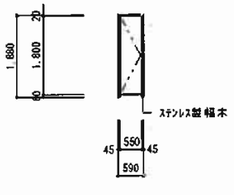
符号・型式	15 TB	北舎東1～3F男子トイレ トイレブース	数量 3
仕上	—		
金物	—		
ガラス		見込	40



符号・型式	16 TB	屋内運動場1F男子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



符号・型式	17 TB	屋内運動場1F男子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



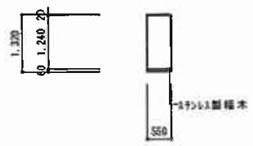
備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1861
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶信 第68278号

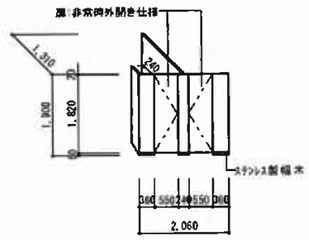
承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
		2024 10	A35	図面名	建具表1	scale 1/100

建具表

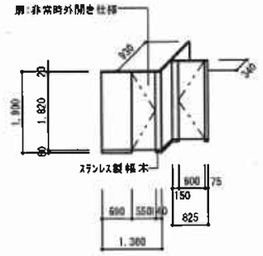
符号・型式	18 TB	屋内運動場1F男子トイレ 仕切りブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板		
金物	ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木		
ガラス		見込	40



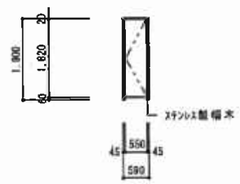
符号・型式	19 TB	屋内運動場1F女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



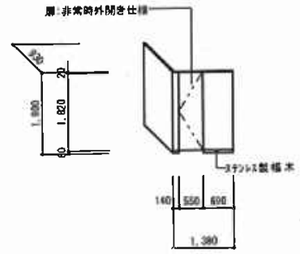
符号・型式	20 TB	屋内運動場1F女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	―		
金物	―		
ガラス		見込	40



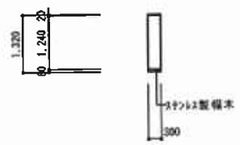
符号・型式	21 TB	屋内運動場1F男子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



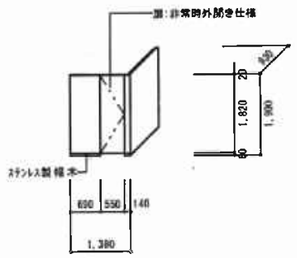
符号・型式	22 TB	屋内運動場2F男子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



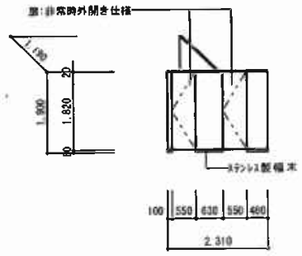
符号・型式	23 TB	屋内運動場2F男子トイレ 仕切りブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板		
金物	ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木		
ガラス		見込	40



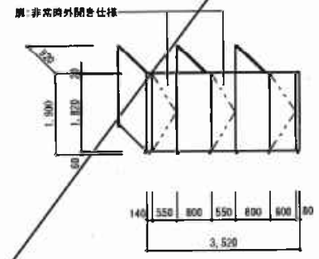
符号・型式	24 TB	屋内運動場2F女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



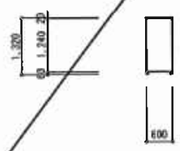
符号・型式	25 TB	屋内運動場2F女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



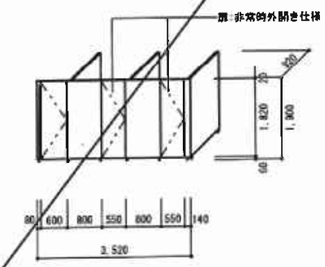
符号・型式	26 TB	プール棟男子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	―		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、ｱﾙﾐ製笠木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



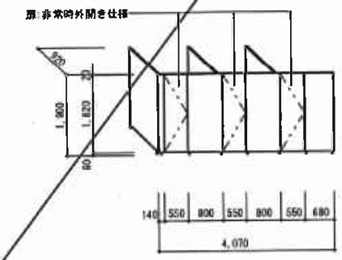
符号・型式	27 TB	プール棟男子トイレ 仕切りブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板		
金物	ｱﾙﾐ製笠木		
ガラス		見込	40



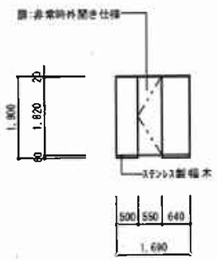
符号・型式	28 TB	プール棟女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



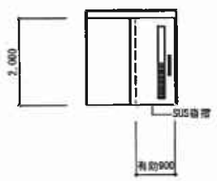
符号・型式	29 TB	プール棟女子トイレ トイレブース	数量 1
仕上	―		
金物	―		
ガラス		見込	40



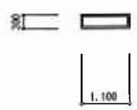
符号・型式	30 TB	配膳室棟トイレ トイレブース	数量 1
仕上	メラミン化粧合板 アルミ曲面エッジ		
金物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ ｱﾙﾐ製笠木、ｽﾃﾝﾚｽ製幅木、表示錠、帽子掛け戸当り、その他必要金物一式		
ガラス		見込	40



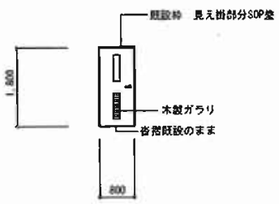
符号・型式	1 LD	屋内運動場多目的トイレ 軽量鋼製壁収納片引きﾊﾝｶﾞｰ戸（自閉式）	数量 1
仕上	扉：化粧鋼板　枠：ＳＯＰ仕上		
金物	引き棒、三方枠、丁番、点検カバー、表示錠、大型ｻﾑﾀｰﾝ、自閉装置(S付)、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｶﾞﾗｽ その他付属金物一式		
ガラス	型板強化ｶﾞﾗｽt4.0	見込	枠135 扉40

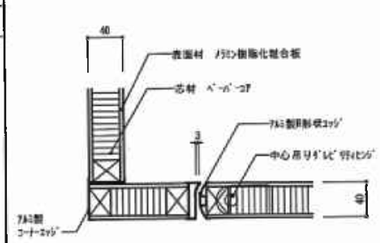


符号・型式	1 AW	屋内運動場多目的トイレ 嵌め殺しアルミサッシュ	数量 1
仕上	複合被膜（シルバー）		
金物	アルミ額縁		
ガラス	型板強化ｶﾞﾗｽt4.0	見込	70



符号・型式	1 WD	配膳室棟トイレ 木製片開きフラッシュ戸	数量 1
仕上	メラミン化粧合板		
金物	丁番、レバーハンドル空錠		
ガラス	型板t4.0	見込	38（扉）





トイレブース詳細図　1/5

備考

株式会社 三宅設計	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	可児市立西可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅰ期）	工事設計図
TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432　1級建築士 三宅晶信 第68278号			2024.10	A36	図面名	建具表2	scale 1/100